

預言者の書 イザヤ書

¹ アモツの子イザヤが、ユダの王ウジヤ、ヨタム、アハズ、ヒゼキヤの治世に、ユダとエルサレムについて見た幻。

² 天よ、聞け。

地よ、耳を傾けよ。主*が語られた。

「わたしは子どもたちを養い育てた。

しかし、彼らはわたしに背いた。

³ 牛は自分の飼い主を知り、

ろばは主人の飼い葉桶を知っている。

しかし、イスラエルは知らない。

わたしの民は悟ろうとしない。」

⁴ ああ、罪深い国、

咎を重く負った民、

悪を行う者たちの子孫†、

墮落した子どもたちよ。

彼らは主を捨て、

イスラエルの聖なる方を侮り、

背を向けて離れ去った。

⁵ なぜ、なおも打たれようとするのか。

なぜ、ますます背き続けるのか。

頭全体が病み、

心全体が弱り果てている。

⁶ 足の裏から頭まで、健全なところの一つもなく、

傷と打ち傷と生々しい裂け傷ばかりだ。

傷はふさがれず、包帯も巻かれず、

* **1:21:2** 「主」は、神の固有名であるヘブライ語のיהוה（ヤハウェ）を表す。

† **1:4 1:4** または「種」。

- 油で和らげられてもいない。
- 7 あなたがたの国は荒れ果て、
町々は火で焼かれている。
よそ者が、あなたがたの目の前で土
地を食い尽くしている。
そこは荒れ果て、
よそ者に覆された時のようになっている。
- 8 シオンの娘は取り残された。
ぶどう畑の番小屋のように、
うり畑の仮小屋のように、
包囲された町のように。
- 9 もし万軍の主が、わずかな生き残りをわれわれ
に残さなかったなら、
われわれはソドムのようになり、
ゴモラと同じになっていただろう。
- 10 ソドムの支配者たちよ、主の言葉を聞け。
ゴモラの民よ、われわれの神[‡]の律
法に耳を傾けよ。
- 11 主は言われる。
「あなたがたのおびただしいいけにえが、わた
しにとって何になるのか。
雄羊の全焼のささげ物も、
肥えた家畜の脂肪も、もう十分だ。
雄牛や子羊や雄やぎの血を、
わたしは喜ばない。
- 12 あなたがたがわたしの前に出ようと来るとき、
だれが、わたしの庭を踏み荒らすことをあなた
がたに求めたのか。
- 13 むなしいささげ物を、もう持って来てはならな
い。
香はわたしにとって忌まわしい。

‡ 1:10 1:10 「神」と訳されたヘブライ語は「אֱלֹהִים」（エロヒム）である。

- 新月の祭り、安息日、聖なる集会。
わたしは、悪に満ちた集会に耐えられない。
- 14 わたしは、あなたがたの新月の祭りと定められた祭りを憎む。
それらはわたしの重荷となった。
わたしは、それらを負うことに疲れ果てた。
- 15 あなたがたが両手を広げて、
わたしはあなたがたから目を隠す。
どれほど多く祈っても、わたしは聞かない。
あなたがたの手は血にまみれている。
- 16 身を洗い、身を清めよ。
あなたがたの悪い行いを、わたしの目の前から取り除け。
悪を行うことをやめよ。
- 17 良いことを行うように学べ。
公正を求めよ。
虐げられている者を助けよ。
父のない子を守り、
やもめのために訴えよ。」
- 18 主は言われる。
「さあ、来なさい。ともに論じ合おう。
あなたがたの罪が緋のようでも、雪のように白くなる。
紅のように赤くても、羊毛のようになる。
- 19 あなたがたが進んで従うなら、
この地の良いものを食べることができる。
- 20 しかし、拒んで背くなら、剣に食い尽くされる。
主の口がこれを語ったからだ。」
- 21 なんとということか。忠実だった都が遊女になってしまった。
かつては公正に満ち、

義がそこに宿っていたのに、
今では人殺したちがいる。

- 22 あなたの銀はかすとなり、
あなたのぶどう酒は水で薄められた。
- 23 あなたの高官たちは背く者で、盗人の仲間だ。
だれもが賄賂を愛し、報酬を追い求める。
彼らは父のない子を守らず、
やもめの訴えも彼らのもとには届かない。

- 24 それゆえ、主§、万軍の主、
イスラエルの力ある方は言う。
「ああ、わたしは敵対する者たちへの憤りを晴らし、

- わたしの敵に復讐する。
- 25 わたしは再びあなたに手に向け、
あなたのかすを徹底的に取り除き、
あなたのすずをすべて取り去る。*
- 26 わたしは、初めのころのようにあなたの裁判官たちを、

昔のようにあなたの助言者たちを回復させる。
その後、あなたは『義の都、
忠実な町』と呼ばれる。

- 27 シオンは公正によって贖われ、
そこに立ち返る者たちは義によって贖われる。
- 28 しかし、背く者と罪人はともに滅ぼされ、
主を捨てる者たちは消え去る。

- 29 彼らは、あなたがたが慕った榿の木のために
に恥を受ける。
あなたがたは、自分たちが選んだ園のために
に恥じ入る。

- 30 あなたがたは、葉のしおれた榿の木のように、

§ 1:24 1:24 「主」と訳された言葉は「アドナイ」である。 * 1:25

1:25 すずは、銀を精錬して純化する過程で銀から分離される金属である。

水のない園のようになる。
31 強い者は燃えやすい麻くずのようになり、
その葉は火花のようになる。
その両方がともに燃え、
それを消す者はだれもない。」

2

1 アモツの子イザヤが、ユダとエルサレムについて見たもの。
2 終わりの日々に、主の家の山は、
山々の頂に堅く立てられ、
丘々よりも高く上げられる。
すべての国々が、そこへ流れて来る。
3 多くの民が来て言う。
「さあ、主の山に登ろう。
ヤコブの神の家に行こう。
主はその道をわれわれに教える。
われわれはその道筋を歩もう。」
律法はシオンから、
主の言葉はエルサレムから出るからだ。
4 主は国々の間を裁き、
多くの民について判決を下す。
彼らは剣を打ち直して鋤の刃とし、
槍を打ち直して鎌とする。
国は国に向かって剣を上げず、
もはや戦いを学ぶこともない。

5 ヤコブの家よ、さあ、主の光の中を歩もう。
6 あなたはご自分の民、ヤコブの家を捨てられた。
彼らは東方の風習に満ち、
ペリシテ人のように占いを行い、
異国人の子らと手を組んでいるからだ。
7 彼らの国は銀と金に満ち、

- その財宝には限りがない。
彼らの国は馬にも満ち、
その戦車にも限りがない。
- 8 彼らの国は偶像にも満ちている。
彼らは自分の手で造ったもの、
自分の指で造ったものを拝んでいる。
- 9 人は低くされ、
人々は卑しめられる。
どうか、彼らを赦さないでください。
- 10 岩の中に入り、
ちりの中に身を隠せ。
主の恐ろしさと、
その威厳の輝きの前から。
- 11 人の高ぶった目は低くされ、
人の傲慢は低くされる。
その日には、主だけが高く上げられる。
- 12 万軍の主の日が、
すべて高ぶる者、傲慢な者に臨み、
すべて高く上げられたものに臨む。
それらは低くされる。
- 13 高くそびえるレバノンのすべての杉に、
バシヤンのすべての檜の木に、
- 14 すべての高い山に、
高く上がったすべての丘に、
- 15 すべての高い塔に、
すべての堅固な城壁に、
- 16 タルシシュのすべての船に、
すべての美しい造形物に臨む。
- 17 人の高ぶりは屈められ、
人の傲慢は低くされる。
その日には、主だけが高く上げられる。
- 18 偶像は跡形もなく消え去る。

- 19 主が地を激しく揺り動かすために立ち上がるとき、
 人々は主の恐ろしさと、
 その威厳の輝きの前から逃れ、
 岩の洞穴と、
 地の穴に入る。
- 20 その日、人々は拝むために自分たちで造った
 銀の偶像と金の偶像を、
 もぐらとこうもりに投げ捨て、
- 21 岩の洞窟と、
 ごつごつした岩の裂け目に入る。
 主が地を激しく揺り動かすために立ち上がるとき、
 主の恐ろしさと、
 その威厳の輝きの前から逃れるためだ。
- 22 鼻に息があるだけの人間を頼るのをやめよ。
 そのような者に、どれほどの価値があるのか。

3

- 1 見よ、*主†、万軍の主は、
 エルサレムとユダから、支えと頼み
 を取り除く。
 パンというすべての支えと、
 水というすべての支えを。
- 2 勇士と、
 戦士と、
 裁判官と、
 預言者と、
 占い師と、
 長老を。

* 3:13:1 「見よ」は、注意を促して「見なさい」「よく見よ」の意味を表す間投詞とし

† 3:13:1 「主」は、神の固有名であるヘブライ語のיהוה（ヤハウェ）を表す。

- 3 五十人隊の長と、
尊敬される者と、
助言者と、
熟練した職人と、
巧みな呪術師を。
- 4 「わたしは少年たちを彼らの高官とし、
幼い者たちに彼らを治めさせる。」
- 5 民は互いに虐げ合い、
だれもが他の者を、
だれもが隣人を虐げる。
子どもは老人に向かって高ぶり、
悪人は尊敬される者に向かって高ぶる。
- 6 人は父の家で自分の兄弟をつかまえて言う。
『あなたには着る物がある。われわれの支配
者になってくれ。
この廃墟をあなたの手に委ねよう。』
- 7 その日、その人は声を上げて言う。
『私は傷を治す者にはなれない。
私の家にはパンも着る物もない。
私を民の支配者にしてはならない。』
- 8 エルサレムは滅び、ユダは倒れた。
彼らの言葉と行いが主[‡]に逆らい、
その栄光のまなざしを怒らせているからだ。
- 9 彼らの顔つきが、彼らに不利な証言をする。
彼らはソドムのように自分の罪を見せびらか
し、
それを隠そうとしない。
彼らに災いがある。
彼らは自分自身に災いを招いたからだ。
- 10 義人には幸いがあると告げよ。
彼らは自分の行いの実を食べるからだ。

‡ 3:83:8 「主」は、神の固有名であるヘブライ語のיהוה（ヤハウェ）を表す。

- 11 悪人に災いがある。
災難が彼らに臨む。
その手で行ったことが、彼らに報いられるからだ。
- 12 わたしの民は、子どもたちに虐げられ、
女たちに支配されている。
わたしの民よ、あなたを導く者たちはあなたを迷わせ、
あなたが歩むべき道を滅ぼしている。
- 13 主は争うために立ち上がり、
諸国の民を裁くために立つ。
- 14 主はご自分の民の長老たちと、
その指導者たちを裁く。
「ぶどう畑を食い荒らしたのは、あなたがただ。
貧しい者から奪った物が、あなたがたの家にある。」
- 15 なぜ、あなたがたはわたしの民を打ち砕き、
貧しい者の顔をすりつぶすのか。」
主、万軍の主は言われる。
- 16 さらに主は言われた。
「シオンの娘たちは高ぶり、
首を伸ばし、流し目を送りながら歩き、
気取って小刻みに歩き、
足の飾りを鳴らしている。」
- 17 それゆえ、主はシオンの女たちの頭頂にできものを生じさせ、
主はその頭をはげさせる。」
- 18 その日、主は彼女たちの美しい装身具、すなわち足輪、髪飾り、三日月形の首飾り、

§ 3:153:15 「主」は、神の固有名であるヘブライ語のיהוה（ヤハウエ）を表す。

- 19 耳飾り、腕輪、ベール、
20 頭飾り、足首の鎖、帯、香水入れ、魔除け、
21 印章指輪、鼻輪、
22 晴れ着、肩掛け、外套、手提げ袋、
23 手鏡、上質の亜麻布の衣、冠、ショール
を取り去る。
24 良い香りの代わりに腐った臭いがあり、
帯の代わりに縄があり、
美しく整えた髪のためにはげ頭があり、
晴れ着の代わりに粗布をまとい、
美しさの代わりに焼き印がある。
25 あなたの男たちは剣に倒れ、
あなたの勇士たちは戦いで倒れる。
26 シオンの門々は嘆き悲しむ。
シオンは荒れ果て、地面に座る。

4

- 1 その日、七人の女が一人の男をつかまえて言う。「私たちは自分のパンを食べ、自分の衣服を着ます。ただ、あなたの名で呼ばれるようにしてください。私たちの恥を取り除いてください。」
2 その日、主の若枝は美しく栄光に満ち、地の実はイスラエルの生き残った者たちの美しさと栄光となる。
3 シオンに残された者、エルサレムにとどまる者は聖なる者と呼ばれる。すなわち、エルサレムで生きる者として登録されたすべての人である。
4 それは、主が裁きの霊と焼き尽くす霊によって、シオンの娘たちの汚れを洗い落とし、エルサレムの血をその中から洗い清めるときに起こる。
5 主はシオン山のすべての住まいと、その集会の上に、昼は雲と煙を、夜は燃える火の輝きを造る。すべての栄光の上には覆いが設けられる。

6 昼の暑さを避ける陰となり、嵐と雨を避ける逃れ場と隠れ場となる仮小屋が設けられる。

5

- 1 さあ、私は愛する方のために歌おう。
愛する方のぶどう畑についての歌を。
私の愛する方は、肥沃な丘にぶどう畑を持っていた。
- 2 彼はそこを掘り起こし、
石を取り除き、
最良のぶどうの木を植え、
その中央に塔を建て、
そこにぶどう搾り場も掘った。
彼は良いぶどうが実るのを待ち望んだが、
実ったのは野ぶどうだった。
- 3 「今、エルサレムの住民とユダの人々よ、
どうか、わたしとわたしのぶどう畑と
の間を裁いてほしい。
- 4 わたしがぶどう畑にしたことのほかに、
何をすることができただろうか。
良いぶどうが実るのを待ち望んだのに、
なぜ野ぶどうが実ったのか。
- 5 今、わたしがこのぶどう畑に何をするか、
あなたがたに知らせよう。
その生け垣を取り除き、
食い荒らされるままにする。
その石垣を崩し、
踏み荒らされるままにする。
- 6 わたしはこれを荒れ地にする。
枝を刈り込むことも、土を耕すこともなく、
いばらと茨が生い茂る。
わたしは雲に命じて、
その上に雨を降らせない。」

7 万軍の主のぶどう畑はイスラエルの家、
ユダの人々は主が喜びとした植え木である。

主は公正を待ち望んだが、
見よ、そこには虐げがあった。

義を待ち望んだが、
見よ、苦しみの叫びがあった。

8 家に家を連れね、
畑に畑を加えて、ついには空き地をなくし、
国の中に自分たちだけで住もうとする者たち
に災いがある。

9 万軍の主が私の耳にこう告げた。
「多くの家々は必ず荒れ果てる。
大きく美しい家々も、住む者がいなくなる。

10 十エーカー*のぶどう畑も、一バト†しか実らせ
ず、
一ホメル‡の種をまいても、一エバ§しか取れな
い。」

11 朝早く起きて濃い酒を追い求め、
夜遅くまで居残って、ぶどう酒に酔いしれ
る者たちに災いがある。

12 彼らの宴会には、豎琴、琴、タンバリン、笛、ぶ
どう酒がある。
しかし、彼らは主の働きを顧みず、
その御手の業を考えようもしない。

* 5:10 5:10 直訳では「十くびき」。これは十組の牛が一日に耕せる土地の広さで、約1

† 5:10 5:10 一バトは約22リットル、または約5.8ガロンである。

‡ 5:10 5:10 一ホメルは約220リットル、または6ブッシェルである。

§ 5:10 5:10 一エバは約22リットル、または約0.6ブッシェルである。これは約2ベックで

- 13 それゆえ、わたしの民は知識がないために捕囚となる。
その高貴な者たちは飢え、
群衆は渇きに苦しむ。
- 14 それゆえ、よみ^{*}はその欲望を広げ、
限りなく口を開いた。
都の栄光も、群衆も、騒ぎも、
その中で喜ぶ者も、そこへ下って行く。
- 15 人は低くされ、
人々はへりくだらされ、
高ぶる者の目も低くされる。
- 16 しかし、万軍の主は公正によって高く上げられ、
聖なる神は義によって、ご自分の聖さを示す。
- 17 その時、子羊は自分の牧場にいるよう
に草を食べ、
よそ者は裕福な者たちの荒れ跡で草を食べる。
- 18 偽りの綱で咎を引き寄せ、
荷車の縄で罪を引く者たちに災いがある。
- 19 彼らは言う。
「その方に急いでその業を行わせよ。
われわれがそれを見られるように。
イスラエルの聖なる方の計画を近づけ、
実現させよ。
われわれがそれを知ることができるように。」
- 20 悪を良いと呼び、良いものを悪と呼ぶ者たち
に災いがある。
彼らは闇を光とし、
光を闇とする。
苦いものを甘いものとし、
甘いものを苦いものとする。
- 21 自分の目には知恵があり、

* 5:14 5:14 よみ（シェオル）は死者の場所である。

- 自分の判断では賢い者たちに災いがある。
- 22 ぶどう酒を飲むことに勇ましく、
濃い酒を混ぜることに長けた者たちに災いがある。
- 23 彼らは賄賂のために悪人を無罪とし、
罪のない者から公正を奪う。
- 24 それゆえ、火の舌が刈り株を食い尽くし、
枯れ草が炎の中で崩れ落ちるように、
彼らの根は腐り、
その花はちりのように舞い上がる。
彼らが万軍の主の律法を退け、
イスラエルの聖なる方の言葉を侮ったからだ。
- 25 それゆえ、主の怒りはその民に向かって燃え、
主は彼らに向かって御手を伸ばし、彼らを打った。
山々は震え、
彼らの死体は通りの真ん中でごみのようになった。
それでも主の怒りは去らず、
その御手はなお伸ばされたままである。
- 26 主は遠くの諸国に向かって旗を掲げ、
地の果てから彼らを口笛で呼び寄せる。
見よ、彼らは速やかに、素早くやって来る。
- 27 その中には疲れる者も、つまりく者もない。
まどろむ者も、眠る者もない。
腰の帯は解けず、
履物のひもも切れない。
- 28 彼らの矢は鋭く、
弓はすべて引き絞られている。
馬のひづめは火打ち石のようで、
戦車の車輪はつむじ風のようだ。
- 29 そのうなり声は雌獅子のようであり、

若い獅子のようにほえる。
彼らはほえ、
獲物を捕らえて運び去る。
それを救い出す者はいない。
30 その日、彼らは海がとどろくように、
この民に向かってほえる。
人が地に目を向けると、
見よ、闇と苦しみがある。
光は雲によって暗くされる。

6

1 ウジヤ王が死んだ年、私は主が高く上げられた王座に座っておられるのを見た。その衣の裾は神殿を満たしていた。
2 主の上にはセラフィムが立っていた。それぞれに六つの翼があり、二つで顔を覆い、二つで足を覆い、二つで飛んでいた。
3 彼らは互いに呼び交わして言った。
「聖なる、聖なる、聖なる、万軍の主。
全地はその栄光に満ちている。」
4 呼び交わす者の声によって戸口の敷居が揺れ、神殿は煙で満たされた。
5 その時、私は言った。「ああ、私は滅びる。私は唇の汚れた者であり、唇の汚れた民の中に住んでいる。それなのに、私の目は王である万軍の主を見たからだ。」
6 すると、セラフィムの一人が私のところへ飛んで来た。その手には、祭壇から火ばさみで取った燃える炭があった。
7 彼はそれを私の口に触れさせて言った。
「見よ、これがあなたの唇に触れた。あなたの咎は取り去られ、あなたの罪は赦された。」

8 私は主の声を聞いた。「だれを遣わそう。だれがわれわれのために行くのか。」

そこで私は言った。「ここに私がいます。私を遣わしてください。」

9 主は言われた。「行って、この民にこう告げなさい。

『あなたがたは確かに聞くが、

悟らない。

確かに見るが、

理解しない。』

10 この民の心を鈍くし、

耳を聞こえにくくし、目を閉ざせ。

そうでなければ、彼らは目で見、

耳で聞き、

心で悟り、

立ち返って、癒やされるだろう。」

11 そこで私は言った。「主よ、いつまでですか。」

主は答えられた。

「町々が荒れ果てて住む者がなくなり、

家々にも人がいなくなり、

土地がすっかり荒れ果てるまで。

12 主が人々を遠くへ移し、

国内に見捨てられた場所が多くなるまで。

13 なお十分の一がそこに残っていても、

それも再び焼き尽くされる。

テレビンの木や櫟の木が切り倒されても、

その切り株が残るように、

聖なる種がその切り株である。」

7

1 ユダの王で、ウジヤの子ヨタムの子であるアハズの時代に、シリアの王レツインと、レマルヤの子であるイスラエルの王ペカが、エルサレム

と戦うために攻め上った。しかし、これを攻め落とすことはできなかった。

²ダビデの家に、「シリアがエフライムと同盟を結んだ」と知らされた。王の心と民の心は、森の木々が風に揺れるように震えた。

³その時、主はイザヤに言われた。「あなたと、あなたの子シェアル・ヤシュブは、今すぐアハズに会うために出て行きなさい。上の池の水路の端、布さらしの野へ向かう大路に行き、

⁴彼にこう言いなさい。『気をつけて、落ち着いていなさい。この二つのくすぶるたいまつは燃えさし、すなわちレツインとシリア、レマルヤの子の激しい怒りを恐れてはならない。心を弱らせてはならない。』

⁵シリアとエフライムとレマルヤの子が、あなたに対して悪を企て、

⁶こう言っているからだ。「ユダに攻め上り、これを引き裂き、われわれのものとして分け、その中にタブエルの子を王として立てよう。」

⁷主なる神はこう言われる。「その計画は実現せず、起こりもしない。

⁸シリアの頭はダマスコであり、ダマスコの頭はレツインだからだ。六十五年以内にエフライムは打ち砕かれ、もはや一つの民ではなくなる。

⁹エフライムの頭はサマリアであり、サマリアの頭はレマルヤの子である。あなたが信じなければ、決して堅く立つことはできない。』

¹⁰主は再びアハズにこう言われた。

¹¹「あなたの神、主にしるしを求めなさい。深い所にでも、上の高い所にでも求めなさい。」

¹²しかし、アハズは言った。「私は求めません。主を試すこともしません。」

13 そこでイザヤは言った。「ダビデの家よ、
今、聞きなさい。人々を煩わせるだけでは足りず、
私の神をも煩わせるのか。

14 それゆえ、主ご自身があなたがたにしるし
を与える。見よ、処女が身ごもつ
て男の子を産み、その名をインマヌエル*と呼ぶ。

15 その子は、悪を退けて良いものを選ぶこと
を知るところ、バターと蜂蜜を食べる。

16 その子が悪を退けて良いものを選ぶこと
を知る前に、あなたが忌み嫌っている二
人の王の国は見捨てられる。

17 主は、あなたとあなたの民とあなたの
の父の家に、エフライムがユダから離れた日以来な
かった日々、すなわちアッシリアの王をもたらす。

18 その日、主はエジプトの川々の最果てにいるは
えと、アッシリアの地にいる蜂を口笛で呼び寄せ
る。

19 それらはやって来て、荒れた谷、岩の裂け目、
すべてのいばらの茂み、すべての牧草地にとどま
る。

20 その日、主は大河の向こうから雇ったかみそ
り、すなわちアッシリアの王によって、
頭と足の毛をそり、ひげもそり落とす。

21 その日、一人の人が一頭の若い雌牛と二
頭の羊を飼う。

22 それらが豊かに乳を出すため、彼はバター
を食べる。この地に残された者はみな、バターと蜂
蜜を食べる。

23 その日、銀千シェケル†の価値がある千本のぶ

* 7:14 7:14 「インマヌエル」は「神がわれわれとともにおられる」という意味である。

† 7:23 7:23 一シェケルは約10グラム、あるいは約0.35オンスである。千シェケルは約10

どうの木があつた場所も、いばらと茨の生える所となる。

²⁴ 全地がいばらと茨になるため、人々は弓と矢を携えてそこへ行く。

²⁵ くわで耕されていたすべての丘にも、いばらと茨を恐れて近づかなくなる。そこは牛が放され、羊が踏み荒らす場所となる。」

8

¹ 主は私に言われた。「大きな板を取り、人の筆で『マヘル・シャル・ハシュ・バズのために』*と書きなさい。

² わたしは、祭司ウリヤとエベレクヤの子ゼカリヤを、わたしのための忠実な証人として立てる。」

³ 私は女預言者のもとに行つた。彼女は身ごもり、男の子を産んだ。すると主は私に言われた。「その名を『マヘル・シャル・ハシュ・バズ』と呼びなさい。

⁴ この子が『お父さん』『お母さん』と言えるようになる前に、ダマスコの富とサマリアの分捕り物が、アッシリアの王の前に運び去られるからだ。」

⁵ 主はさらに私にこう言われた。

⁶ 「この民は穏やかに流れるシロアの水を拒み、レツインとレマルヤの子を喜んでゐる。

⁷ それゆえ、見よ、主は大河の力強く豊かな水、すなわちアッシリアの王とそのすべての栄光を、彼らの上にもたらず。それはすべての水路を越え、すべての岸からあふれ出る。

* **8:18:1** 「マヘル・シャル・ハシュ・バズ」は「分捕りは速く、獲物は迅速に」とい

8 それはユダへ流れ込み、あふれて押し流し、首にまで達する。その翼を広げ、あなたの国の幅いっぱいには満ちる。インマヌエルよ。

9 諸国の民よ、騒ぎ立てよ。そして打ち碎かれよ。遠い国々のすべての者よ、聞け。武装せよ、そして打ち碎かれよ。武装せよ、そして打ち碎かれよ。

10 とともに計画を立てても、それは無に帰する。言葉語っても、それは実現しない。神がわれわれとともにおられるからだ。」

11 主は力強い御手を私の上に置いて語り、この民の道を歩まないように私を戒めて言われた。

12 「この民が陰謀と呼ぶものを、何でも陰謀と呼んではならない。彼らの脅しを恐れず、おびえてはならない。

13 万軍の主を聖なる方と認めよ。主こそ、あなたがたが恐れるべき方。主こそ、あなたがたがおのくべき方である。

14 主は聖所となる。しかし、イスラエルの両家にとってはつまずきの石、彼らを倒す岩となる。エルサレムの住民にとっては罣となり、わなとなる。

15 多くの者がそれにつまずき、倒れ、打ち碎かれ、わなにかかり、捕らえられる。」

16 契約を包み、律法を私の弟子たちの間で封印せよ。

17 私は、ヤコブの家から御顔を隠しておられる主を待ち望み、主に望みを置く。

18 見よ、私と、主が私に与えた子どもたちは、シオン山に住まわれる万軍の主から出た、イスラエルにおけるしるしと不思議である。

19 人々があなたがたに、「さえずるような声を出し、つぶやく霊媒や魔術師に尋ねよ」と言う時、民は自分たちの神に尋ねるべきでは

ないか。生きている者のために、死者に尋ねるべきだろうか。

20 律法と契約に立ち返れ。この言葉に従って語らないなら、その者たちには朝の光がない。

21 彼らは苦しみ、飢えながら、その地を通り過ぎる。飢える時、彼らはいらだち、自分たちの王と神を呪い、顔を上に向ける。

22 それから地に目を向けると、見よ、苦しみと闇、苦悩の暗がりがある。彼らは濃い闇へ追いやられる。

9

1 しかし、苦しみの中にあった地に、もはや暗闇はない。以前には、ゼブルンの地とナフタリの地を卑しめられたが、後には、海沿いの道、ヨルダンの向こう、異邦人のガリラヤを栄光あるものとされた。

2 闇の中を歩んでいた民は、

大きな光を見た。

死の陰の地に住んでいた者たちの上に、

光が輝いた。

3 あなたは民を増し加え、

彼らの喜びを増した。

彼らは収穫の時に喜ぶように、

分捕り物を分ける時に人々が喜ぶように、

あなたの前で喜ぶ。

4 あなたは、彼らが負うくびきと、

肩にかかる杖、

彼らを虐げる者のむちを、

ミディアンの日のように打ち砕いた。

5 騒がしい戦いに臨む兵士のすべての武具と、

血にまみれた衣服は、

焼かれて、火の燃料となる。

6 一人の子どもがわれわれのために生まれた。

一人の息子がわれわれに与えられた。
主権はその肩にある。
その名は、不思議な助言者、力ある神、
永遠の父、平和の君と呼ばれる。
7 その統治と平和は増し加わり、
終わることがない。
彼はダビデの王座に着き、その王国を治め、
今から永遠に、
公正と義によって王国を確立し、支える。
万軍の主の熱意が、
これを成し遂げる。

- 8 主はヤコブに言葉を送られ、
それはイスラエルに降りかかった。
9 すべての民はそれを知る。
エフライムとサマリアの住民は、
高ぶりと心の傲慢さの中で言う。
10 「れんがは崩れ落ちたが、
われわれは切り石で建て直そう。
いちじく桑は切り倒されたが、
その代わりに杉を植えよう。」
11 それゆえ、主はレツインの敵対者たちを、
イスラエルに向かって立ち上がらせ、
その敵たちを奮い立たせる。
12 前からはシリア人、
後ろからはペリシテ人が、
口を大きく開けてイスラエルを食い尽くす。
それでも主の怒りは去らず、
その御手はなお伸ばされたままである。
13 それでも民は、自分たちを打った方に立ち返ら
ず、
万軍の主を求めなかった。

- 14 それゆえ、主は一日のうちに、
イスラエルから頭と尾、
なつめやしの枝と葦を切り落とす。
- 15 長老と尊敬される者が頭であり、
偽りを教える預言者が尾である。
- 16 この民を導く者たちは彼らを迷わせ、
導かれる者たちは滅ぼされる。
- 17 それゆえ、主は彼らの若者たちを喜ばず、
父のない子や、やもめをあわれまない。
すべての者が神を恐れず、悪を行い、
すべての口が愚かなことを語るからだ。
それでも主の怒りは去らず、
その御手はなお伸ばされたままである。
- 18 悪は火のように燃え、
いばらと茨を食い尽くす。
森の茂みに火をつけ、
煙の柱となって巻き上がる。
- 19 万軍の主の激しい怒りによって、
地は焼け焦げる。
民は火の燃料となり、
だれも自分の兄弟を容赦しない。
- 20 右側のものを食い尽くしても飢え、
左側のものを食べても満たされない。
だれもが自分の腕の肉を食べる。
- 21 マナセはエフライムを食べ、
エフライムはマナセを食べる。
彼らはともにユダに敵対する。
それでも主の怒りは去らず、
その御手はなお伸ばされたままである。

10

1 不義な法令を定め、虐げる命令を書き記す者たちに災いがある。

2 彼らは貧しい者から公正を奪い、わたしの民の困窮している者から権利を奪い、やもめを分捕り物とし、父のない子を獲物とする。

3 裁きの日、遠くから荒廃が来る時、あなたがたはどうするのか。助けを求めて、だれのもとへ逃げるのか。自分の財産をどこに残すのか。

4 捕虜の中に身をかがめ、
殺された者たちの下に倒れるほかない。

それでも主の怒りは去らず、
その御手はなお伸ばされたままである。

5 ああ、アッシリア。彼はわたしの怒りのむちであり、その手にある杖はわたしの憤りである。

6 わたしは彼を神を恐れない国に遣わし、わたしを怒らせた民に向かって命じる。分捕り物を奪い、獲物を取り、彼らを通りの泥のように踏みにじらせる。

7 しかし、彼自身はそうのように考えず、その心もそうは思っていない。その心にあるのは、多くの国々を滅ぼし、断ち滅ぼすことである。

8 彼は言う。「私の高官たちは、みな王ではないか。

9 カルノはカルケミシュのようになっただけではないか。ハマテはアルパデのように、サマリアはダマスコのようになっただけではないか。

10 私の手は偶像の王国を捕らえた。その彫像はエルサレムやサマリアのものにまさっていた。

11 サマリアとその偶像にしたように、エルサレムとその偶像にも同じことをするではないか。」

12 主がシオンの山とエルサレムでご自分の働きをすべて終えるとき、わたしはアッシリアの王の傲慢な心の実と、その傲慢な目の誇りを罰する。

13 彼はこう言ったからだ。「私は自分の手の力と自分の知恵によってこれを行った。私には分別があるからだ。私は諸国の境を取り除き、その宝を奪い、勇士のように支配者たちを引きずり下ろした。

14 私の手は、巢を見つけるように諸国の富を見つけた。置き去りにされた卵を集めるように、私は全地を集めた。翼を動かす者も、口を開く者も、さえずる者もいなかった。」

15 斧が、それを使って切る者に向かって誇るだろうか。のこぎりが、それを引く者よりも自分を高くするだろうか。それはまるで、むちがそれを振るう者を振り回し、木の杖が人を持ち上げるようなものだ。

16 それゆえ、主*、万軍の主は、彼の肥えた者たちをやせ衰えさせ、その栄光の下に、火が燃えるような炎を燃え上がらせる。

17 イスラエルの光は火となり、その聖なる方は炎となる。その火は一日のうちに、彼のいばらと茨を焼き尽くす。

18 主は彼の森と実り豊かな畑の栄光を、身も命も焼き尽くす。それは旗手が衰え果てる時のようになる。

19 その森に残る木はわずかとなり、子どもでもその数を書き記せるほどになる。

20 その日、イスラエルの残りの者と、ヤコブの家の逃れた者たちは、もはや自分たちを打つ

* 10:16 10:16 「主」は、神の固有名であるヘブライ語の יהוה（ヤハウェ）を表す。

た者に頼らず、真実をもって、イスラエルの聖なる方である主[†]に頼る。

²¹ 残りの者、すなわちヤコブの残りの者は、力ある神に立ち返る。

²² イスラエルよ、あなたの民が海の砂のように多くても、そのうち立ち返るのは残りの者だけである。義にあふれる滅びが定められている。

²³ 主[‡]、万軍の主は、全地に定められた完全な滅びを行う。

²⁴ それゆえ、主、万軍の主はこう言われる。「シオンに住むわたしの民よ、エジプトがしたように、アッシリアがむちであなただを打ち、あなたに向かって杖を振り上げても、彼を恐れてはならない。

²⁵ ほんのしばらくすれば、あなたに対する憤りは終わり、わたしの怒りは彼を滅ぼすことに向けられる。」

²⁶ 万軍の主は、オレブの岩でミディアンを打ち殺した時のように、彼に向かってむちを振るう。主は海の上に杖を伸ばし、エジプトに対してしたように、それを振り上げる。

²⁷ その日、彼の重荷はあなたの肩から離れ、彼のくびきはあなたの首から外される。そのくびきは、油注ぎのゆえに碎かれる。

²⁸ 彼はアイアテに来た。ミグロンを通り、ミクマスに荷物を置く。

²⁹ 彼らは峠を越え、ゲバで夜を過ごす。ラマは震え、サウルのギブアは逃げ去った。

³⁰ ガリムの娘よ、声を上げて叫べ。ライシャよ、聞け。哀れなアナトテよ。

[†] 10:20 10:20 「主」は、神の固有名であるヘブライ語の יְהוָה (ヤハウェ) を表す。

[‡] 10:23 10:23 「主」は、神の固有名であるヘブライ語の יְהוָה (ヤハウェ) を表す。

31 マデメナは逃げ去り、ゲビムの住民は安全な場所へ逃れる。

32 今日の中に、彼はノブにとどまり、シオンの娘の山、エルサレムの丘に向かって手を振り上げる。

33 見よ、主、万軍の主は、恐るべき力で大枝を切り落とす。背の高い者は切り倒され、高ぶる者は低くされる。

34 主は鉄で森の茂みを切り払い、レバノンには力ある方によって倒される。

11

1 エッサイの切り株から一つの芽が出て、その根から若枝が伸び、実を結ぶ。

2 主の霊がその上にとどまる。

知恵と悟りの霊、

助言と力の霊、

知識と主を恐れる霊である。

3 彼は主を恐れることを喜びとする。

目で見たことによって裁かず、

耳で聞いたことによって裁定しない。

4 義をもって貧しい者を裁き、

公平をもって地のへりくだった者たちのために判決を下す。

その口の杖で地を打ち、

その唇の息で悪人を殺す。

5 義はその腰を締める帯となり、

真実はその腰を締める帯となる。

6 狼は子羊とともに住み、

豹は子やぎとともに伏す。

子牛、若い獅子、肥えた子牛がともにいて、

小さな子どもがそれらを導く。

7 雌牛と熊はともに草を食べ、

その子らはともに伏す。

獅子は牛のようにわらを食べる。

8 乳飲み子はコブラの穴のそばで遊び、
乳離れした子は毒蛇の巣に手を伸ばす。

9 わたしの聖なる山のどこにおいても、
彼らは傷つけることも、滅ぼすこともない。

水が海を覆うように、
地は主を知る知識で満ちるからだ。

10 その日、諸国の民の旗として立つエッサイ
の根を、異邦人は求める。その休み場は栄光に満ちる。

11 その日、主は再び手を伸ばし、残されている
ご自分の民の残りの者を、アッシリア、エジプト、パテロス、クシュ、エラム、シンアル、ハマテ、海の島々から取り戻す。

12 主は諸国の民のために旗を掲げ、イスラエルから
追い散らされた者たちを集め、ユダから散らされた者たちを地の四隅から集める。

13 エフライムのねたみは去り、ユダを苦しめる者たちは断ち滅ぼされる。エフライムはユダをねたまず、ユダもエフライムを苦しめない。

14 彼らは西方のペリシテ人の肩に飛びかかり、ともに東方の人々を略奪する。彼らはエドムとモアブの上に手を伸ばし、アンモンの人々は彼らに従う。

15 主はエジプトの海の入り江を完全に滅ぼす。
焼けつく風によって大河の上に手を振り、大河を七つの流れに分け、人々が履物を履いたまま渡れるようにする。

16 アッシリアから残される主の民の残りの者のために、大路が備えられる。イスラエルがエジプトの地から上って来た日と同じようになる。

12

- 1 その日、あなたは言う。
 「主*よ、私はあなたに感謝する。
 あなたは私に怒ったが、
 その怒りは去り、
 私を慰めてくださった。」
- 2 見よ、神は私の救い。
 私は信頼し、恐れない。
 主†、主‡こそ私の力、私の歌。
 私の救いとなった。」
- 3 あなたがたは喜びながら、
 救いの井戸から水を汲む。
- 4 その日、あなたがたは言う。
 「主に感謝せよ。
 御名を呼び求めよ。
 その行いを諸国の民の間に知らせ、
 その御名が高く上げられていることを宣べ伝えよ。」
- 5 主に歌え。
 主はすばらしいことを行った。
 このことを全地に知らせよ。
- 6 シオンに住む者よ、声を上げて叫び、喜び歌え。
 イスラエルの聖なる方が、
 あなたのただ中で偉大だからだ。」

13

- 1 アモツの子イザヤが見た、バビロンについての宣告。
- 2 木のない山の上に旗を掲げよ。
 彼らに向かって声を上げよ。

* 12:1 12:1 「主」は、神の固有名であるヘブライ語の יהוה (ヤハウェ) を表す。

† 12:2 12:2 ヘブライ語では יה (ヤハ) である。 ‡ 12:2 12:2

「主」は、神の固有名であるヘブライ語の יהוה (ヤハウェ) を表す。

- 手を振って、
彼らを高貴な者たちの門に入らせよ。
- 3 わたしは聖別した者たちに命じた。
わたしの怒りを遂げるために、勇士たち
を呼び集めた。
わたしの威光を誇り喜ぶ者たちを。
- 4 山々に大群衆の声がする。
大いなる民のような声が。
集められた諸国の王国の、
騒がしい声がする。
万軍の主が、
戦いのために軍勢を召集している。
- 5 彼らは遠い国から、
天の果てから来る。
主と、その憤りの武器が、
全土を滅ぼすために来る。
- 6 泣き叫べ。
主の日が近いからだ。
それは全能者から来る滅びのように襲う。
- 7 それゆえ、すべての手は力を失い、
すべての人の心は溶ける。
- 8 彼らはおびえる。
苦痛と苦しみが彼らを捕らえる。
彼らは産みの苦しみにある女のように痛む。
彼らは驚いて互いを見つめ、
その顔は炎のようになる。
- 9 見よ、主の日が来る。
残酷で、憤りと激しい怒りを伴い、
地を荒れ果てさせ、
そこから罪人たちを滅ぼすために来る。
- 10 天の星々とその星座は、
その光を放たない。
太陽は昇る時に暗くなり、

- 月もその光を輝かせない。
- 11 「わたしは、その悪のために世界を罰し、
その咎のために悪人を罰する。
高ぶる者の傲慢をやめさせ、
暴虐な者の高ぶりを低くする。
- 12 わたしは人を純金よりもまれにし、
人間をオフィルの純金よりも少なくする。
- 13 それゆえ、わたしは天を震わせる。
万軍の主の憤りのゆえに、
その激しい怒りの日に、
地はその場所から揺り動かされる。
- 14 追われるかもしかのように、
集める者のいない羊の群れのように、
彼らはそれぞれ自分の民のもとに向かい、
それぞれ自分の国へ逃げる。
- 15 見つけた者はみな刺し通され、
捕らえられた者はみな剣に倒れる。
- 16 彼らの幼子は目の前で打ち碎かれ、
家々は略奪され、
妻たちは犯される。
- 17 見よ、わたしは彼らに対してメデイ
ア人を奮い立たせる。
彼らは銀を重んじず、
金を喜ばない。
- 18 彼らの弓は若者たちを打ち碎く。
彼らは胎内の子をあわれまず、
子どもたちを見ても容赦しない。
- 19 王国の栄光、
カルデア人が誇る美しいバビロンは、
神がソドムとゴモラを覆した時のようになる。
- 20 そこには永遠に人が住まず、
代々にわたってだれも住み着かない。
アラビア人もそこに天幕を張らず、

- 羊飼いやそこでも群れを休ませない。
21 荒野の獣がそこに伏し、
その家々はジャッカルで満ちる。
だちやがそこに住み、
野やぎがそこで跳ね回る。
22 ハイエナがその城塞で鳴き、
ジャッカルが豪華な宮殿で鳴く。
その時は近づき、
その日々が延ばされることはない。

14

- 1 主はヤコブをあわれみ、
再びイスラエルを選び、
彼らを自分たちの地に住ませる。
外国人も彼らに加わり、
ヤコブの家と一つになる。
2 諸国の民は彼らを連れて来て、
彼らの場所へ導く。
イスラエルの家は主の地で、
彼らを男奴隷、女奴隷として所有する。
自分たちを捕虜にした者たちを捕虜とし、
自分たちを虐げた者たちを支配する。
3 主があなたの悲しみと苦しみから、
また、あなたに負わせられた厳しい労役から、
あなたを休ませる日に、
4 あなたはバビロンの王に対して、
このあざけりの歌を口にする。
「虐げる者は、なんと絶えたことか。
黄金の都は、なんと絶えたことか。
5 主は悪人の杖を、
支配者たちの王笏を折った。
6 彼らは怒りをもって諸国の民を絶え間なく打ち、
だれにも止められない迫害をもって、

- 怒りのうちに諸国を支配した。
7 全地は安らかになり、静まった。
人々は喜びの歌を上げる。
8 糸杉もあなたのことで喜び、
レバノンの杉も言う。
『あなたが倒れてから、
われわれを切るために上って来る木こりはいない。』
9 下のよみ*は、
あなたが来るのを迎えるために騒ぎ立つ。
あなたのために死者の霊を奮い立たせ、
地のすべての支配者たちを起こす。
諸国のすべての王を、
その王座から立ち上がらせる。
10 彼らはみな、あなたに答える。
『あなたもわれわれのように弱くなったのか。
われわれと同じになったのか。』
11 あなたの栄華と琴の響きは、
よみ†に下された。
うじがあなたの下に敷かれ、
虫があなたを覆っている。
12 光るもの、暁の子よ。
あなたは、なんと天から落ちたことか。
諸国を打ち倒した者よ。
あなたは、なんと地に切り倒されたことか。
13 あなたは心の中で言った。
『私は天に上ろう。
神の星々よりも高く自分の王座を上げよう。
北の果てにある集会の山に座ろう。
14 雲の高い所よりも上に上り、
いと高き方のようなろう。』

* 14:9 14:9 よみ（シェオル）は死者の場所である。 † 14:11 14:11
よみ（シェオル）は死者の場所である。

- 15 しかし、あなたはよみ[‡]に、
穴の奥底にまで下される。
- 16 あなたを見る者たちは、あなたを見つめ、
あなたのことをよく考えて言う。
『この者が地を震わせ、
王国を揺り動かした男なのか。
- 17 世界を荒野のようにし、
その町々を覆し、
捕虜を故郷へ帰さなかった者なのか。』
- 18 諸国の王はみな、
それぞれ自分の墓で栄誉のうちに眠る。
- 19 しかし、あなたは忌み嫌われた若枝のように、
自分の墓から投げ捨てられた。
- 剣で刺し通され、
穴の石のところへ下る者たちに覆われ、
踏みつけられた死体のようになった。
- 20 あなたは彼らとともに葬られることはない。
自分の国を滅ぼし、
自分の民を殺したからだ。
- 悪を行う者たちの子孫は、
永遠に名を残すことはない。
- 21 彼らの父祖の咎のために、
その子らを殺す用意をせよ。
- 彼らが立ち上がって地を所有し、
地の面を町々で満たすことのないようにせよ。
- 22 万軍の主は言う。
「わたしは彼らに向かって立ち上がり、
バビロンから名も残りの者も、
子も孫も断ち滅ぼす」と主は言う。
- 23 「わたしはそこをヤマアラシの住みかとし、
水の沼とする。

‡ 14:15 14:15 よみ（シェオル）は死者の場所である。

- 滅びのほうきで、
そこを掃き払う」と万軍の主は言う。
- 24 万軍の主は誓って言う。
「まことに、わたしが考えたとおりに事は起こり、
わたしが定めたとおりに実現する。
- 25 わたしの地でアッシリア人を打ち砕き、
わたしの山々で彼を踏みにじる。
その時、彼のくびきは彼らから外れ、
彼の重荷は彼らの肩から離れる。
- 26 これが全地について定められた計画であり、
これがすべての国々の上に伸ばされた手である。
- 27 万軍の主が計画した。
だれがそれを阻めるだろうか。
その手は伸ばされている。
だれがそれを引き戻せるだろうか。」
- 28 アハズ王が死んだ年に、この宣告があった。
- 29 「ペリシテ全土よ、
あなたを打った杖が折られたからといって喜ぶな。
- 蛇の根からまむしが出て、
その実は火のように飛ぶ蛇となるからだ。
- 30 貧しい者の中でも最も貧しい者は食べ、
困窮している者たちは安らかに伏す。
しかし、わたしは飢饉によってあなたの根を殺し、
あなたの残りの者も殺される。
- 31 門よ、泣き叫べ。
町よ、叫べ。
ペリシテ全土よ、
あなたは溶け去る。
北から煙が来るからだ。
その隊列には落伍者が一人もいない。
- 32 国の使者たちに、何と答えるべきか。

『主がシオンの基を据え、
その中に、主の民の苦しむ者たち
が避け所を得る』と。』

15

- 1 モアブについての宣告。
一夜のうちにモアブのアルは荒らされ、
滅ぼされた。
一夜のうちにモアブのキルは荒らされ、
滅ぼされた。
- 2 彼らは泣くためにバイトとディボンへ、
高き所へ上って行った。
モアブはネボとメデバのことで泣き叫ぶ。
すべての頭はそられ、
あごひげはみな切り落とされている。
- 3 通りでは粗布をまとい、
屋根の上でも通りでも、
だれもが泣き叫び、涙を流す。
- 4 ヘシュボンとエルアレは叫び、
その声はヤハツにまで聞こえる。
それゆえ、モアブの武装兵たちは声を上げ、
その心は内で震える。
- 5 私の心はモアブのために叫ぶ。
その高貴な者たちはツォアルへ、
エグラテ・シェリシヤへ逃げる。
彼らは泣きながらルヒテの坂を上り、
ホロナイムへの道で、
滅びの叫びを上げる。
- 6 ニムリムの水は干上がる。
草は枯れ、
若草はなくなり、
緑のものは何もない。
- 7 それゆえ、彼らは自分たちが得た富と、

- 蓄えていた物を、
柳の川の向こうへ運び去る。
- 8 叫び声はモアブの国境を巡り、
その泣き声はエグライムに、
その泣き声はベエル・エリムにまで届く。
- 9 デイモンの水は血で満ちる。
わたしがデイモンに、さらに災いを加えるから
だ。
- モアブから逃れた者と、
その地の残りの者に獅子を送る。

16

- 1 この地の支配者に子羊を送りなさい。
セラから荒野を通り、
シオンの娘の山へ。
- 2 さまよう鳥のように、
巢を追われた鳥のように、
モアブの娘たちはアルノンの渡り場にいる。
- 3 助言を与えよ。
公正を行え。
- 真昼にも、あなたの陰を夜のようにせよ。
追放された者たちを隠し、
逃亡者を裏切るな。
- 4 わたしの追放された者たちを、
あなたのもとに住ませよ。
モアブにとって、破壊する者から逃れる
隠れ場となれ。
- 奪い取る者は消え失せ、
滅びは終わり、
虐げる者たちは地から絶やされるからだ。
- 5 王座は慈しみによって堅く据えられる。
一人の者がダビデの天幕で、
真実をもってその上に座る。

彼は裁きを行い、
公正を求め、
速やかに義を行う。

6 われわれはモアブの高ぶりを聞いた。
彼は非常に高ぶっている。
その傲慢と高ぶりと激しい怒りを聞いた。
その自慢はむなしい。

7 それゆえ、モアブはモアブのために泣き叫ぶ。
だれもが泣き叫ぶ。
あなたがたは打ちのめされ、
キル・ハレセテの干しぶどう菓子のため
に嘆く。

8 ヘシュボンの畑と、
シブマのぶどうの木は衰えた。
諸国の支配者たちは、
その選り抜きの枝を打ち砕いた。
その枝はヤゼルにまで達し、
荒野へ伸びて行った。
その若枝は広がり、
海を越えた。

9 それゆえ、私はヤゼルとともに、
シブマのぶどうの木のために泣く。
ヘシュボンよ、エルアレよ、
私は涙であなたをぬらす。
あなたの夏の果実と収穫の上に、
戦いの叫びが降りかかったからだ。

10 実り豊かな畑から喜びと楽しみが取り去られた。
ぶどう畑では歌も喜びの声もない。
ぶどう搾り場でぶどうを踏む者もない。
わたしが喜びの叫びをやめさせた。

11 それゆえ、私の心はモアブのために琴のよう
に響き、
私の胸の内はキル・ヘレスのために響く。

- 12 モアブが高き所に上り、
そこで疲れ果て、
祈るために自分の聖所へ行っても、
何も成し遂げられない。
- 13 これは、主が以前モアブについて語った言葉である。
- 14 しかし今、主はこう言った。
「雇われ人が日数を数えるように、三年以内に、
モアブの栄光は、その大群衆すべてとともに
に卑しめられる。
残りの者はごくわずかとなり、
力を失う。」

17

- 1 ダマスコについての宣告。
「見よ、ダマスコは町でなくなり、廃墟の山となる。
- 2 アロエルの町々は見捨てられ、羊の群れのものとなる。群れはそこに伏し、脅かす者はだれもない。
- 3 エフライムから要塞がなくなり、ダマスコから王国がなくなり、シリアの残りの者も消え去る。彼らはイスラエルの子らの栄光のようになる」と万軍の主は言う。
- 4 「その日、ヤコブの栄光は衰え、その肥えた肉体はやせ細る。
- 5 それは、刈り入れる者が穀物を集め、腕で穂を刈り取る時のようになる。レファイムの谷で落ち穂を拾う時のようになる。
- 6 しかし、オリーブの木を揺すった後のように、取り残された実がそこに残る。最も高い枝の先に二つ三つ、実をつける木の外側の枝に四つ五つ残る」とイスラエルの神、主は言う。

7 その日、人は自分を造られた方に目を向け、その目はイスラエルの聖なる方を仰ぐ。

8 彼らは自分たちの手で造った祭壇に目を向けず、自分たちの指で造ったアシェラ像や香の祭壇を仰ぐこともない。

9 その日、彼らの堅固な町々は、森や山頂にある、かつてイスラエルの子らを前にして捨て去られた場所のようになり、荒れ果てる。

10 あなたは自分の救いの神を忘れ、自分の力の岩を覚えていなかった。それゆえ、あなたは美しい植え木を植え、異国の苗木を植える。

11 植えた日に、あなたはその周りに垣を巡らし、朝には種から芽を出させる。しかし、苦しみと絶望的な悲しみの日には、収穫は失われる。

12 ああ、多くの民の騒ぎ。彼らは海がとどろくように騒ぐ。諸国の民のどよめき。彼らは大水がどよめくようにどよめく。

13 諸国の民は多くの水がどよめくようにどよめく。しかし、主が彼らを叱ると、彼らは遠くへ逃げ、山のもみ殻が風に追われるように、つむじ風の前の転がるちりのように追い払われる。

14 夕暮れには、見よ、恐怖がある。朝になる前に、彼らはもういない。これが、われわれから略奪する者たちの受ける分、われわれから奪う者たちの受ける割り当てである。

18

1 ああ、羽音のする地よ。クシュの川々の向こうにある地よ。

2 その地は海路で使者を送り、水の上を行くパピルスパピルスの舟で彼らを遣わして言う。「速い使者たちよ、行け。背が高く、肌の滑らかな民のもとへ。初めから今に至るまで恐れられている民、測り分け

て踏みこむにじる国、川々がその国土を分けている民のもとへ。」

³世界のすべての住民、地に住む者たちよ。山々の上に旗が掲げられたら、見よ。角笛が吹き鳴らされたら、聞け。

⁴主は私にこう言われた。「わたしは静かにして、わたしの住まいから見守ろう。日差しの中の澄んだ熱気のように、収穫の暑さの中の露の雲のように。」

⁵収穫の前、花が終わり、花からぶどうの実が熟し始める時、主は剪定鎌で若枝を切り落とし、伸びた枝を切り払う。

⁶それらはみな、山の猛禽と地の獣のために残される。猛禽は夏の間それらを食べ、地のすべての獣は冬の間それらを食べる。

⁷その時、背が高く、肌の滑らかな民、初めから今に至るまで恐れられている民、測り分けて踏みこむにじる国、川々がその国土を分けている民から、万軍の主への贈り物が、万軍の主の御名のある場所、シオン山へ運ばれる。

19

¹エジプトについての宣告。

「見よ、主は速い雲に乗ってエジプトに来る。エジプトの偶像はその前で震え、エジプト人の心は内で溶ける。

²わたしはエジプト人をエジプト人に対して奮い立たせる。彼らはそれぞれ自分の兄弟と戦い、それぞれ自分の隣人と戦う。町は町と、王国は王国と戦う。

³エジプト人の霊はその内で力を失う。わたしは彼らの計画を打ち砕く。彼らは偶像、呪術師、霊媒、魔術師に尋ねる。

⁴ わたしはエジプト人を残酷な主人の手に渡す。
荒々しい王が彼らを支配する」と主*、万
軍の主は言う。

⁵ 海から水が失われ、川は干上がって乾く。

⁶ 川々は悪臭を放ち、エジプトの水路は水が減っ
て干上がる。葦とい草は枯れる。

⁷ ナイル川のほとり、その岸辺の草地と、ナイ
ル川のそばにまかれたすべての畑は乾き、吹き飛ば
され、消え失せる。

⁸ 漁師たちは嘆き、ナイル川に釣り針を投げ
る者はみな悲しみ、水の上に網を広げる者たち
は力を失う。

⁹ 梳いた亜麻を加工する者と、
白い布を織る者は恥じる。

¹⁰ その柱は打ち砕かれ、賃金のために働く者はみ
な心を痛める。

¹¹ ツォアンの高官たちは全く愚かである。ファラ
オの最も賢い助言者たちの進言も愚かなものとなっ
た。どうしてあなたがたはファラオに、「私は知
恵ある者たちの子、昔の王たちの子です」と言える
のか。

¹² では、あなたの知恵ある者たちはどこにいるの
か。万軍の主がエジプトについて何を計画したのか
を、今、彼らにあなたへ告げさせよ。

¹³ ツォアンの高官たちは愚かになり、メンフィス
の高官たちは欺かれた。エジプトの諸部族の礎であ
る者たちが、エジプトを迷わせた。

¹⁴ 主はそのただ中にねじれた霊を混ぜた。彼ら
は、酔った者が自分の吐いた物の中でよろめくよう
に、エジプトのすべての働きを迷わせた。

* 19:4 19:4 「主」は、神の固有名であるヘブライ語のיהוה（ヤハウェ）を表す。

15 エジプトには、頭にも尾にも、なつめやしの枝にも葦にも、できる仕事は何もなくなる。

16 その日、エジプト人は女たちのようになり、万軍の主が彼らの上に振りかざす手を見て、震え恐れる。

17 ユダの地はエジプトにとって恐怖となる。その名を聞く者はみな、万軍の主がエジプトに対して定められた計画のために恐れる。

18 その日、エジプトの地には、カナンの言語を語り、万軍の主に誓う五つの町がある。その一つは「滅びの町」と呼ばれる。

19 その日、エジプトの地の中央には主のための祭壇があり、その国境には主のための柱がある。

20 それはエジプトの地で万軍の主のためのしるしとなり、あかしとなる。彼らが虐げる者たちに苦しめられて主に叫ぶと、主は彼らに救い主と擁護者を遣わし、彼らを救い出す。

21 主はエジプトにご自分を知らせ、エジプト人はその日に主を知る。彼らはいけにえとささげ物をもって礼拝し、主に誓願を立て、それを果たす。

22 主はエジプトを打つが、また癒やす。彼らは主に立ち返り、主は彼らの願いを聞き入れ、彼らを癒やす。

23 その日、エジプトからアッシリアへ通じる大路ができる。アッシリア人はエジプトへ行き、エジプト人はアッシリアへ行く。エジプト人はアッシリア人とともに礼拝する。

24 その日、イスラエルはエジプト、アッシリアと並ぶ第三の国となり、地のただ中で祝福となる。

25 万軍の主が彼らを祝福して言うからだ。「わたしの民エジプト、わたしの手の業であるアッシリア、わたしの相続財産であるイスラエルは幸いである。」

20

¹ アッシリアの王サルゴンがタルタンを遣わし、彼がアシュドドに来て戦い、これを攻め取った年、

² その時、主はアモツの子イザヤを通してこう語った。「行つて、腰から粗布を解き、足から履物を脱ぎなさい。」彼はそのとおりにし、裸で裸足のまま歩いた。

³ 主は言った。「わたしのしもベイザヤが、エジプトとクシュについてのしるしと不思議として、三年間、裸で裸足のまま歩いたように、

⁴ アッシリアの王は、エジプトの捕虜とクシュの捕らわれ人を、若者も老人も裸で裸足のまま、尻をあらわにして連れ去る。これはエジプトの恥となる。

⁵ 人々は、自分たちが期待していたクシュと、自分たちが誇っていたエジプトのために、うろたえ、恥じる。

⁶ その日、この海沿いの地の住民は言う。

『見よ、アッシリアの王から救い出してもらうために、助けを求めて逃げ込んだわれわれの望みが、このようになった。われわれはどうして逃れられるだろうか。』」

21

¹ 海の荒野についての宣告。

南方のつむじ風が吹き荒れるように、それは荒野から、恐るべき地から来る。

² 厳しい幻が私に告げられた。裏切る者は裏切り、滅ぼす者は滅ぼす。エラムよ、上れ。攻めよ。わたしはメディアのすべての嘆きを終わらせた。

³ それゆえ、私の腰は苦しみに満ちた。産みの苦しみを味わう女のような痛みが私を捕らえた。

痛みのために聞くこともできず、うろたえて見ることもできない。

⁴私の心は震え、恐怖が私を襲った。
私が待ち望んだ夕暮れは、私にとっておののきに変わった。

⁵彼らは食卓を整え、見張りを立て、食べ、飲む。高官たちよ、立ち上がれ。盾に油を塗れ。

⁶主は私にこう言われた。「行って、見張りを立てよ。彼が見たことを報告させよ。

⁷二列に並ぶ騎兵の一隊、ろばの一隊、らくだの一隊を見たなら、細心の注意を払い、よく耳を澄ませよ。」

⁸彼は獅子のように叫んだ。「主よ、私は昼の間、絶えず物見の塔に立ち、夜ごとに自分の持ち場についています。

⁹見よ、今、人々の一隊が、騎兵を二列にしてやって来ます。」彼は答えた。「倒れた。バビロンは倒れた。その神々の彫像はすべて地に打ち砕かれた。」

¹⁰わたしの打ち場で打たれた穀物よ。万軍の主、イスラエルの神から聞いたことを、私はあなたがたに告げた。

¹¹ドマについての宣告。

セイルから私に呼びかける者がいる。「見張りよ、夜はどうなっているのか。見張りよ、夜はどうなっているのか。」

¹²見張りは言った。「朝が来る。だが、夜もまた来る。尋ねたいなら、尋ねよ。また戻って来なさい。」

¹³アラビアについての宣告。

デダン人の隊商よ、あなたがたはアラビアの茂みで夜を過ごす。

¹⁴テマの地の住民は、渴いている者に水を持って来て、逃れて来た者をパンで迎えた。

15 彼らは剣から、抜かれた剣から、引き絞られた弓から、激しい戦いから逃げて来たからだ。

16 主は私にこう言われた。「雇われ人が数えるように、一年以内に、ケダルのすべての栄光は消え失せる。

17 ケダルの子らのうち、弓を引く勇士たちも、残る者はわずかになる。主、イスラエルの神がこれを語られたからだ。」

22

1 幻の谷についての宣告。

今、あなたはどうしたのか。なぜ、みな屋根の上に上ったのか。

2 叫び声に満ちた、騒がしい都、喜びに満ちた町よ。あなたの殺された者たちは剣で殺されたのではなく、戦いで死んだのでもない。

3 あなたの支配者たちはみな一緒に逃げたが、弓を持つ者たちに捕らえられた。あなたのうちで見つかった者たちはみな一緒に縛られた。彼らは遠くへ逃げていた。

4 それゆえ、私は言った。「私から目をそらしてほしい。私は激しく泣く。わが民の娘が滅ぼされたために、私を慰めようと努めないでほしい。

5 幻の谷には、主*、万軍の主から来る混乱と踏み にじりと困惑の日がある。城壁は崩され、叫び声は山々に向かって上がる。」

6 エラムは矢筒を負い、人の乗る戦車と騎兵を従え、キルは盾の覆いを外した。

7 あなたの最も良い谷々は戦車で満ち、騎兵は門に向かって隊列を整えた。

* 22:5 22:5 「主」は、神の固有名であるヘブライ語のיהוה（ヤハウェ）を表す。

8 主はユダの覆いを取り去られた。その日、あなたは森の家にある武器に目を向けた。

9 あなたがたはダビデの町の破れが多いのを見て、下の池の水を集めた。

10 あなたがたはエルサレムの家々を数え、城壁を補強するために家々を取り壊した。

11 また、古い池の水をためるため、二つの城壁の間に貯水池を造った。しかし、これをなさった方に目を向けず、これを遠い昔に計画された方を顧みなかった。

12 その日、主[†]、万軍の主は、泣き、嘆き、頭をそり、粗布をまとうように呼びかけられた。

13 しかし見よ、そこには喜びと楽しみがあり、牛を殺し、羊をほふり、肉を食べ、ぶどう酒を飲んでいる。「食べて飲もう。明日は死ぬのだから。」

14 万軍の主[‡]は私の耳にこう明らかにされた。

「あなたがたが死ぬまで、この咎が赦されることは決してない」と主、万軍の主は言われる。

15 主、万軍の主はこう言われる。「宮廷管理官、すなわち王宮をつかさどるシェブナのところへ行き、こう言いなさい。

16 『あなたはここで何をしているのか。ここにだれがいるというので、自分の墓を掘ったのか。』彼は高い所に自分の墓を掘り、岩に自分の住まいを刻んでいる。

17 見よ、主はあなたを力づくで放り投げる。主はあなたをしつかりとつかむ。

18 主はあなたを固く巻き上げ、まりのように広大な地へ投げ飛ばす。あなたはそこで死に、あなた

† 22:12 22:12 「主」は、神の固有名であるヘブライ語の יְהוָה (ヤハウェ) を表す。

‡ 22:14 22:14 「主」は、神の固有名であるヘブライ語の יְהוָה (ヤハウェ) を表す。

の誇りである戦車もそこに残る。あなたは主人の家の恥だ。

19 わたしはあなたをその職から追い出す。あなたはその地位から引き降ろされる。

20 その日、わたしはヒルキヤの子である、わたしのしもべエルヤキムを呼ぶ。

21 わたしは彼にあなたの長衣を着せ、あなたの帯を締めさせ、あなたの権限を彼の手委ねる。彼はエルサレムの住民とユダの家の父となる。

22 わたしはダビデの家の鍵を彼の肩に置く。彼が開けば、閉じる者はなく、彼が閉じれば、開く者はない。

23 わたしは彼を確かな場所に打ち込まれた釘のようにする。彼は父の家にとって栄光の王座となる。

24 彼の上には父の家のすべての栄光、子孫とその末、すべての小さな器、杯からすべての壺に至るまでが掛けられる。」

25 万軍の主は言われる。「その日、確かな場所に打ち込まれた釘は抜け落ちる。それは切り落とされて倒れ、その上に掛かっていたすべてのものも断ち切られる。主がこれを語られたからだ。」

23

1 ツロについての宣告。

タルシシュの船々よ、泣き叫べ。ツロは荒れ果て、家もなく、入る所もない。その知らせがキティムの地から彼らに告げられた。

2 海岸の住民よ、静まれ。海を渡るシドンの商人たちが、あなたを豊かにしてきた。

3 大海を渡って来るシホルの穀物、ナイル川の収穫が彼女の収入となった。彼女は諸国の市場だった。

4 シドンよ、恥じよ。海が、海の要塞がこう語ったからだ。「私は産みの苦しみを味わったことも、子を産んだこともない。若者たちを養わず、娘たちを育てたこともない。」

5 ツロについての知らせがエジプトに届く時、人々はその知らせを聞いて苦しむ。

6 タルシシュへ渡れ。海岸の住民よ、泣き叫べ。

7 これが、昔から続いてきた、あなたがたの喜びに満ちた町なのか。その足は彼女を遠い地へ運び、そこに住ませた。

8 王冠を授けてきた町ツロに対して、だれがこれを計画したのか。その商人たちは高官であり、その貿易商たちは地の尊敬される者たちだった。

9 万軍の主がこれを計画された。すべての栄華の誇りを汚し、地の尊敬される者たちをみな卑しめるためである。

10 タルシシュの娘よ、ナイル川のように自分の地を流れよ。もはやあなたを束縛するものはない。

11 主は海の上に御手を伸ばし、王国を揺り動かされた。主はカナンのを要塞を滅ぼすよう命じられた。

12 主は言われた。「虐げられたシドンの処女の娘よ、あなたはもはや喜ぶことがない。立ってキティムへ渡れ。そこでも安らぎを得ることはない。」

13 見よ、カルデア人の地を。この民は、もとは存在していなかった。アッシリア人が荒野に住む者たちのためにこれを建て、塔を立て、宮殿を覆し、廃墟とした。

14 タルシシュの船々よ、泣き叫べ。あなたがたの要塞は荒れ果てた。

15 その日、ツロは一人の王の寿命に等しい七十年間、忘れられる。七十年の終わりに、ツロは遊女の歌のようになる。

16 「忘れられた遊女よ、豎琴を取り、町を巡れ。美しい調べを奏で、多くの歌を歌え。人々があなたを思い出すように。」

17 七十年の終わりに、主はツロを顧みられる。彼女は再び遊女の報酬を得るようになり、地の面にある世界のすべての王国と姦淫を行う。

18 彼女の商品と報酬は主のために聖別される。それらは蓄えられることも、しまい込まれることもない。その商品は、主の前に住む者たちが十分に食べ、丈夫な衣服を得るためのものとなる。

24

1 見よ、主は地を空にして荒れ果てさせ、その面を覆し、住民を散らされる。

2 民も祭司も同じようになり、しもべも主人も、女奴隷も女主人も、買う者も売る者も、貸す者も借りる者も、利息を取る者も利息を払う者も同じようになる。

3 地は完全に空にされ、徹底的に荒れ果てる。主がこの言葉を語られたからだ。

4 地は悲しみ、衰える。世界は弱り、衰える。地の高ぶる者たちも弱り果てる。

5 地はその住民の下で汚された。彼らが律法に背き、定めを破り、永遠の契約を破ったからだ。

6 それゆえ、呪いが地を食い尽くし、そこに住む者たちは罪に定められる。それゆえ、地の住民は焼かれ、残る人はわずかになる。

7 新しいぶどう酒は悲しみ、ぶどうの木は衰える。心の喜びに満ちていた者たちはみな嘆く。

8 タンバリンの楽しみはやみ、喜ぶ者たちの騒ぎは終わり、豎琴の喜びの音もやむ。

9 人々は歌いながらぶどう酒を飲むことはない。
濃い酒は、それを飲む者にとって苦くなる。

10 混乱の町は崩され、どの家も閉ざされて、だれも入れない。

11 ぶどう酒がないため、通りには叫び声がある。すべての喜びは暗くなり、地の楽しみは消え去った。

12 町には荒廃だけが残り、門は打ち砕かれている。

13 地の中、諸国の民の間では、オリーブの木を揺すった後のように、ぶどうの収穫後に落ち穂を拾うようになる。

14 残った者たちは声を上げる。主の威厳のために喜び叫び、海のかなたから声高らかに叫ぶ。

15 それゆえ、東で主をあがめよ。海の島々で、主、イスラエルの神の御名をあがめよ。

16 地の果てから、われわれは歌を聞いた。「義人に栄光あれ。」

しかし、私は言った。「私はやせ衰える。私はやせ衰える。ああ、災いだ。」裏切る者たちは裏切った。まことに、裏切る者たちは大いに裏切った。

17 地に住む者よ、恐怖と穴と罾があなたに臨む。

18 恐怖の音から逃げる者は穴に落ち、穴の中からはい上がる者は罾に捕らえられる。上の窓が開かれ、地の基が震えるからだ。

19 地は完全に砕かれ、地は引き裂かれ、地は激しく揺り動かされる。

20 地は酔った者のようによろめき、ハンモックのように揺れ動く。その背きは地の上に重くのしかかる。地は倒れ、二度と起き上がることはない。

21 その日、主は高い所にいる軍勢を高い所で、地の王たちを地の上で罰される。

22 彼らは捕虜が穴に集められるように集められ、牢獄に閉じ込められる。多くの日の後、彼らは顧みられる。

23 月はうろたえ、太陽は恥じる。万軍の主がシオン山とエルサレムで王となられ、その長老たちの前に栄光を現されるからだ。

25

1 主よ、あなたは私の神。私はあなたをあがめ、御名をほめたたえる。あなたは不思議なことを行われた。遠い昔に定めた計画を、揺るぎない真実をもって成し遂げられた。

2 あなたは町を瓦礫の山とし、城壁のある町を廃墟とされた。よそ者たちの宮殿は町でなくなり、二度と建て直されない。

3 それゆえ、強い民はあなたに栄光を帰し、恐るべき諸国の町はあなたを恐れる。

4 あなたは貧しい者のとりで、困窮する者が苦しむ時のとりで、嵐からの逃れ場、暑さを避ける陰となられた。恐るべき者たちの猛威は、城壁を打つ嵐のようだった。

5 乾いた地の暑さを静めるように、あなたはよそ者たちの騒ぎを静められた。雲の陰が暑さを静めるように、恐るべき者たちの歌声を鎮められた。

6 万軍の主は、この山ですべての民のために、選りすぐった肉*の宴、上等なぶどう酒の宴を催される。髓に満ちた選りすぐった肉と、よくこされた上等なぶどう酒の宴である。

7 主はこの山で、すべての民を覆う覆いと、すべての国々の上に広げられた幕を取り除かれる。

* 25:6 25:6 直訳では「脂肪の多いもの」。

⁸ 主は死を永遠にのみ込まれる。主なる神は、すべての顔から涙をぬぐい、ご自分の民の受けた辱めを全地から取り除かれる。主がこれを語られた。

⁹ その日、人々は言う。「見よ、この方こそわれわれの神。われわれはこの方を待ち望んだ。この方はわれわれを救ってくださる。この方こそ主。われわれはこの方を待ち望んだ。その救いを喜び、楽しもう。」

¹⁰ 主の御手がこの山の上にとどまる。

モアブはその場所で、肥だめの水の中でわらが踏みつけられるように踏みつけられる。

¹¹ 泳ぐ者が泳ぐために両手を広げるように、モアブは其中で両手を広げる。しかし、主はその高ぶりを、その手の策略とともに低くされる。

¹² 主はあなたの城壁の高い要塞を引き倒し、低くし、地に、ちりにまで打ち倒す。

26

¹ その日、ユダの地でこの歌が歌われる。

「われわれには強い町がある。

神は救いを城壁と塁として置かれる。

² 門を開けよ。

信仰を守る義の国民を入らせよ。

³ あなたは、心の堅く定まった者を、

完全な平安のうちに守られる。

彼があなたに信頼しているゆえに。

⁴ 永遠に主に信頼せよ。

主*、主†こそ永遠の岩。

⁵ 主は高い所に住む者たちを引き降ろす。

高くそびえる町を低くし、

それを地に伏させ、

* 26:4 26:4 ヘブライ語では יָהּ (ヤハ) である。 † 26:4 26:4

「主」は、神の固有名であるヘブライ語の יְהוָה (ヤハウェ) を表す。

- 地にまで低くし、
ちりにまで引き下ろす。
- 6 足がそれを踏みつける。
貧しい者たちの足が、
困窮する者たちの歩みが。」
- 7 義人の道はまっすぐ。
まっすぐな方よ、あなたは義人の道を平らにされる。
- 8 まことに主よ、あなたの裁きの道で、
われわれはあなたを待ち望む。
あなたの御名と名声は、われわれの心の願い。
- 9 夜、私はあなたを慕う。
私の内なる霊も、あなたを切に求める。
あなたの裁きが地に行われる時、
世界の住民は義を学ぶ。
- 10 悪人に恵みが示されても、
彼は義を学ばない。
正義の地でも不正を行い、
主の威厳を見ようとしなない。
- 11 主よ、あなたの御手は上げられているが、
彼らは見ない。
しかし彼らは、御民に対するあなたの熱意を見て恥を受ける。
火があなたの敵対者たちを焼き尽くす。
- 12 主よ、あなたはわれわれのために平安を定められる。
われわれのすべての働きも、
あなたがわれわれのために成し遂げられた。
- 13 われわれの神、主よ、
あなた以外の主人たちがわれわれを支配してきた。

しかし、われわれはあなたの御名だけを告白する。

- 14 死者は生きることがなく、
死者の霊は起き上がらない。

それゆえ、あなたは彼らを罰して滅ぼし、
彼らについての記憶をすべて消し去られた。

- 15 主よ、あなたは民を増し加えられた。
民を増し加えられた。

あなたは栄光を受けられた。
国のすべての境を広げられた。

- 16 主よ、彼らは苦しみの中であなたを求めた。
あなたの懲らしめが彼らに臨んだ時、
彼らは祈りを注ぎ出した。

- 17 身ごもった女が出産の時に近づき、
苦しみ、産みの痛みの中で叫ぶように、
主よ、われわれもあなたの前でそのようだった。

- 18 われわれは身ごもり、
苦しんだ。

しかし、生んだのは風にすぎなかった。
われわれは地に救いをもたせず、
世界の住民を倒すこともできなかった。

- 19 あなたの死者は生きる。
彼らの死体は起き上がる。

ちりの中に住む者たちよ、目を覚まして喜び歌え。
あなたの露は草木の露のようであり、
地は死者を送り出す。

- 20 わたしの民よ、来なさい。
自分の部屋に入り、
後ろの扉を閉めなさい。
憤りが過ぎ去るまで、

ほんのしばらく身を隠しなさい。

21 見よ、主は地の住民の咎を罰するために、
ご自分の場所から出て来られる。

地はその上に流された血を明らかにし、
殺された者たちをもはや覆い隠さない。

27

1 その日、主はその堅く、大きく、強い剣をもつて、逃げる蛇レビヤタンと、曲がりくねる蛇レビヤタンを罰し、海にいる竜を殺される。

2 その日、彼女に向かって歌え。「麗しいぶどう畑よ。

3 わたし、主がその番をする。絶えず水を注ぐ。だれにも害されないように、夜も昼も守る。

4 わたしのうちに怒りはない。しかし、いばらと茨が立ちはだかるなら、わたしは戦いを挑み、それに向かって進み、すべてを焼き尽くす。

5 あるいは、わたしの力にすぎり、わたしと平和を結べ。わたしと平和を結べ。」

6 来たるべき日々に、ヤコブは根を張り、イスラエルは花を咲かせ、芽を出し、世界の表面を実で満たす。

7 主は、彼らを打った者たちを打ったように、彼らを打つただろうか。彼らを殺した者たちが殺されたように、彼らも殺されただろうか。

8 あなたは彼らを追い払う時、ほどよく彼らと争われた。東風の日、激しい風をもって彼らを追い払われた。

9 それゆえ、これによってヤコブの咎は赦される。その罪が取り除かれる実は、すべてここにある。すなわち、祭壇の石をすべて、打ち砕かれた白

墨の石のようにし、アシェラ像も香の祭壇も二度と立たないようにすることである。

¹⁰ 城壁のある町は孤立し、人の住む所は見捨てられ、荒野のように捨てられる。子牛がそこで草を食べ、そこに伏し、その枝を食い尽くす。

¹¹ その枝が枯れると、折り取られる。女たちが来て、それに火をつける。この民には悟りがないからだ。それゆえ、彼らを造られた方は彼らをあわれまず、彼らを形造られた方は彼らに恵みを示されない。

¹² その日、主はユーフラテス川の流れからエジプト川まで実を打ち落とされる。イスラエルの子らよ、あなたがたは一人ずつ集められる。

¹³ その日、大きな角笛が吹き鳴らされる。アッシリアの地で滅びようとしていた者たちと、エジプトの地に追放されていた者たちが来て、エルサレムの聖なる山で主を礼拝する。

28

¹ ぶどう酒に酔いつぶれたエフライムの者たちの高ぶりの冠と、その栄光ある美しさのしおれゆく花に災いがある。それは、ぶどう酒に打ち負かされた者たちの肥沃な谷の頂にある。

² 見よ、主には力に満ちた強い者がおられる。雹の嵐、破壊する暴風、あふれる大水の激しい嵐のように、主は御手で彼らを地に投げ倒される。

³ ぶどう酒に酔いつぶれたエフライムの者たちの高ぶりの冠は、足で踏みつけられる。

⁴ 肥沃な谷の頂にある、その栄光ある美しさのしおれゆく花は、夏前に熟す初物のいちじくのようになる。見つけた者は、それを見るときすぐに摘み取って食べる。

5 その日、万軍の主は、ご自分の民の残りの者にとって、栄光の冠、美しい冠となられる。

6 また、裁きの座に着く者には公正の霊となり、門で戦いを押し返す者たちには力となられる。

7 しかし、この者たちもぶどう酒によろめき、濃い酒にふらつく。祭司と預言者も濃い酒によろめく。彼らはぶどう酒にのみ込まれ、濃い酒にふらつく。幻を見ても誤り、裁きを行ってもつまずく。

8 すべての食卓は汚らしい吐いたものと汚物でいっぱい、きれいな場所はない。

9 彼はだれに知識を教えるのか。だれにその教えを説明するのか。乳離れした者たち、乳房から離された者たちにか。

10 命令に命令、命令に命令。線に線、線に線。ここに少し、そこに少し。

11 しかし主は、どもる唇と異国の言葉をもって、この民に語られる。

12 主は彼らに、「ここが休み場である。疲れた者を休ませよ」「ここが憩いの場所である」と言われた。それでも彼らは聞こうとしなかった。

13 それゆえ、主の言葉は彼らにとって、「命令に命令、命令に命令。線に線、線に線。ここに少し、そこに少し」となる。そのため、彼らは進んでは後ろに倒れ、砕かれ、罨にかかり、捕らえられる。

14 それゆえ、エルサレムでこの民を治める、あざける者たちよ、主の言葉を聞け。

15 あなたがたはこう言った。「われわれは死と契約を結び、よみ*と協定を結んだ。押し寄せむちが通り過ぎても、われわれのところには来ない。わ

* 28:15 28:15 よみ（シェオル）は死者の場所である。

れわれは偽りを逃れ場とし、虚偽の下に身を隠したからだ。」

16 それゆえ、主なる神はこう言われる。

「見よ、わたしはシオンに一つの石を土台として据える。試された石、確かな土台となる尊い隅の礎石である。信じる者は慌てることがない。」

17 わたしは公正を測り縄とし、義を下げ振りとする。雹は偽りの逃れ場を一掃し、水は隠れ場にあふれる。

18 あなたがたの死との契約は無効となり、よみ[†]との協定は成立しない。押し寄せるむちが通り過ぎる時、あなたがたはそれに踏みにじられる。

19 それが通るたびに、あなたがたを捕らえる。それは朝ごとに、昼も夜も通り過ぎる。その知らせを聞き取るだけでも、恐怖となる。」

20 体を伸ばして寝るには寝床が短すぎ、身を包むには上掛けが狭すぎる。

21 主はペラツィム山で立ち上がった時のように立ち上がり、ギブオンの谷で怒った時のように怒られる。それはご自分の業、異例の業を行い、ご自分の働き、並外れた働きを成し遂げるためである。

22 それゆえ今、あざけってはならない。そうしなければ、あなたがたの束縛はさらに強くなる。私は主[‡]、万軍の主から、全地に対して滅びが定められたことを聞いたからだ。

23 耳を傾けて、私の声を聞け。注意を払い、私の言葉を聞け。

[†] 28:18 28:18 よみ（シェオル）は死者の場所である。 [‡] 28:22

28:22 「主」は、神の固有名であるヘブライ語のיהוה（ヤハウェ）を表す。

24 種をまくために耕す者は、絶えず耕し続けるだろうか。いつまでも土を掘り返し、土くれを砕き続けるだろうか。

25 地面を平らにしたなら、ディルをまき、クミンの種を散らし、小麦を畝に植え、大麦を定められた場所に、スペルト小麦をその場所に植えるではないか。

26 その人の神が正しい仕方を教え、彼を導かれるからだ。

27 ディルは鋭い脱穀器で脱穀せず、クミンの上で荷車の車輪を転がすこともしない。ディルは棒で打ち、クミンは杖で打つ。

28 パン用の穀物は砕かなければならない。しかし、いつまでも脱穀し続けることはない。脱穀用の荷車の車輪をその上に走らせても、馬にそれを砕かせることはない。

29 これも万軍の主から出る。その助言は不思議で、その知恵は優れている。

29

1 アリエルに災いがある。ダビデが陣を敷いた町、アリエルに。年に年を重ね、祭りを巡らせよ。

2 その時、わたしはアリエルを苦しめる。そこには悲しみと嘆きがあり、彼女はわたしにとって祭壇の炉となる。^{*}

3 わたしはあなたを取り囲んで陣を敷き、見張りの部隊であなたを包囲し、あなたに向かって攻城の土塁を築く。

4 あなたは低くされ、地の中から語る。あなたの言葉はちりの中からつぶやく。あなた

^{*} 29:2 29:2 または「アリエル」。

の**声**は**地の中**から聞こえる**霊媒の声**のようになる、あなたの**言葉**は**ちりの中**からささやく。

⁵しかし、あなたの**敵の大群**は細かな**ちり**のように、**横暴な者たちの大群**は吹き飛ぶも**み殻**のようになる。それは一瞬のうちに、突然起こる。

⁶**万軍の主**は、**雷、地震、大きな物音、つむじ風、嵐、焼き尽くす火の炎**をもって彼女に臨まれる。

⁷**アリエル**と戦うすべての**国々の大群、彼女とその要塞**を攻め、彼女を苦しめるすべての**者は、夢のように、夜の幻**のようになる。

⁸**飢えた人**が夢を見て、見よ、食べているのに、目を覚ますと**空腹**が満たされていないように、**渴いた人**が夢を見て、見よ、飲んでいのに、目を覚ますと、**見よ、力がなく、なお渴いているように、シオン山と戦うすべての国々の大群**もそのようになる。

⁹**立ち止まって驚け。自分の目をくらませ、見えなくなれ。彼らは酔っているが、ぶどう酒によるのではない。よろめいているが、濃い酒によるのではない。**

¹⁰**主**があなたがたの上に深い**眠りの霊**を注ぎ、あなたがたの**目、すなわち預言者たちを閉ざし、あなたがたの頭、すなわち先見者たちを覆われたから**だ。

¹¹すべての**幻**は、あなたがたにとって、**封印された書物の言葉**のようになった。**人々がそれを文字の読める者に渡して、「どうか、これを読んでください」と言うと、その人は「封印されているので、読むことができません」と答える。**

¹²また、その**書物を文字の読めない者に渡して、「どうか、これを読んでください」と言うと、その人は「文字を読むことができません」と答える。**

13 主は言われた。「この民は口ではわたしに近づき、唇ではわたしを敬うが、その心をわたしから遠ざけている。彼らがわたしを恐れることは、人から教えられた戒めにすぎない。

14 それゆえ、見よ、わたしは再びこの民の間で驚くべき業を行う。まことに、不思議な業を行う。彼らの知恵ある者たちの知恵は滅び、悟りある者たちの悟りは隠される。」

15 自分たちの計画を主から深く隠し、その行いを闇の中で行い、「だれがわれわれを見ているのか」「だれがわれわれを知っているのか」と言う者たちに災いがある。

16 あなたがたは物事を逆さまにしている。陶器師が粘土と同じものとみなされてよいのか。造られた物が、それを造った者について「彼は私を造らなかった」と言い、形造られた物が、それを形造った者について「彼には悟りがない」と言ってよいのか。

17 ほんのしばらくすれば、レバノンの実り豊かな畑に変わり、実り豊かな畑は森とみなされるではないか。

18 その日、耳の聞こえない者たちは書物の言葉を聞き、目の見えない者たちの目は、暗がりとなを抜けて見るようになる。

19 へりくだった者たちは主にあって喜びを増し、人々の中の貧しい者たちはイスラエルの聖なる方を喜ぶ。

20 横暴な者はいなくなり、あざける者は絶え、悪を行う機会をうかがう者たちはみな断ち滅ぼされるからだ。

21 彼らは言葉によって人を罪に定め、門で人を戒める者に罫を仕掛け、偽りの証言によって罪のない者から公正を奪う。

22 それゆえ、アブラハムを贖われた主は、ヤコブの家についてこう言われる。「ヤコブはもはや恥を受けず、その顔が青ざめることもない。

23 彼が、自分のただ中にいる子どもたち、すなわちわたしの手の業を見る時、彼らはわたしの名を聖なるものとする。まことに、ヤコブの聖なる方を聖なるものとし、イスラエルの神を恐れる。

24 霊に迷う者たちも悟りを得、不平を言う者たちも教えを受ける。」

30

1 主は言われる。「背く子どもたちに災いがある。彼らは計画を立てるが、わたしから出たものではない。同盟を結ぶが、わたしの霊によるものではない。こうして罪に罪を重ねている。

2 彼らはわたしの助言を求めず、エジプトへ下って行こうとする。ファラオの力によって自分たちを強くし、エジプトの陰に逃れようとしている。

3 それゆえ、ファラオの力はあなたがたの恥となり、エジプトの陰に逃れることはあなたがたの辱めとなる。

4 彼らの高官たちはツォアンにおり、その使者たちはハネスに着いた。

5 彼らはみな、自分たちの役に立たない民のために恥を受ける。その民は助けにも利益にもならず、ただ恥とそしりをもたらす。」

6 南の獣についての宣告。

苦しみと悩みの地、雌獅子と獅子、まむしと火のように飛ぶ蛇のいる地を通り、彼らは若いろばの肩に富を、らくだのこぶに宝を載せ、役に立たない民のもとへ運んで行く。

7 エジプトの助けはむなく、何の役にも立たない。それゆえ、わたしは彼女を「何もせず座っているラハブ」と呼んだ。

8 今、行って、彼らの前でこれを板に書き、書物に記せ。それが後の時代のために、永遠に残るように。

9 彼らは背く民、偽りを言う子どもたち、主の律法を聞こうとしない子どもたちだからだ。

10 彼らは先見者たちに「見るな」と言い、預言者たちに言う。「われわれに正しいことを預言するな。耳に心地よいことを語り、偽りを預言せよ。

11 道から離れ、道筋から外れよ。イスラエルの聖なる方を、われわれの前から消し去れ。」

12 それゆえ、イスラエルの聖なる方はこう言われる。「あなたがたはこの言葉を侮り、虐げと不正に信頼し、それに頼っている。

13 それゆえ、この咎はあなたがたにとって、高い城壁に膨らみ出た、今にも崩れそうな裂け目のようになる。その崩壊は一瞬のうちに、突然起こる。

14 主はそれを、陶器師の器が碎かれるように碎き、容赦なく粉々にされる。その破片の中には、炉から火を取るにも、貯水槽から水をくむにも使えるかけらさえ見つからない。」

15 主なる神、イスラエルの聖なる方はこう言われた。「立ち返って安らぐことによって、あなたがたは救われる。静かにして信頼することに、あなたがたの力がある。」しかし、あなたがたは拒んだ。

16 あなたがたは言った。「いや、われわれは馬に乗って逃げよう。」それゆえ、あなたがたは逃げることになる。「速い馬に乗ろう。」それゆえ、あなたがたを追う者たちも速くなる。

17 一人の脅しによって千人が逃げ、五人の脅しに

よってあなたがたは逃げる。ついには、
山の頂の旗ざおのように、丘の上の旗のよう
に取り残される。

18 それゆえ、主はあなたがたに恵みを示そう
と待っておられる。それゆえ、あなたがたをあわれ
むために高く立ち上がられる。主は公正の神だから
だ。主を待ち望む者はみな幸いである。

19 エルサレムのシオンに住む民よ、あなたはも
う泣くことがない。あなたの叫ぶ声を聞くと、
主は必ずあなたに恵みを示される。主はそれを聞くと、
あなたに答えられる。

20 主があなたがたに苦難のパンと苦しみ
の水を与えられても、あなたの教師たちはもはや
隠されず、あなたの目はあなたの教師たち
を見る。

21 あなたが右に曲がる時も、左に曲がる時も、あ
なたの耳は後ろから「これが道だ。こ
の道を歩め」と言う声を聞く。

22 あなたがたは銀の彫像を覆うものと、金の鑄
像を覆うものを汚れたものとする。それらを不浄な
もののように投げ捨て、「出て行け」と言う。

23 主は、あなたが地にまく種のために雨を与えら
れる。地の産物で作るパンは豊かで、十分にあ
る。その日、あなたの家畜は広い牧場で草を食べ
る。

24 地を耕す牛と若いらばも、シャベルと熊手でふ
るい分けられた味の良い飼料を食べる。

25 大いなる虐殺の日、塔が倒れる時、すべて
の高い山と、すべての高く上げられた丘に、
水の流れる小川ができる。

26 主がご自分の民の裂け傷を包み、打たれ
た傷を癒やされる日、月の光は太陽の光のようにな
り、太陽の光は七倍、七日分の光のようになる。

27 見よ、主の御名が遠くから来る。怒りに燃え、濃い煙を上げて来る。その唇は憤りに満ち、その舌は焼き尽くす火のようだ。

28 その息は、首にまで達するあふれる流れのようであり、諸国の民を滅びのふるいにかける。人々のあごには、彼らを破滅へ導くくつわがある。

29 あなたがたは、聖なる祭りを守る夜のよう
に歌い、笛に合わせて主の山、イスラエルの岩のもとへ上る時のように、心から喜ぶ。

30 主は威厳ある御声を聞かせ、激しい怒りと焼き尽くす火の炎、豪雨、暴風、雹の石をもつて、その御腕を振り下ろすさまを示される。

31 主の御声によってアッシリアはおびえる。
主は杖でアッシリアを打たれる。

32 主が彼の上に下される懲らしめの杖の一打ちごとに、タンバリンと豎琴が鳴る。主は武器を振るいながら彼らと戦われる。

33 焼き場は昔から備えられている。王のためにも用意されている。主はその薪の山を深く広くし、火と多くの薪を備えられた。硫黄の流れのような主の息が、それに火をつける。

31

1 助けを求めてエジプトへ下り、
馬に頼り、
戦車が多いからと信頼し、
騎兵が非常に強いからと頼る者たちに災いがある。
彼らはイスラエルの聖なる方に目を向けず、
主を求めない。

2 しかし、主もまた知恵ある方であり、災いをもたらされる。

ご自分の言葉を取り消さず、悪を行う者たち
の家に向かって立ち上がり、
不義を行う者たちの助け手に向かって立たれる。

- 3 エジプト人は人であって、神ではない。
その馬は肉であって、霊ではない。
主が御手を伸ばされると、助ける者もつまずき、
助けられる者も倒れ、
彼らはみな、ともに滅びる。

- 4 主は私にこう言われる。
「獅子や若い獅子が獲物の上でうなり、
大勢の羊飼いが呼び集められて向かって来ても、
その声におびえず、
その騒ぎにひるまないように、
万軍の主はシオン山とその高台で戦うために下って来られる。

- 5 鳥が上を舞うように、万軍の主はエルサレム
を守られる。
守って救い出し、
過ぎ越して守られる。」

- 6 イスラエルの子らよ、あなたがたが深く背いた方に立ち返れ。

- 7 その日、人はみな、自分の手で造り、罪となった銀の偶像と金の偶像を投げ捨てる。

- 8 「アッシリア人は人の剣ではない剣に倒れ、
人間のものではない剣が彼を食い尽くす。
彼は剣から逃げ、
その若者たちは強制労働に服する。

- 9 彼の岩は恐怖のために消え去り、
その高官たちは旗を見ておびえる」と、
シオンに火があり、

エルサレムに炉がある主は言われる。

32

- 1 見よ、一人の王が義をもって治め、
高官たちは公正をもって支配する。
- 2 一人の人は風を避ける隠れ場、
嵐を避ける避難所のようになり、
乾いた地に流れる水のように、
疲れ果てた地にある大きな岩の陰のようにな
る。
- 3 見る者たちの目はかすまず、
聞く者たちの耳は注意深く聞く。
- 4 軽率な者の心は知識を悟り、
どもる者の舌は、はっきり語ることができるよ
うになる。
- 5 愚か者が高貴な者と呼ばれることはなくなり、
悪党が尊敬されることもない。
- 6 愚か者は愚かなことを語り、
その心は咎を行う。
神を汚す行いをし、
主について誤ったことを語り、
飢えた者を空腹のままにし、
渴いた者から飲み物を奪う。
- 7 悪党のやり方は悪い。
彼は偽りの言葉でへりくだった者を滅ぼそう
と、
困窮する者が正しいことを語っても、悪い計
画を立てる。
- 8 しかし、高貴な者は高貴なことを計画し、
高貴なことを行い続ける。
- 9 安らかに暮らす女たちよ、立ち上がれ。
私の声を聞け。

- 油断している娘たちよ、私の言葉に耳を傾けよ。
- 10 一年余りすれば、油断している女たちよ、あなたがたはうろたえる。
ぶどうの収穫はなくなり、
果実の収穫も来ないからだ。
- 11 安らかに暮らす女たちよ、震えよ。
油断している者たちよ、うろたえよ。
衣を脱ぎ、裸になり、
腰に粗布をまとえ。
- 12 美しい畑と、
実り豊かなぶどうの木のために胸を打て。
- 13 わたしの民の土地には、いばらと茨が生える。
まことに、喜びの都にある、喜びに満ちたすべての家にも生える。
- 14 宮殿は見捨てられ、
人でにぎわう町は捨てられる。
丘と見張り塔は永遠に獣の巣となり、
野ろばの喜ぶ場所、
羊の群れの牧場となる。
- 15 しかし、ついには高い所からわれわれ
の上に霊が注がれ、
荒野は実り豊かな畑となり、
実り豊かな畑は森とみなされる。
- 16 その時、公正は荒野に住み、
義は実り豊かな畑にとどまる。
- 17 義の働きは平和となり、
義のもたらすものは、永遠の静けさと信頼となる。
- 18 わたしの民は平和な住まいに、
安全な住居に、
静かな憩いの場所に住む。
- 19 たとえ雹が森をなぎ倒し、

- 町が完全に低くされても。
20 すべての水のほとりに種をまき、
牛とろばを自由に放つあなたがたは幸いである。

33

- 1 自分は滅ぼされなかったのに、滅ぼす者よ、
だれにも裏切られなかったのに、裏
切る者よ、あなたに災いがある。
あなたが滅ぼすことを終えた時、あなたは滅ぼさ
れ、
裏切れることを終えた時、あなたは裏切られる。
- 2 主よ、われわれに恵みを示してください。われわ
れはあなたを待ち望む。
朝ごとにわれわれの力となり、
苦難の時には、われわれの救いとなつてくださ
い。
- 3 とどろく音を聞いて、諸国の民は逃げ、
あなたが立ち上がられると、国々は散らされ
る。
- 4 あなたがたから奪われた物は、毛虫が集めるよう
に集められ、
いなごが飛びつくように、人々はそれに飛びつ
く。
- 5 主は高くあがめられる。高い所に住み、
シオンを公正と義で満たされる。
- 6 あなたの時代には安定があり、救いと知恵と知
識が豊かにある。
主を恐れることが、あなたの宝である。
- 7 見よ、彼らの勇士たちは外で叫び、
平和の使者たちは激しく泣いている。
- 8 大路は荒れ果て、

旅人は絶えた。
契約は破られ、
町々は侮られ、
人は顧みられない。

9 地は嘆き、衰える。

レバノンに恥じて、しおれる。
シャロンは荒野のようになり、
バシアンとカルメルは葉を落とす。

10 主は言われる。「今、わたしは立ち上がる。

今、わたしは自らを高く上げる。

今、わたしは高くされる。

11 あなたがたはもみ殻を身ごもり、

刈り株を産む。

あなたがたの息は、あなたがたを焼き尽くす火となる。

12 諸国の民は石灰が焼かれるようになり、

刈り取られた茨が火で焼かれるようになる。

13 遠くにいる者たちよ、わたしが行ったこと

を聞け。

近くにいた者たちよ、わたしの力を認めよ。」

14 シオンの罪人たちは恐れ、

神を恐れない者たちは震えに捕らえられた。

われわれのうち、だれが焼き尽くす火とともに住めるのか。

われわれのうち、だれが永遠に燃える炎とともに住めるのか。

15 義を行って歩み、

誠実なことを語る者、

虐げによって得る利益を退け、

手を振って賄賂を受け取らず、

流血の企てを聞かないように耳をふさぎ、

悪を見ないように目を閉じる者。

- 16 その人は高い所に住む。
岩の要塞が、その守りの場所となる。
そのパンは与えられ、
その水は絶えることがない。
- 17 あなたの目は麗しい王を見、
遠く広がる地を見る。
- 18 あなたの心は、かつての恐怖を思い巡らす。
数えた者はどこにいるのか。
貢ぎを量った者はどこにいるのか。
塔を数えた者はどこにいるのか。
- 19 あなたはもはや荒々しい民を見ない。
その言葉は難しく、聞き取ることができず、
その聞き慣れない言葉は理解できない。
- 20 われわれの定められた祭りの町、シオンを見よ。
あなたの目は、静かな住まいであるエルサレム
を見る。
それは移されることのない天幕である。
その杭は決して抜かれず、
その綱は一本も切られない。
- 21 そこでは、主が威厳をもってわれわれとともに
られる。
そこは広い川と流れのある場所となる。
そこを、櫂でこぐ船が行くことはなく、
威容を誇る船が通ることもない。
- 22 主はわれわれの裁判官。
主はわれわれに律法を与える方。
主はわれわれの王。
主がわれわれを救う。
- 23 あなたの船の綱は緩み、
帆柱の根元をしっかりと支えることも、
帆を張ることもできない。
その時、多くの分捕り物が分けられ、

足の不自由な者さえ獲物を奪う。

- 24 そこに住む者は、「私は病んでいる」と言わない。
そこに住む民の咎は赦される。

34

- 1 国々よ、近づいて聞け。
諸国の民よ、耳を傾けよ。
地とそこに満ちるすべてのもの、
世界とそこから生じるすべてのものは聞け。
- 2 主はすべての国々に激しく怒り、
そのすべての軍勢に憤っておられる。
主は彼らを完全に滅ぼし、
ほふられるままにされた。
- 3 彼らの殺された者たちは投げ捨てられ、
その死体から悪臭が立ち上る。
山々は彼らの血で溶ける。
- 4 天のすべての軍勢は消え去り、
天は巻物のように巻かれる。
そのすべての軍勢は、
ぶどうの木やいちじくの木から葉がしおれ落ち
るように、しおれ落ちる。
- 5 わたしの剣は天で十分に血を飲んだ。
見よ、それは裁きのために、
エドムと、わたしが呪った民の上を下る。
- 6 主の剣は血で満ち、
脂肪に覆われている。
子羊と雄やぎの血、
雄羊の腎臓の脂肪で覆われている。
主がボツラでいけにえをささげ、
エドムの地で大いなる虐殺を行われるからだ。
- 7 野牛も彼らとともに倒れ、
若い雄牛も力強い雄牛とともに倒れる。

その地は血に酔い、
そのちりは脂肪でぬれる。

- 8 主には復讐の日、
シオンの訴えに報いる年があるからだ。
- 9 エドムの川々は瀝青に変わり、
そのちりは硫黄に変わり、
その地は燃える瀝青となる。
- 10 それは夜も昼も消されず、
その煙は永遠に立ち上る。
代々にわたって荒れ果て、
いつまでも、そこを通る者はいない。
- 11 ペリカンとやまあらしがそこを所有し、
ふくろうとからすがそこに住む。
主はその上に混沌の測り縄を伸ばし、
空虚の下げ振りを下ろされる。
- 12 その高貴な者たちを王に立てようとしても、そこ
にはだれもいない。
その高官たちはみな、無に帰す。
- 13 その宮殿にはいばらが生え、
その要塞にはいらくさとあざみが生える。
そこはジャッカルの住みか、
だちょうの庭となる。
- 14 荒野の獣は狼と出会い、
野やぎは仲間を呼ぶ。
そこには夜の生き物*も住み着き、
自分の休む場所を見つける。
- 15 矢蛇はそこに巣を作って卵を産み、
それをかえし、自分の陰の下に集める。
とびもそれぞれ連れ合いとともに、そこに集ま
る。

* 34:14 34:14 直訳では「リリト」。夜の悪霊、または夜の怪物を指す可能性もある。

- 16 主の書を調べて読め。
これらのうち、一つも欠けることはなく、
連れ合いを欠くものもない。
わたしの口が命じ、
主の霊がそれらを集められたからだ。
- 17 主はそれらのためにくじを引き、
御手で測り縄を用いて、その地を分け与えられた。
それらは永遠にそこを所有し、
代々にわたってそこに住む。

35

- 1 荒野と乾いた地は喜び、
砂漠は楽しみ、バラのように花を咲かせる。
- 2 花を豊かに咲かせ、
喜び楽しみ、歌う。
レバノンの栄光が与えられ、
カルメルとシャロンの麗しさが与えられる。
彼らは主の栄光と、
われわれの神の麗しさを見る。
- 3 弱った手を強くし、
よろめく膝をしつかりさせよ。
- 4 心のおびえている者たちに言え。「強くあれ。
恐れてはならない。
見よ、あなたがたの神は復讐をもって来られる。
神の報いを携えて来られる。
神は来て、あなたがたを救ってくださる。
- 5 その時、目の見えない者の目は開かれ、
耳の聞こえない者の耳は開かれる。
- 6 その時、足の不自由な者は鹿のように跳び、
口のきけない者の舌は喜び歌う。

- 荒野に水が湧き出し、
砂漠に川が流れるからだ。
- 7 焼けた砂地は池となり、
乾ききった地は水の泉となる。
ジャッカルが伏していた住みかには、草と葦と
い草が生える。
- 8 そこには大路があり、道がある。
それは「聖なる道」と呼ばれる。
汚れた者はそこを通らない。
それはその道を歩む者たちのためのものとなる。
愚かな悪人は、そこをさまようことがない。
- 9 そこには獅子がおらず、
飢えた獣がそこに上って来ることもない。
そのようなものは、そこでは見つからない。
しかし、贖われた者たちはそこを歩む。
- 10 主に贖われた者たちは帰って来て、
喜び歌いながらシオンに来る。
永遠の喜びがその頭上にある。
彼らは楽しみと喜びを得、
悲しみと嘆きは逃げ去る。」

36

- 1 ヒゼキヤ王の第十四年に、アッシリアの王セナケリブがユダの城壁のあるすべての町々を攻め、これを占領した。
- 2 アッシリアの王は、ラキシユからラブ・シャケを大軍とともにエルサレムのヒゼキヤ王のもとへ遣わした。ラブ・シャケは、布さらしの野へ向かう大路にある、上の池の水路のそばに立った。
- 3 すると、王宮をつかさどるヒルキヤの子エルヤキム、書記官シェブナ、記録官であるアサフの子ヨアフが、彼のもとへ出て行った。

4 ラブ・シャケは彼らに言った。「ヒゼキヤにこう告げなさい。『大王、アッシリアの王はこう言う。「あなたが頼りにしているその自信は、いったい何なのか。

5 戦いのための助言と力があると言うが、それはただのむなしい言葉にすぎない。今、あなたはだれに頼って、私に背いたのか。

6 見よ、あなたはこの傷ついた葦の杖、すなわちエジプトに頼っている。それに寄りかかる者がいれば、それはその手に刺さり、貫く。エジプトの王ファラオは、彼に頼るすべての者にとって、そのような者だ。

7 しかし、あなたが私に、『われわれは、われわれの神、主に信頼している』と言うなら、その主とは、ヒゼキヤがその高き所と祭壇を取り除き、ユダとエルサレムに、『あなたがたはこの祭壇の前で礼拝しなければならぬ』と言った方ではないか。

8 それなら今、どうか私の主人、アッシリアの王と賭けをしてみなさい。あなたの側で乗り手を用意できるなら、私はあなたに二千頭の馬を与えよう。

9 あなたは、私の主人の最も小さいしもべの一隊長さえ、どうして退けることができるのか。戦車と騎兵を得ようと、エジプトに頼っているのか。

10 今、私が主によらずにこの地を滅ぼすために攻め上って来たとしてもいうのか。主が私に、『この地に攻め上り、これを滅ぼせ』と言われたのだ』」

11 そこでエルヤキムとシェブナとヨアフは、ラブ・シャケに言った。「どうか、しもべたちにはアラム語で話してください。私たちはそれを理解できません。城壁の上にいる民に聞こえるところで、私たちにユダヤ語で話さないでください。」

12 しかし、ラブ・シャケは言った。「私の主人は、これらの言葉を語るために、あなたの主人とあなたにだけ私を遣わしたのか。城壁の上に座り、あなたがたとともに自分の糞を食べ、自分の尿を飲むことになる者たちにも遣わしたのではないか。」

13 それからラブ・シャケは立ち上がり、ユダヤ語で大声に叫んで言った。「大王、アッシリアの王の言葉を聞け。」

14 王はこう言う。『ヒゼキヤにだまされてはならない。彼はあなたがたを救い出すことができない。』

15 ヒゼキヤに、「主は必ずわれわれを救い出してください。この町がアッシリアの王の手に渡されることはない」と言って、あなたがたを主に信頼させてはならない。』

16 ヒゼキヤの言うことを聞いてはならない。アッシリアの王はこう言うからだ。『私と和平を結び、私のもとへ出て来なさい。そうすれば、あなたがたはそれぞれ自分のぶどうの木の実を食べ、自分のいちじくの木の実を食べ、それぞれ自分の水ための水を飲むことができる。』

17 やがて私が来て、あなたがたの国のような国へあなたがたを連れて行く。そこは穀物と新しいぶどう酒の地、パンとぶどう畑の地である。

18 ヒゼキヤが、「主はわれわれを救い出してください」と言って、あなたがたを説き伏せないように気をつけよ。諸国の神々のうち、アッシリアの王の手から自分の国を救い出した神があったか。

19 ハマテとアルパデの神々はどこにいるのか。セファルワイムの神々はどこにいるのか。彼らはサマリアを私の手から救い出したか。

20 これらすべての国々の神々のうち、だれが自分の国を私の手から救い出したというのか。主がエ

ルサレムを私の手から救い出せるとでもいうのか。』」

²¹ しかし、彼らは黙ったまま、一言も答えなかった。王が「彼に答えてはならない」と命じていたからだ。

²² それから、王宮をつかさどるヒルキヤの子エルヤキム、書記官シェブナ、記録官であるアサフの子ヨアフは、衣を裂いてヒゼキヤのもとへ行き、ラブ・シャケの言葉を彼に告げた。

37

¹ ヒゼキヤ王はそれを聞くと、衣を裂き、粗布をまとって主の宮に入った。

² そして、王宮をつかさどるエルヤキム、書記官シェブナ、祭司の長老たちに粗布をまとわせ、アモツの子である預言者イザヤのもとへ遣わした。

³ 彼らはイザヤに言った。「ヒゼキヤはこう言っています。『今日は苦難と叱責と拒絶の日です。子どもが生まれようとしているのに、産み出す力がないからです。』」

⁴ おそらく、あなたの神、主は、彼の主人であるアッシリアの王が生ける神を侮るために遣わしたラブ・シャケの言葉を聞き、その言葉を責めてくださるでしょう。それゆえ、残されている残りの者のために祈りをささげてください。』」

⁵ こうして、ヒゼキヤ王のしもべたちはイザヤのもとへ来た。

⁶ イザヤは彼らに言った。「あなたがたの主人にこう告げなさい。『主はこう言われる。「あなたが聞いた言葉を恐れてはならない。アッシリアの王のしもべたちは、その言葉でわたしを冒涇した。』」

⁷ 見よ、わたしは彼のうちに一つの霊を置く。
彼はある知らせを聞いて、自分の国へ帰る。わたしは彼を自分の国で剣に倒れさせる。」』」

⁸ ラブ・シャケは帰って、アッシリアの王がリブナと戦っているのを見た。王がラキシユを去ったことを聞いていたからである。

⁹ 王はエチオピアの王ティルハカについて、「彼はあなたと戦うために出て来た」との知らせを聞いた。王はそれを聞くと、ヒゼキヤに使者を遣わして言った。

¹⁰ 「ユダの王ヒゼキヤにこう告げよ。『あなたが信頼している神に欺かれてはならない。その神は、「エルサレムはアッシリアの王の手に渡されない」と言っている。

¹¹ 見よ、あなたはアッシリアの王たちがすべての国々を完全に滅ぼすために行ったことを聞いている。それでも、あなたは救い出されるのか。

¹² 私の父祖たちが滅ぼしたゴザン、ハラン、レッエフ、テラサルにいたエデンの子らを、諸国の神々は救い出したか。

¹³ ハマテの王、アルパデの王、セファルワイムの町の王、ヘナとイワの王はどこにいるのか。』」

¹⁴ ヒゼキヤは使者たちの手から手紙を受け取り、それを読んだ。それからヒゼキヤは主の宮に上り、それを主の前に広げた。

¹⁵ ヒゼキヤは主に祈って言った。

¹⁶ 「ケルビムの間で王座に着いておられるイスラエルの神、万軍の主よ、地のすべての王国の神は、あなただけです。あなたは天と地を造られました。

¹⁷ 主よ、耳を傾けて聞いてください。主よ、目を開いて見てください。生ける神を侮るためにセナケリブが送ったすべての言葉を聞いてください。

18 主よ、確かにアッシリアの王たちは、すべての国々とその土地を滅ぼし、

19 その神々を火に投げ込みました。それらは神ではなく、人の手で造られた木や石にすぎなかったのです。彼らはそれらを滅ぼすことができたのです。

20 それゆえ今、われわれの神、主よ、どうか彼の手からわれわれを救ってください。地のすべての王国が、あなただけが主であることを知るためです。」

21 すると、アモツの子イザヤはヒゼキヤに人を遣わして言った。「イスラエルの神、主はこう言われる。『あなたがアッシリアの王セナケリブについてわたしに祈ったので、

22 主が彼について語られた言葉はこれである。処女であるシオンの娘は、あなたを侮り、あざ笑った。エルサレムの娘は、あなたの後ろで頭を振った。

23 あなたはだれを侮り、冒涇したのか。だれに向かって声を上げ、高ぶって目を上げたのか。イスラエルの聖なる方に対してである。

24 あなたはしもべたちを通して主を侮り、こう言った。「私はおびたしい戦車を率いて山々の高い所に上り、レバノンの奥深くにまで来た。その高くそびえる杉と選り抜きの糸杉を切り倒そう。その最も遠い高みに入り、その実り豊かな森に入ろう。

25 私は井戸を掘って水を飲んだ。足の裏でエジプトのすべての川を干上がらせよう。」

26 「あなたは聞かなかったのか。わたしが遠い昔にそれを行い、古代にそれを定めたことを。今、わたしはそれを実現させた。あなたが城壁のある町々を滅ぼし、瓦礫の山とするためである。

27 その住民は力を失い、うろたえ、恥じた。彼らは野の草、若草、屋根の上の草、育つ前に枯れる畑の草のようになった。

28 しかし、わたしはあなたが座る時も、出て行く時も、入って来る時も、わたしに対して荒れ狂うことも知っている。

29 あなたがわたしに対して荒れ狂い、あなたの傲慢がわたしの耳に届いたので、わたしはあなたの鼻に鉤を掛け、あなたの唇にくつわをはめ、あなたが来た道を通して引き返させる。

30 「これがあなたへのしるしとなる。今年は自然に生えたものを食べ、二年目にはそこから生えたものを食べる。三年目には種をまいて刈り入れ、ぶどう畑を植えて、その実を食べる。

31 ユダの家の逃れた残りの者は、再び下に根を張り、上に実を結ぶ。

32 エルサレムから残りの者が出て来て、シオン山から生き残った者たちが出て来るからだ。万軍の主の熱意がこれを成し遂げる。』

33 「それゆえ、主はアッシリアの王についてこう言われる。『彼はこの町に来ず、ここに矢を射ることもない。盾を持ってその前に進むことも、これに向かつて土塁を築くこともない。』

34 彼は来た道を通して帰り、この町には入らない』と主は言われる。

35 『わたしは自分のため、またわたしのしもべダビデのために、この町を守って救う。』」

36 その時、主の使いが出て行き、アッシリア人の陣営で十八万五千人を打った。人々が朝早く起きると、見よ、彼らはみな死体となっていた。

37 そこで、アッシリアの王セナケリブは出発して去り、ニネベに帰って、そこにとどまった。

38 彼が自分の神ニスロクの神殿で礼拝していた時、その息子アデラメレクとシャレツエルが剣で彼を打ち殺した。彼らはアララテの地へ逃げた。セナケリブの子エサル・ハドンが代わって王となった。

38

1 そのころ、ヒゼキヤは病気になる、死にかかっていた。アモツの子である預言者イザヤが彼のもとに来て言った。「主*はこう言われる。『あなたの家を整えなさい。あなたは死ぬ。生きることはない。』」

2 そこでヒゼキヤは顔を壁に向け、主に祈って、

3 言った。「主よ、どうか思い出してください。私が真実と全き心をもって御前を歩み、あなたの目に良いとされたことを行ってきたことを。」そしてヒゼキヤは激しく泣いた。

4 すると、主の言葉がイザヤに臨んだ。

5 「行って、ヒゼキヤに告げなさい。『あなたの父ダビデの神、主はこう言われる。「わたしはあなたの祈りを聞き、あなたの涙を見た。見よ、わたしはあなたの寿命に十五年を加える。」』」

6 わたしはあなたとこの町をアッシリアの王の手から救い出し、この町を守る。

7 主が語ったことを行うという、主からのしるしはこれである。

8 見よ、わたしはアハズの日時計の上を、太陽の動きに伴って下った影を十段後ろへ戻す。」』」すると、太陽は日時計の上を下っていた十段を戻った。

9 ユダの王ヒゼキヤが病気になる、その病気から回復した時に書いたもの。

* 38:138:1 「主」は、神の固有名であるヘブライ語のיהוה（ヤハウェ）を表す。

- 10 私は言った。「人生の半ばで、私はよみ[†]の門に入る。
私の残された年月は奪われた。」
- 11 私は言った。「私は主[‡]を見ることはない。
生ける者の地で、主[§]を見ることはない。
この世の住民とともに、人を見ることも二度とない。
- 12 私の住まいは取り去られ、
羊飼いの天幕のように、私から運び去られた。
私は織物のように自分の命を巻き上げた。
主は私を織機から切り離す。
昼から夜までのうちに、あなたは私を終わらせられる。
- 13 私は朝まで耐え忍んだ。
主は獅子のように私の骨をすべて砕く。
昼から夜までのうちに、あなたは私を終わらせられる。
- 14 私はつばめや鶴のように鳴き、
鳩のようにうめいた。
私の目は上を見続けて弱り果てた。
主よ、私は虐げられている。
私の保証となってください。」
- 15 私は何と言えよのか。
主が私に語り、ご自身でそれを行われた。
私はこの心の苦しみを抱え、残る年月を慎んで歩もう。
- 16 主よ、人はこれらによって生きる。
私の霊も、これらによって生かされる。
私を回復させ、生かしてください。
- 17 見よ、平安のために、私は大きな苦しみを味わった。

[†] 38:10 38:10 よみ (シェオル) は死者の場所である。 [‡] 38:11

38:11 ヘブライ語ではיָחַ (ヤハ) である。 [§] 38:11 38:11

ヘブライ語ではיָחַ (ヤハ) である。

しかし、あなたは私の命を愛し、滅びの穴から救い出してくださった。
私のすべての罪を、ご自分の後ろに投げ捨ててくださった。

18 よみ*はあなたをほめたたえず、
死はあなたを祝わない。

穴に下る者たちは、あなたの真実を待ち望めない。

19 生きている者、生きている者こそ、今日の私のように、あなたをほめたたえる。
父は子どもたちに、あなたの真実を知らせる。

20 主は私を救ってくださる。
それゆえ、われわれは生きているすべての日々、主の宮で弦楽器に合わせ
て私の歌を歌おう。

21 イザヤは、「干しいちじくの菓子を持って来て、腫れ物の上に湿布として当てなさい。そうすれば、王は回復する」と言っていた。

22 ヒゼキヤも、「私が主の宮に上るというしるしは何ですか」と尋ねていた。

39

1 そのころ、バビロンの王であるバラダンの子メロダク・バラダンは、ヒゼキヤに手紙と贈り物を送った。ヒゼキヤが病気になる、回復したことを聞いたからである。

2 ヒゼキヤは彼らを喜び、自分の宝物の倉、銀、金、香料、貴重な油、武器庫のすべてと、宝物の中にあるすべてのものを彼らに見せた。ヒゼキヤが自分の家と全領土の中で彼らに見せなかったものは何一つなかった。

* 38:18 38:18 よみ（シェオル）は死者の場所である。

3 その時、預言者イザヤがヒゼキヤ王のもとに来て、彼に尋ねた。「あの人々は何と言いましたか。どこからあなたのもとへ来たのですか。」

ヒゼキヤは言った。「彼らは私から遠く離れた国、バビロンから来ました。」

4 イザヤは尋ねた。「彼らはあなたの家で何を見ましたか。」

ヒゼキヤは答えた。「彼らは私の家にあるすべてのものを見ました。私の宝物のうち、彼らに見せなかったものは何一つありません。」

5 そこでイザヤはヒゼキヤに言った。「万軍の主の言葉を聞きなさい。

6 『見よ、あなたの家にあるすべてのものと、あなたの父祖たちが今日まで蓄えてきたものが、バビロンへ運び去られる日々が来る。何一つ残されない』と主は言われる。

7 『また、あなたから生まれる息子たち、あなたがもうける息子たちの中からも連れ去られる者がいる。彼らはバビロンの王の宮殿で宦官となる。』」

8 するとヒゼキヤはイザヤに言った。「あなたが語った主の言葉は良いです。」さらに彼は、「私の生きている間は平和と真実があるのだから」と言った。

40

1 「わたしの民を慰めよ。慰めよ」と、あなたがたの神は言われる。

2 「エルサレムの心に語りかけ、彼女に呼びかけよ。その苦役は終わり、その咎は赦された。彼女はすべての罪のために、主の御手から二倍のものを受けた」と。

3 呼びかける者の声がする。

「荒野で主の道を備えよ。」

砂漠に、われわれの神のための平らな大
路を造れ。

- 4 すべての谷は高くされ、
すべての山と丘は低くされる。
でこぼこの地は平らになり、
険しい場所は平地となる。
- 5 主の栄光が現され、
すべての人がともにそれを見る。
主の口がこれを語った。」
- 6 「叫べ」と言う者の声がする。
すると、一人が言った。「私は何と叫べばよい
のか。」
「すべての人は草のようであり、
そのすべての栄光は野の花のようだ。
- 7 草は枯れ、
花はしおれる。
主の息がその上に吹くからだ。
まことに、民は草のようだ。
- 8 草は枯れ、
花はしおれる。
しかし、われわれの神の言葉は永遠に立つ。」
- 9 シオンに良い知らせを伝える者よ、
高い山に上れ。
エルサレムに良い知らせを伝える者よ、力
強く声を上げよ。
声を上げよ。恐れてはならない。
ユダの町々に言え。「見よ、あなたがた
の神だ。」
- 10 見よ、主なる神は力ある方として来られ、
その御腕がご自分のために治める。
見よ、その報いは主とともにあり、

- その報酬は御前にある。
- 11 主は羊飼いのようにご自分の群れを養い、
御腕で子羊を集め、
懷に抱かれる。
乳を飲ませる雌羊を優しく導かれる。
- 12 だれが手のくぼみで水を量り、
手の幅で天を測り、
升で地のちりを量り、
山々を天秤で、
丘々を秤で量ったのか。
- 13 だれが主の霊を導き、
助言者として主に教えたのか。
- 14 主はだれと相談し、
だれが主に悟りを与え、
公正の道を教え、
知識を教え、
悟りの道を示したのか。
- 15 見よ、国々は桶の中の一滴のようであり、
天秤の上のちりのようにみなされる。
見よ、主は島々を、ほんの小さなもののよう
に持ち上げられる。
- 16 レバノンの木々も燃料としては足りず、
その動物も全焼のささげ物としては足りない。
- 17 すべての国々は、御前では無いものに等しい。
主には、無にも満たず、むなしいものとみなさ
れる。
- 18 それなら、あなたがたは神をだれになぞらえるの
か。
どのような姿を神と比べるのか。
- 19 職人は像を鑄造し、
金細工人はそれを金で覆い、
そのために銀の鎖を鑄造する。

- 20 そのようなささげ物をする余裕のない者は、腐らない木を選び、
動かない彫像を据えるために、熟練した職人を捜す。
- 21 あなたがたは知らないのか。
聞いていないのか。
初めから告げられていないのか。
地の基から悟っていないのか。
- 22 地の円の上に座っておられる方がおられ、
その住民はいなごのようだ。
この方は天を幕のように広げ、
住むための天幕のように張られる。
- 23 この方は高官たちを無に帰し、
地の裁判官たちをむなしいものとされる。
- 24 彼らは植えられたかと思う間もなく、
種をまかれたかと思う間もなく、
その幹が地に根を下ろしたかと思う間もなく、
主が彼らに息を吹きかけると、彼らはしおれ、
つむじ風が刈り株のように彼らを運び去る。
- 25 「それなら、あなたがたはわたしをだれになぞらえるのか。
だれがわたしと等しいのか」と、聖なる方は言われる。
- 26 目を高く上げて見よ。
だれがこれらを創造したのか。
その軍勢を数えて連れ出し、
そのすべてを名によって呼ばれる方である。
その偉大な力と、
その強い権能のゆえに、
一つも欠けるものはない。
- 27 ヤコブよ、なぜあなたはこう言うのか。

イスラエルよ、なぜこう語るのか。

「私の道は主から隠され、

私が受けるべき公正は、私の神に顧みられない」と。

28 あなたは知らないのか。

聞いていないのか。

永遠の神、主は、

地の果てを創造された方である。

疲れることも、弱ることもなく、

その悟りは測り知ることができない。

29 主は弱った者に力を与え、

力のない者に強さを増し加えられる。

30 若者も疲れて弱り、

若い男たちも完全に倒れる。

31 しかし、主を待ち望む者たちは新しい力を得る。

鷺のように翼を広げて舞い上がる。

走っても疲れず、

歩いても弱ることがない。

41

1 「島々よ、わたしの前で静まれ。

諸国の民は力を新たにせよ。

彼らを近くに來させ、

それから語らせよ。

われわれはともに裁きの場に近づこう。

2 だれが東から一人を奮い立たせ、

義をもって彼をその足もとに召したのか。

国々を彼の手に渡し、

王たちを彼に支配させる。

彼らをその剣の前でちりのようにし、

その弓の前で吹き飛ぶ刈り株のようにする。

3 彼は彼らを追い、

無事に通り過ぎる。

その足で通ったことのない道を進む。

4 だれがこれを行い、成し遂げたのか。

初めから代々の者たちを呼び出したのはだれか。

わたし、主が初めであり、

最後の者たちとともにいるのも、わたしである。」

5 島々は見て恐れ、

地の果ては震える。

彼らは近づき、やって来る。

6 だれもが隣人を助け、

兄弟に「強くあれ」と言う。

7 木工職人は金細工人を励まし、

金づちで表面を滑らかにする者は、金

床を打つ者を励ます。

はんだ付けについて「良い」と言い、

ぐらつかないように釘で固定する。

8 「しかし、イスラエルよ、あなたはわたしのしもべ。

ヤコブよ、わたしが選んだ者。

わたしの友アブラハムの子孫よ。

9 わたしは地の果てからあなたを捕らえ、

その隅々からあなたを呼び出した。

わたしはあなたに言った。

『あなたはわたしのしもべ。

わたしはあなたを選び、退けなかった。』

10 恐れてはならない。わたしがあなたとともにいるからだ。

うろたえてはならない。わたしがあなたの神だからだ。

わたしはあなたを強くする。

まことに、あなたを助ける。

まことに、わたしの義の右手であなたを支える。

- 11 見よ、あなたに対して怒る者たちはみな、
恥を受け、辱められる。
あなたと争う者たちは無いもののようになり、
滅びる。
- 12 あなたは自分と争う者たちを捜しても、
見つけることができない。
あなたと戦う者たちは無いもののように、
存在しないものようになる。
- 13 わたし、あなたの神、主があなたの右手を取り、
あなたにこう言うからだ。
『恐れてはならない。
わたしがあなたを助ける。』
- 14 虫けらのようなヤコブよ、恐れてはならない。
イスラエルの人々よ、恐れてはならない。
わたしがあなたを助ける」と主は言われる。
「あなたを贖う方は、イスラエルの聖なる方である。
- 15 見よ、わたしはあなたを、
歯のついた新しい鋭い脱穀器とした。
あなたは山々を脱穀して細かく砕き、
丘々をもみ殻のようにする。
- 16 あなたがそれらをあおり分けると、
風が運び去り、
つむじ風が散らす。
あなたは主にあつて喜び、
イスラエルの聖なる方を誇る。
- 17 貧しい者と困窮している者が水を求めても、
水はなく、舌は渇きで干からびる。
わたし、主が彼らに答える。
イスラエルの神であるわたしは、彼らを見捨てない。

- 18 わたしは裸の高地に川を開き、
谷のただ中に泉を開く。
荒野を水の池とし、
乾いた地を水の泉とする。
- 19 わたしは荒野に杉、アカシア、ミルトス、オリーブの木を植える。
砂漠には糸杉、松、つげの木をともに植える。
- 20 それは、彼らがともに見て、知り、
心に留め、悟るためである。
主の御手がこれを行い、
イスラエルの聖なる方がこれを創造されたことを。」
- 21 「あなたがたの訴えを提出せよ」と主は言われる。
「あなたがたの力強い論拠を持ち出せ」とヤコブの王は言われる。
- 22 「彼らに、これから起こることを告げ、われわれに示させよ。
以前のことが何であったのかを告げよ。
われわれがそれを心に留め、その結末を知るために。
または、これから来ることをわれわれに示せ。
- 23 後に起こることを告げよ。
あなたがたが神々であることを、われわれが知るために。
まことに、良いことでも悪いことでも行え。
われわれがおののき、
ともにそれを見るために。
- 24 見よ、あなたがたは無に等しく、
あなたがたの働きも無に等しい。
あなたがたを選ぶ者は忌まわしい。
- 25 わたしは北から一人を奮い立たせた。彼は来た。

- 日の昇る方から、わたしの名を呼ぶ者を。
彼は支配者たちを漆喰のように踏みつけ、
陶器師が粘土を踏むように踏みつける。
- 26 だれが初めからこれを告げて、われわれに知らせたのか。
だれが前もって告げて、われわれに『彼は正しい』と言わせたのか。
- まことに、告げる者は一人もいない。
示す者も一人もいない。
あなたがたの言葉を聞く者も一人もいない。
- 27 わたしは最初にシオンに言った。
『見よ、彼らを見よ。』
わたしはエルサレムに、良い知らせを伝える者を与える。
- 28 わたしが見ても、だれもいない。
彼らの中には、わたしが尋ねた時、
一言でも答えられる助言者が一人もいない。
- 29 見よ、彼らはみな空しく、その行いは無に等しい。
その鑄像は風であり、空虚である。」

42

- 1 「見よ、わたしが支える、わたしのしもべ。
わたしが心から喜ぶ、わたしの選んだ者。
わたしは彼の上にわたしの霊を置いた。
彼は国々に公正をもたらす。
- 2 彼は叫ばず、
声を上げず、
通りにその声を響かせない。
- 3 傷ついた葦を折らず、
くすぶる灯心を消さない。
真実をもって公正をもたらす。
- 4 彼は弱ることも、くじけることもなく、
地に公正を確立する。

島々は彼の律法を待ち望む。」

- 5 天を創造してこれを広げ、
地とそこから生じるものを広げ、
その上にいる民に息を与え、
そこを歩む者に霊を与える神である主は、こ
う言われる。
- 6 「わたし、主は義をもってあなたを呼んだ。
わたしはあなたの手を取り、
あなたを守り、
あなたを民の契約とし、
国々の光とする。
- 7 目の見えない者の目を開き、
捕らわれ人を地下牢から出し、
闇の中に座る者たちを牢獄から出すためであ
る。
- 8 わたしは主。
これがわたしの名である。
わたしは自分の栄光をほかの者に与えず、
自分の誉れを彫像に与えない。
- 9 見よ、以前のことは起こった。
わたしは新しいことを告げる。
それが起こる前に、
わたしはあなたがたに知らせる。」
- 10 主に新しい歌を歌え。
地の果てから主への賛美を歌え。
海に下る者たちと、
海とそこに満ちるすべてのもの、
島々とそこに住む者たちよ。
- 11 荒野とその町々は声を上げよ。
ケダルが住む村々も。
セラの住民は喜び歌え。

山々の頂から叫べ。

- 12 主に栄光を帰し、
島々でその誉れを告げ知らせよ。
- 13 主は勇士のように出て行き、
戦士のように熱意を奮い立たせられる。
雄叫びを上げ、
まことに大声で叫び、
敵に打ち勝たれる。
- 14 「わたしは長い間、黙っていた。
静かにして、自分を抑えていた。
今、わたしは産みの苦しみにある女のように
に叫び、あえぎ、激しく息をする。
- 15 わたしは山々と丘々を荒らし、
そのすべての草を枯らす。
川々を島とし、
池を干上がらせる。
- 16 わたしは目の見えない者たちを、彼らの知らない
道に導く。
彼らの知らない道筋を進ませる。
彼らの前で闇を光とし、
曲がった場所をまっすぐにする。
わたしはこれらのことを行い、
彼らを見捨てない。
- 17 彫像に頼り、
鑄像に『あなたがたはわれわれの神々
だ』と言う者たちは、
退けられ、
全く恥を受ける。
- 18 耳の聞こえない者たちよ、聞け。
目の見えない者たちよ、

- 見るために目を向けよ。
- 19 わたしのしもべのほか、だれが目の見えな
い者なのか。
わたしが遣わす使者のように、耳の聞こえな
い者はだれか。
- 平安のうちにいる者のように目の見えない者、
主のしもべのように目の見えない者はだれか。
- 20 あなたは多くのことを見ても、心に留めない。
耳は開いているのに、聞こうとしない。
- 21 主はご自分の義のゆえに、
律法を大いなるものとし、尊いものとするこ
とを喜ばれた。
- 22 しかし、これは奪われ、略奪された民である。
彼らはみな穴の中で罫にかかり、
牢獄に隠されている。
- 彼らは捕られ人となったが、救い出す者はなく、
略奪されたが、『返せ』と言う者もない。
- 23 あなたがたのうち、だれがこれに耳を傾けるの
か。
だれが後の時のために注意して聞くのか。
- 24 だれがヤコブを略奪されるままにし、
イスラエルを奪う者たちに渡したのか。
われわれが罪を犯した相手である主ではなかつ
たか。
彼らは主の道を歩もうとせず、
その律法に従わなかった。
- 25 それゆえ、主は激しい怒りと、
戦いの激しさを彼の上に注がれた。
それは彼の周囲を焼いたが、彼は悟らなかった。
彼を焼いたが、彼は心に留めなかった。」

43

- 1 しかし今、ヤコブよ、あなたを創造された主、

イスラエルよ、あなたを形造られた方はこ
う言われる。

「恐れてはならない。わたしがあなたを贖ったから
だ。

わたしはあなたの名を呼んだ。
あなたはわたしのもの。

²あなたが水の中を通る時、わたしはあなたとともに
にいる。

川々を渡る時も、それらはあなたを押し流さな
い。

火の中を歩いても、あなたは焼かれず、
炎もあなたを焦がさない。

³わたしはあなたの神、主、
イスラエルの聖なる方、
あなたの救い主だからだ。

わたしはあなたの身代金としてエジプトを、
あなたの代わりにエチオピアとセバを与えた。

⁴あなたはわたしの目に尊く、重んじられ、
わたしはあなたを愛した。
それゆえ、わたしはあなたの代わりに人々を、
あなたの命の代わりに国々を与える。

⁵恐れてはならない。わたしがあなたとともにいる
からだ。

わたしは東からあなたの子孫を連れて来て、
西からあなたを集める。

⁶北に『渡せ』と言い、
南に『引き止めるな。
わたしの息子たちを遠くから、
わたしの娘たちを地の果てから連れ
て来い』と言う。

⁷わたしの名で呼ばれるすべての者、
わたしの栄光のために創造した者、
わたしが形造り、
まことに、わたしが造った者を。」

- 8 目があるのに見えない民と、
耳があるのに聞こえない者たちを連れ出せ。
- 9 すべての国々をともに集め、
諸国の民を集わせよ。
彼らのうち、だれがこれを告げ、
以前のことをわれわれに示せるのか。
彼らに証人を連れて来させ、
自分たちが義と認められるようにさせよ。
または、彼らに聞かせて、
「それは真実だ」と言わせよ。
- 10 「あなたがたと、わたしが選んだしもべは、
わたしの証人である」と主は言われる。
「それは、あなたがたがわたしを知って信じ、
わたしがその方であることを悟るためである。
わたしより前に形造られた神はなく、
わたしより後にもない。
- 11 わたしこそ主。
わたしのほかに救い主はいない。
- 12 わたしが告げ、救い、知らせた。
あなたがたの中に異国の神はいなかった。
それゆえ、あなたがたはわたしの証人である」と、
主は言われる。「わたしは神である。
- 13 まことに、日が始まる前から、わたしはその方である。
わたしの手から救い出せる者はいない。
わたしが行く時、だれがそれを妨げられるだろうか。」
- 14 あなたを贖う方、イスラエルの聖なる方である主はこう言われる。「あなたがたのために、わたしはバビロンへ人を遣わした。彼らが歓声を上げる船に乗るカルデア人をも、みな逃亡者として引き下ろす。

15 わたしは主、あなたがたの聖なる方、イスラエルの創造者、あなたがたの王である。」

16 海の中に道を造り、
力強い水の中に道筋を造る主、

17 戦車と馬、
軍勢と勇士を連れ出す方こう言われる。
「彼らはともに伏し、二度と起き上がらない。
消え去り、灯心のように消された。

18 以前のことを思い出すな。
昔のことを心に留めるな。

19 見よ、わたしは新しいことを行う。
今、それが芽を出している。
あなたがたはそれを知らないのか。

わたしは荒野に道を、
砂漠に川々を造る。

20 野の獣、ジャッカルとだちょうは、わたしをあがめる。
わたしが荒野に水を、砂漠に川々を与え、
わたしの民、わたしの選んだ者に飲ませるからだ。

21 わたしが自分のために形造った民は、
わたしの誉れを告げ知らせる。

22 それでも、ヤコブよ、あなたはわたしを呼び求め
なかった。
イスラエルよ、あなたはわたしにうんざりした。

23 あなたは全焼のささげ物として羊をわたしに持つて来ず、
いけにえをもってわたしをあがめなかった。
わたしはささげ物によってあなたに重荷を負わせず、
乳香によってあなたを疲れさせなかった。

- 24 あなたは金を払って、香りの良い菖蒲をわたしの
ために買わず、
いけにえの脂肪でわたしを満たさなかった。
かえって、あなたは罪によってわたしに重荷を負わ
せ、
咎によってわたしを疲れさせた。
- 25 わたしこそ、わたし自身のためにあなたの背きを
ぬぐい去る者。
わたしはあなたの罪を思い出さない。
- 26 わたしに思い出させよ。
われわれはともに論じ合おう。
あなたの訴えを述べよ。
あなたが義と認められるために。
- 27 あなたの最初の父は罪を犯し、
あなたの教師たちはわたしに背いた。
- 28 それゆえ、わたしは聖所の長たちを汚し、
ヤコブを呪いのものとし、
イスラエルをそしりのものとする。」

44

- 1 「しかし今、わたしのしもべヤコブよ、聞け。
わたしが選んだイスラエルよ。
- 2 あなたを造り、
胎内にいる時からあなたを形造り、
あなたを助ける主はこう言われる。
『わたしのしもべヤコブよ、恐れてはならない。
わたしが選んだエシュルンよ。』
- 3 わたしは渴いている者に水を注ぎ、
乾いた地に流れを注ぐ。
わたしの霊をあなたの子孫の上に注ぎ、
わたしの祝福をあなたの子らの上に注ぐ。
- 4 彼らは草の間から、
水路のほとりの柳のように生え出る。

- 5 ある者は「私は主のもの」と言い、
ある者はヤコブの名で呼ばれる。
また、ある者は自分の手に「主のもの」と書き、
イスラエルの名を尊ぶ。』」
- 6 イスラエルの王であり、
イスラエルを贖う方である万軍の主は、こ
う言われる。
「わたしは初めであり、わたしは終わりである。
わたしのほかに神はいない。
- 7 だれがわたしのようであるか。
わたしが昔からの民を定めた時から、
だれが呼びかけ、
それを告げ、
わたしの前に順序立てて示せるのか。
彼らに、これから来ること、
後に起こることを告げさせよ。
- 8 恐れてはならない。
おびえてはならない。
わたしは遠い昔からあなたに告げ、
示してきたではないか。
あなたがたはわたしの証人である。
わたしのほかに神があるだろうか。
まことに、ほかにはない。
わたしはほかの岩を知らない。」
- 9 彫像を造る者はみな空しい。
彼らが喜ぶものは何の役にも立たない。
彼ら自身が証人だが、見もせず、知りもしない
ため、恥を受ける。
- 10 何の役にも立たない神を形造り、
像を鑄造する者がいるだろうか。
- 11 見よ、その仲間たちはみな恥を受ける。

職人たちは人間にすぎない。
彼らをみな集め、
立たせよ。
彼らは恐れ、
ともに恥を受ける。

12 鍛冶屋は斧を取り、
炭火の中で働き、
金づちでそれを形造り、
力強い腕で仕上げる。

彼は空腹になり、
力が衰える。
水を飲まないで、
疲れ果てる。

13 木工職人は測り縄を伸ばし、
筆で印を付ける。
かんなで形を整え、
コンパスで印を付ける。
それを人の姿に、
人の美しい姿に形造り、
家の中に置く。

14 彼は自分のために杉を切り倒し、
糸杉と榿の木を選び取り、
森の木々の中から一本を自分のために育てる。
糸杉を植えると、
雨がそれを成長させる。

15 それは人が燃やす薪となる。
彼はその一部を取って、自分の体を暖める。
まことに、それを燃やしてパンを焼く。
さらに、それで神を造って拝み、
彫像を造って、その前にひれ伏す。

16 その一部を火で燃やし、
その一部で肉を焼いて食べる。

- 肉を焼き、満腹する。
また、自分の体を暖めて言う。
『ああ、暖かい。火を見ている。』
- 17 残りを神にする。
それが自分の彫像である。
その前に身をかがめて拝み、
それに祈って言う。
『私を救い出してください。あなたは私の神だからです。』
- 18 彼らは知らず、悟らない。
その目は閉ざされて見ることができず、
その心も閉ざされて理解することができないからだ。
- 19 心に思い巡らす者はなく、
知識も悟りもないので、こう言う者はいない。
『私はその一部を火で燃やした。
まことに、その炭火でパンも焼いた。
肉を焼いて食べた。
その残りを忌まわしいものにするのか。
木の幹にひれ伏すのか。』
- 20 彼は灰を食べている。
欺かれた心が彼を迷わせた。
彼は自分を救うこともできず、
『私の右手にあるものは偽りではないか』と言うこともできない。
- 21 ヤコブよ、イスラエルよ、これらのことを覚えよ。
あなたはわたしのしもべだからだ。
わたしはあなたを形造った。
あなたはわたしのしもべ。
イスラエルよ、わたしはあなたを忘れない。
- 22 わたしはあなたの背きを厚い雲のように、

あなたの罪を雲のようにぬぐい去った。
わたしに立ち返れ。わたしがあなたを贖ったからだ。」

- 23 天よ、歌え。主がこれを成し遂げられたからだ。
地の深みよ、喜び叫べ。
山々よ、森とそのすべての木々よ、喜び
の歌を響かせよ。
主がヤコブを贖い、
イスラエルのうちにご自分の栄光を現されるからだ。

- 24 あなたを贖う方、
胎内にいる時からあなたを形造られた主はこ
う言われる。

「わたしは主。すべてのものを造る者。
わたし一人で天を広げ、
自ら地を広げる者。

- 25 偽りを語る者たちのしるしを無効にし、
占い師たちを狂わせ、

知恵ある者たちを退け、
その知識を愚かなものとする者。

- 26 ご自分のしもべの言葉を確かなものとし、
ご自分の使者たちの助言を実現する者。

エルサレムについて『人が住むようにな
る』と言い、
ユダの町々について『建て直される』、
『わたしはその廃墟を再建する』と言う者。

- 27 深い淵に『干上がれ』と言い、
『わたしはあなたの川々を干上がらせ
る』と言う者。

- 28 キュロスについて『彼はわたしの羊飼いであり、わたしの望むことをすべて成し遂げる』と言い、
エルサレムについて『建て直される』、
神殿について『その基が据えられる』という者である。」

45

- 1 主は、油を注がれた者キュロスにこう言われる。わたしは彼の右手を取り、彼の前で国々を従わせ、王たちの武具を脱がせ、彼の前で扉を開き、門が閉じられないようにする。
- 2 「わたしはあなたの前を進み、
険しい場所を平らにする。
青銅の扉を打ち砕き、
鉄のかんぬきを切り裂く。
- 3 わたしはあなたに闇の中の宝と、
隠れた場所に秘められた富を与える。
それは、あなたの名を呼ぶわたしが主、
イスラエルの神であることを、あなたが知るためである。
- 4 わたしのしもべヤコブのため、
わたしが選んだイスラエルのために、
わたしはあなたの名を呼んだ。
あなたがわたしを知らなかったにもかかわらず、
あなたに称号を与えた。
- 5 わたしは主。ほかにはいない。
わたしのほかに神はいない。
あなたがわたしを知らなかったにもかかわらず、
わたしはあなたを強くする。*
- 6 それは、日の昇る所から西に至るまで、

* 45:5 45:5 または「あなたを装備する」

わたしのほかにだれもないことを人々が知る
ためである。

わたしは主。
ほかにはいない。

7 わたしは光を形造り、
闇を創造する。

平和を造り、
災いを創造する。

わたしは主。
これらすべてを行う者である。

8 天よ、上から雨を降らせよ。
空は義を注ぎ出せ。

地は開いて救いを生み出し、
義とともに芽生えさせよ。

わたし、主がこれを創造した。

9 自分を造られた方と争う者に災いがある。
地にある土器の一つにすぎないのに。

粘土が、それを形造る者に、
『何を造っているのか』と言うだろうか。

造られた物が、
『彼には手がない』と言うだろうか。

10 父に『何の父になったのか』と言い、
母に『何を産んだのか』と言う者に災いがある。」

11 イスラエルの聖なる方、
イスラエルを造られた主はこう言われる。
「あなたがたは、わたしの子らの将来について、わ
たしに尋ね、
わたしの手の業について、わたしに命じるの
か。」

12 わたしが地を造り、

その上に人を創造した。
わたし自身の手が天を広げ、
そのすべての軍勢に命じた。
13 わたしは義をもって彼を奮い立たせ、
そのすべての道をまっすぐにする。
彼はわたしの町を建て、
代価も報酬も求めず、
わたしの捕らわれ人を解放する」と万
軍の主は言われる。

14 主はこう言われる。「エジプトの労働の実と、
エチオピアの商品と、
背の高いセバ人は、あなたのもとへ渡っ
て来て、
あなたのものとなる。
彼らはあなたの後に従い、
鎖につながれて渡って来る。
彼らはあなたの前にひれ伏し、
あなたに願って言う。
『まことに、神はあなたのうちにおられ、ほか
にはいない。
ほかに神はいない。

15 イスラエルの神、救い主よ、
まことに、あなたはご自分を隠される神で
す。』」

16 偶像を造る者たちはみな、
失望し、辱められる。
彼らはともに恥じ惑う。

17 しかし、イスラエルは主によって、
永遠の救いをもって救われる。
あなたがたは永遠に、
失望することも辱められることもない。

18 天を創造された主、

地を形造り、これを造られた神、
地を堅く据え、空虚なものとして創造せず、
人が住むために形造られた方はこう言われる。

「わたしは主。
ほかにはいない。

19 わたしはひそかに、
闇に包まれた地のどこかで語ったのではない。
わたしはヤコブの子孫に、
『むなしくわたしを求めよ』とは言わなかつた。

わたし、主は義を語り、
正しいことを告げる。

20 集まって来て、
国々から逃れて来た者たちよ、ともに近づけ。
木で造った彫像を担ぎ、
救うことのできない神に祈る者たちには知識がない。

21 告げて、それを示せ。
彼らにともに相談させよ。
だれがこれを昔から示したのか。
だれが遠い昔に告げたのか。
わたし、主ではなかったか。
わたしのほかに神はいない。
義なる神、救い主は、わたしのほかにはいない。

22 地のすべての果てよ、
わたしを仰ぎ見て救われよ。
わたしが神であり、ほかにはいないからだ。

23 わたしは自分にかけて誓った。
義をもってわたしの口から出た言葉は、
取り消されることがない。
すべての膝はわたしの前にかがみ、

すべての舌は誓いを立てる。

24 人々はわたしについて、
『義と力は主にのみある』と言う。」

人々は主のもとへ来る。
主に対して怒りを燃やした者たちはみな、
恥を受ける。

25 イスラエルのすべての子孫は主にあつて義とさ
れ、
喜ぶ。

46

1 ベルはひれ伏し、
ネボは身をかがめる。
彼らの偶像は獣や家畜の上に載せられる。
あなたがたが担いでいたものは、
疲れた獣にとって重い荷となる。

2 彼らはともに腰をかがめ、
身を屈める。
その荷を救い出すことができず、
自分たちも捕らわれて行く。

3 「ヤコブの家よ、わたしに聞け。
イスラエルの家の残りの者たちよ。
あなたがたは生まれた時から担われ、
胎内にいる時から運ばれてきた。

4 あなたがたが年老いても、わたしは変わらない。
白髪になっても、わたしが担う。
わたしが造ったので、わたしが背負う。
わたしが担い、救い出す。

5 あなたがたはわたしをだれになぞらえ、
だれと等しいものとし、
だれと比べて、同じものとするのか。

6 ある者たちは袋から金を惜しみなく出し、

- 銀を天秤で量る。
金細工人を雇うと、
彼はそれを神に造る。
彼らはひれ伏し、
まことに、それを拝む。
- 7 彼らはそれを肩に載せて担ぎ、
運んで所定の場所に置くと、そこに立つ。
それは自分の場所から動くことができない。
人がそれに叫んでも、答えることはできず、
苦難から救うこともできない。
- 8 このことを覚え、勇気を奮い起こせ。
背く者たちよ、もう一度心に留めよ。
- 9 遠い昔のことを思い出せ。
わたしが神であり、ほかにはいない。
わたしは神であり、わたしのような者はいない。
- 10 わたしは初めから終わりを告げ、
遠い昔から、まだ行われていないことを告げる。
わたしは言う。
『わたしの計画は堅く立ち、
わたしの望むことをすべて行う。』
- 11 わたしは東から猛禽を、
遠い国から、わたしの計画を行う者を呼ぶ。
まことに、わたしは語った。
わたしはそれを実現させる。
わたしは計画した。
わたしはそれを行う。
- 12 心の頑なな者たちよ、
義から遠く離れている者たちよ、わたしに聞け。
- 13 わたしは自分の義を近づける。

それは遠くない。
わたしの救いは遅れない。
わたしはシオンに救いを与え、
イスラエルにわたしの栄光を与える。

47

- 1 「処女であるバビロンの娘よ、下って来て、ちりの中に座れ。
カルデア人の娘よ、王座を離れて地面に座れ。
あなたはもはや、優雅で上品な女とは呼ばれないからだ。
- 2 ひき臼を取って、小麦粉をひけ。
ベールを脱ぎ、裾をまくり、脚をあらわにして、
川々を渡れ。
- 3 あなたの裸はあらわにされ、
あなたの恥は見られる。
わたしは復讐し、
だれをも容赦しない。」
- 4 われわれを贖う方、
その名は万軍の主、
イスラエルの聖なる方である。
- 5 「カルデア人の娘よ、黙って座り、
闇の中へ入れ。
あなたはもはや、
諸王国の女王とは呼ばれないからだ。
- 6 わたしは自分の民に怒り、
わたしの相続財産を汚し、
彼らをあなたの手に渡した。
あなたは彼らにあわれみを示さず、
老人にも非常に重いくびきを負わせた。

7 あなたは『私は永遠に女王であり続ける』と言い、
これらのことを心に留めず、
その結末を思わなかった。

8 それゆえ今、快樂にふけり、
安心して座っている者よ、これを聞け。
あなたは心の中で言う。
『私こそ、その者。私のほかにはだれもいない。』

私はやもめとして座することもなく、
子を失うことも知らない。』

9 しかし、この二つのことが、
一日のうちに、一瞬にしてあなたに臨む。
子を失うことと、やもめになることである。
あなたのおびただしい魔術と、
数多くの呪文にもかかわらず、
それらは余すところなくあなたに臨む。

10 あなたは自分の悪に信頼し、
『私を見る者はいない』と言った。
あなたの知恵と知識が、あなたを迷わせた。
あなたは心の中で、
『私こそ、その者。私のほかにはだれもいない』と言った。

11 それゆえ、災いがあなたに臨む。
それがいつ始まるか、あなたには分からない。
災難があなたの上に降りかかり、
あなたはそれを払いのけることができない。
あなたには理解できない荒廃が、
突然あなたに臨む。

12 さあ、あなたが若い時から苦労してきた呪文と、
おびただしい魔術をもって立て。
あるいは、それが役に立ち、

- あなたが打ち勝てるかもしれない。
13 あなたは数多くの助言によって疲れ果てた。
天を区分して占う者、星を観察する者、新月ごとに予告する者を立たせ、
あなたに臨むことから、あなたを救わせよ。
14 見よ、彼らは刈り株のようだ。
火が彼らを焼く。
彼らは炎の力から自分自身を救い出せない。
それは体を暖める炭でもなく、
そのそばに座るための火でもない。
15 あなたが苦労してきたものは、あなたにとってこのようになる。
若い時からあなたと取引してきた者たちは、
それぞれ自分の道へさまよい去る。
あなたを救う者は一人もいない。

48

- 1 「ヤコブの家よ、これを聞け。
イスラエルの名で呼ばれ、
ユダの水から出た者たちよ。
あなたがたは主の御名によって誓い、
イスラエルの神の名を口にするが、
真実によらず、義にもよらない。
2 彼らは自分たちを聖なる都の者と称し、
イスラエルの神に頼っている。
その名は万軍の主である。
3 わたしは昔から、以前のことを告げた。
それらはわたしの口から出て、わたしが知らせた。
わたしが突然それを行うと、それは実現した。
4 あなたが頑固で、
あなたの首が鉄の筋、

あなたの額が青銅であることを、わたしは知っていた。

- 5 それゆえ、わたしは昔からあなたに告げ、
それが起こる前に、あなたに示した。
あなたが『私の偶像がこれらを行った。
私の彫像と鑄像がこれらを命じた』と言わない
ためである。

- 6 あなたは聞いた。
今、このすべてを見よ。
あなたがたはこれを告げないのか。

今から、わたしはあなたに新しいこと、
あなたの知らなかった隠されたことを示す。

- 7 それらは昔からではなく、今、創造された。
今日より前に、あなたはそれらを聞かなかった。
あなたが『見よ、私はそれを知っていた』
と言わないためである。

- 8 まことに、あなたは聞かなかった。
まことに、あなたは知らなかった。
まことに、昔からあなたの耳は開かれていなかった。

あなたが全く不実に振る舞い、
胎内にいる時から背く者と呼ばれていたこと
を、
わたしは知っていたからだ。

- 9 わたしは自分の名のために怒りを遅らせ、
わたしの誉れのために、あなたに対して怒り
を抑える。
あなたを断ち滅ぼさないためである。

- 10 見よ、わたしはあなたを精錬した。
しかし、銀のようにではない。
わたしは苦難の炉であなたを選んだ。

- 11 わたし自身のために、

わたし自身のために、これを行う。
どうしてわたしの名が汚されてよいだろうか。
わたしは自分の栄光をほかの者に与えない。

- 12 ヤコブよ、わたしに聞け。
わたしが呼んだイスラエルよ。
わたしはその方である。
わたしは初めであり、
わたしはまた終わりである。
- 13 まことに、わたしの手が地の基を据え、
わたしの右手が天を広げた。
わたしがそれらを呼ぶと、
それらはともに立つ。

- 14 あなたがたはみな集まって聞け。
彼らのうち、だれがこれらのことを告げたのか。
主が愛する者は、バビロンに対して主の望むことを行い、
その腕はカルデア人に向けられる。
- 15 わたしが、わたし自身が語った。
まことに、わたしが彼を呼んだ。
わたしが彼を連れて来た。
彼の道は栄える。

- 16 わたしに近づき、これを聞け。

初めから、わたしはひそかに語ったのではない。
それが起こった時から、わたしはそこにいた。」

今、主なる神は、
その霊とともに私を遣わされた。

- 17 あなたを贖う方、

イスラエルの聖なる方である主はこう言われる。

「わたしはあなたの神、主。

あなたに益となることを教え、

あなたが歩むべき道に導く者である。

18 あなたがわたしの戒めに聞き従っていたなら、
あなたの平和は川のように、
あなたの義は海の波のようになっていただろう。

19 あなたの子孫は砂のように、
あなたの体から出る者たちは、その砂粒のよう
になっていただろう。
その名はわたしの前から断たれることも、
滅ぼされることもなかっただろう。」

20 バビロンから出よ。

カルデア人のもとから逃げよ。

喜び叫びながら、これを告げ知らせよ。

地の果てにまで伝えよ。

「主はそのしもべヤコブを贖われた」と言え。

21 主が彼らを砂漠の中へ導かれた時、
彼らは渇かなかった。
主は彼らのために岩から水を流れ出させた。
岩を裂くと、水がほとばしり出た。

22 「悪人には平和がない」と主は言われる。

49

1 島々よ、私に聞け。

遠くにいる諸国の民よ、耳を傾けよ。

主は私を胎内から呼び、

母の胎内にいる時から、私の名を口にされた。

2 主は私の口を鋭い剣のようにし、
御手の陰に私を隠された。

私を磨かれた矢とし、
矢筒の中にしまわれた。

³主は私に言われた。
「あなたはわたしのしもべ、
わたしが栄光を現すイスラエルである。」

⁴しかし、私は言った。
「私はむなしく働き、
何の実りもなく、いたずらに力を使い果たした。

それでも、私の受けるべき公正は主とともにあり、
私の報いは私の神とともにある。」

⁵今、ヤコブをご自分のもとに連れ戻し、
イスラエルをご自分のもとに集めるために、
私を胎内からご自分のしもべとして形造られた主は言われる。
私は主の目に尊ばれ、
私の神は私の力となられた。

⁶主は言われる。
「あなたがわたしのしもべとなり、
ヤコブの諸部族を立ち上がらせ、
守られたイスラエルの者たちを回復させるだけでは、あまりにも小さなことである。
わたしはまた、あなたを国々の光とする。
あなたがわたしの救いとなり、地の果てにまで届くために。」

⁷イスラエルを贖う方、その聖なる方である主は、
人に侮られる者、民に忌み嫌われる者、
支配者たちのしもべにこう言われる。
「王たちは見て立ち上がり、
高官たちもひれ伏す。

真実な方である主、
あなたを選ばれたイスラエルの聖なる方のゆえに。」

- 8 主はこう言われる。
「受け入れられる時に、わたしはあなたに答えた。
救いの日に、あなたを助けた。
わたしはあなたを守り、
あなたを民の契約とする。
荒れ果てた地を立て直し、
荒れ果てた相続地を受け継がせるためである。」
- 9 縛られている者たちに『出て来い』と言い、
闇の中にいる者たちに『姿を現せ』と言うためである。
- 彼らは道沿いで草を食べ、
木のないすべての高地が彼らの牧場となる。
- 10 彼らは飢えることも渴くこともなく、
焼けつく熱も太陽も彼らを打たない。
彼らをあわれむ方が彼らを導き、
水の泉のほとりへ案内するからだ。
- 11 わたしはすべての山々を道とし、
わたしの大路は高く上げられる。
- 12 見よ、ある者たちは遠くから来る。
見よ、ある者たちは北から、西から来る。
また、ある者たちはシニムの地から来る。」
- 13 天よ、歌え。
地よ、喜べ。
山々よ、喜びの歌を響かせよ。
- 主がご自分の民を慰め、
苦しむ者たちをあわれまれるからだ。
- 14 しかし、シオンは言った。
「主は私を見捨てられた。
主は私を忘れられた。」
- 15 「女が自分の乳飲み子を忘れ、
自分の胎から生まれた子をあわれまないことが
あるだろうか。」

たとえ彼女たちが忘れても、

わたしはあなたを忘れない。

16 見よ、わたしは手のひらにあなたを刻んだ。

あなたの城壁はいつもわたしの前にある。

17 あなたの子どもたちは急いで来る。

あなたを滅ぼし、荒れ果てさせた者たちは、あなたから去って行く。

18 目を上げて周囲を見よ。

彼らはみな集まり、あなたのもとへ来る。

わたしは生きている」と主は言われる。

「あなたは必ず、彼らをみな飾りのよう

に身に着け、

花嫁のように彼らで身を飾る。

19 あなたの荒れ地、荒れ果てた場所、

滅ぼされた土地は、

今や住民にとって狭すぎるほどになり、

あなたをのみ込んだ者たちは遠くへ去る。

20 あなたが子を失った後に生まれた子どもたちは、

あなたの耳にこう言う。

『この場所は私には狭すぎる。

私が住める場所を空けてください。』

21 その時、あなたは心の中で言う。

『私は子どもを失い、独りになり、

捕らわれの身となって、あちこちさまよっていたのに、

だれが私のためにこの者たちを産んだのか。

だれがこの者たちを育てたのか。

見よ、私は独り取り残されていた。

この者たちはどこにいたのか。』

22 主なる神はこう言われる。

「見よ、わたしは国々に向かって手を上げ、

諸国の民に向かって旗を掲げる。

彼らはあなたの息子たちを懷に抱いて連れて来て、
あなたの娘たちは肩に担がれて来る。

23 王たちはあなたの養父となり、
王妃たちはあなたの乳母となる。

彼らは顔を地につけてあなたにひれ伏し、
あなたの足のちりをなめる。

その時、あなたは、わたしが主であることを知る。
わたしを待ち望む者は失望しない。」

24 力ある者から分捕り物を奪い返すことができる
だろうか。
正当に捕らえられた者を救い出すことができる
だろうか。

25 しかし、主はこう言われる。
「力ある者の捕虜さえ奪い返され、
横暴な者の分捕り物も取り戻される。

わたしは、あなたと争う者と争い、
あなたの子どもたちを救う。

26 わたしは、あなたを虐げる者たちに自
分の肉を食べさせる。
彼らは甘いぶどう酒に酔うように、自
分の血に酔う。

その時、すべての者は知る。
わたし、主があなたの救い主、
あなたを贖う方、ヤコブの力ある方であること
を。」

50

1 主はこう言われる。
「あなたがたの母を離縁した、その離縁状はどこに
あるのか。

わたしは債権者のだれにあなたがたを売ったの
か。

見よ、あなたがたは自分たちの咎のために売られ、

- あなたがたの背きのために、母は離縁された。
2 わたしが来た時、なぜだれもいなかったのか。
わたしが呼んだ時、なぜ答える者がいなかったのか。
わたしの手は、贖うことができないほど短くなったのか。
わたしには救い出す力がないのか。
見よ、わたしが叱ると海は干上がる。
わたしは川々を荒野とする。
水がないため、その魚は悪臭を放ち、
渇きのために死ぬ。
3 わたしは天を暗闇で覆い、
粗布をその覆いとする。」
- 4 主なる神は、教えを受けた者の舌を私に与え、
疲れた者を言葉で支えるすべを教えられた。
朝ごとに私を目覚めさせ、
教えを受ける者のように聞く耳を開かれる。
5 主なる神は私の耳を開かれた。
私は背かず、
後ろへ退かなかった。
6 私は打つ者たちに背を差し出し、
ひげを抜く者たちに頬を差し出した。
辱めとつばから顔を隠さなかった。
7 主なる神が私を助けてくださる。
それゆえ、私は辱められなかった。
それゆえ、私は顔を火打ち石のようにした。
私は失望しないと知っている。
8 私を義と認める方は近くにおられる。
だれが私を訴えるのか。
われわれはともに立とう。
私と争う者はだれか。
私のもとに近づけ。
9 見よ、主なる神が私を助けてくださる。

だれが私を罪に定めるのか。
見よ、彼らはみな衣のように古び、
蛾が彼らを食い尽くす。

10 あなたがたのうち、だれが主を恐れ、
そのしもべの声に聞き従うのか。
闇の中を歩み、
光を持たない者は、
主の御名に信頼し、
自分の神に頼れ。

11 見よ、火をたき、
自分の周りにたいまつを並べる者たちよ。
自分たちの火の炎の中を歩み、
自分たちがともしたたいまつの間を歩め。
わたしの手からあなたがたが受けるものはこれである。
あなたがたは苦しみの中に横たわる。

51

1 「義を追い求める者たち、
主を求める者たちよ、わたしに聞け。
あなたがたが切り出された岩と、
掘り出された石切り場に目を向けよ。

2 あなたがたの父アブラハムと、
あなたがたを産んだサラに目を向けよ。
彼がただ一人であった時、わたしは彼を呼び、
彼を祝福し、
彼を大いに増やした。

3 主はシオンを慰められた。
そのすべての荒れ地を慰め、
その荒野をエデンのように、
その砂漠を主の園のようにされた。
そこには喜びと楽しみ、
感謝と歌声が見いだされる。

- 4 わたしの民よ、わたしに聞け。
わたしの国民よ、わたしに耳を傾けよ。
律法がわたしから出て、
わたしは自分の公正を諸国の民の光として定める。
- 5 わたしの義は近い。
わたしの救いはすでに出て行き、
わたしの腕は諸国の民を裁く。
島々はわたしを待ち望み、
わたしの腕に信頼する。
- 6 目を天に上げ、
下の地を見よ。
天は煙のように消え去り、
地は衣のように古びる。
そこに住む者たちも同じように死ぬ。
しかし、わたしの救いは永遠に続き、
わたしの義は廃れることがない。
- 7 義を知る者たち、
心にわたしの律法を持つ民よ、わたしに聞け。
人のそしりを恐れず、
彼らの侮辱にうろたえてはならない。
- 8 蛾が彼らを衣のように食い、
虫が羊毛のように食い尽くすからだ。
しかし、わたしの義は永遠に続き、
わたしの救いは代々に及ぶ。」
- 9 目覚めよ、目覚めよ。
主の御腕よ、力をまといえ。
昔の日々、
遠い昔の代々のように目覚めよ。
ラハブを切り刻み、
怪物を刺し貫いたのは、あなたではなかったか。

- 10 海を干上がらせ、
大いなる淵の水を干上がらせ、
贖われた者たちが渡る道を海の深みに造ったの
は、あなたではなかったか。
- 11 主に贖われた者たちは帰って来て、
喜び歌いながらシオンに来る。
永遠の喜びがその頭上にある。
彼らは楽しみと喜びを得、
悲しみと嘆きは逃げ去る。
- 12 「わたしこそ、あなたがたを慰める者。
死ぬべき人を恐れ、
草のようになる人の子を恐れるとは、あなた
は何者なのか。
- 13 天を広げ、
地の基を据えた、
あなたを造られた主を忘れたのか。
滅ぼそうと備える虐げる者の激しい怒りのために、
一日中、絶えず恐れているのか。
虐げる者の激しい怒りはどこにあるのか。
- 14 捕らわれて流浪する者は、すぐに解放される。
彼は死んで穴に下ることがなく、
そのパンが尽きることもない。
- 15 わたしはあなたの神、主。
海をかき立て、その波をとどろかせる者。
その名は万軍の主である。
- 16 わたしは自分の言葉をあなたの口に置き、
御手の陰であなたを覆った。
天を植え、
地の基を据え、
シオンに『あなたはわたしの民』と言うため
である。」
- 17 目覚めよ、目覚めよ。

エルサレムよ、立ち上がれ。
あなたは主の御手から、その憤りの杯を飲んだ。

よろめきの杯、その大鉢を飲み、
飲み干した。

18 彼女が産んだすべての息子の中に、彼女を導く者はなく、
彼女が育てたすべての息子の中に、彼女の手を取る者もない。

19 この二つのことがあなたに起こった。
だれがあなたのために嘆くだろうか。

荒廃と滅び、
飢饉と剣である。
どうしてわたしはあなたを慰められるだろうか。

20 あなたの息子たちは気を失い、
網にかかったかもしかのように、
すべての通りの角に倒れている。

彼らは主の憤りと、
あなたの神の叱責に満たされている。

21 それゆえ今、苦しむ者よ、これを聞け。
ぶどう酒によらずに酔っている者よ。

22 あなたの主なる神、
ご自分の民の訴えを弁護するあなたの神は、こう言われる。

「見よ、わたしはあなたの手から、よろめきの杯、
わたしの憤りの杯の大鉢を取り上げた。
あなたはもう二度とそれを飲まない。

23 わたしはそれを、あなたを苦しめる者たちの手に渡す。

彼らはあなたに、『身をかがめよ。われわれが
その上を歩こう』と言った。

あなたは自分の背を地面のようにし、
人々が歩く通りのようにした。」

52

- 1 目覚めよ、目覚めよ。
シオンよ、あなたの力をまといえ。
聖なる都エルサレムよ、
美しい衣をまといえ。
無割礼の者と汚れた者は、
もはや二度とあなたの中に入らないからだ。
- 2 ちりを振り払え。
エルサレムよ、起き上がって座れ。
捕らわれたシオンの娘よ、
首の縄を解け。
- 3 主はこう言われる。
「あなたがたは代価なしに売られた。
それゆえ、金を払わずに贖われる。」
- 4 主なる神はこう言われる。
「初め、わたしの民は寄留するためにエジプト
へ下って行った。
その後、アッシリア人が理由もなく彼らを虐げ
た。
- 5 それゆえ今、ここでわたしはどうすべき
か」と主は言われる。
「わたしの民は代価もなく連れ去られている。
彼らを支配する者たちはあざけり、
わたしの名は一日中、絶えず冒瀆されてい
る」と主は言われる。
- 6 「それゆえ、わたしの民はわたしの名を知る。
それゆえ、その日、彼らは知る。
語っているのはわたしであることを。

見よ、わたしである。」

- 7 良い知らせを伝え、
平和を告げ知らせ、
良い知らせを伝え、
救いを告げ知らせ、
シオンに「あなたの神は王である」と言う者の足は、
山々の上でなんと美しいことか。
- 8 あなたの見張りたちは声を上げ、
ともに喜び歌う。
主がシオンに帰られる時、
彼らはそれを目の当たりに見るからだ。
- 9 エルサレムの荒れ果てた場所よ、
喜びの声を上げ、ともに歌え。
主がご自分の民を慰め、
エルサレムを贖われたからだ。
- 10 主はすべての国々の目の前で、
ご自分の聖なる御腕をあらわにされた。
地のすべての果ては、
われわれの神の救いを見る。
- 11 去れ。去れ。
そこから出よ。
汚れたものに触れてはならない。
彼女の中から出よ。
主の器を担う者たちよ、身を清めよ。
- 12 あなたがたは急いで出ることも、
逃げるように去ることもない。
主があなたがたの前を進み、
イスラエルの神があなたがたのしんがりとなるからだ。
- 13 見よ、わたしのしもべは賢く行動する。

彼は高く上げられ、引き上げられ、
非常に高くされる。

14 多くの者があなたを見て驚いたように、
その姿は人とは思えないほど損なわれ、
その形も、人の子らのものとは思えないほ
ど損なわれていた。

15 そのように、彼は多くの国々をきよめる。＊
王たちは彼の前で口を閉ざす。

彼らは、自分たちに告げられていなかったこと
を見、
聞いたことのなかったことを悟るからだ。

53

1 だれがわれわれの知らせを信じたのか。
主の御腕はだれに現されたのか。

2 彼は主の前で若木のように、
乾いた地から出る根のように育った。
彼には人目を引く姿も威厳もなく、
われわれが見ても、慕うような美しさはなかつ
た。

3 彼はさげすまれ、
人々から拒まれた。

苦しみの人で、
病をよく知っていた。
人々が顔を背ける者のようにさげすまれ、
われわれも彼を重んじなかった。

4 まことに、彼はわれわれの病を負い、
われわれの苦しみを担った。
それなのに、われわれは彼が災いを受け、
神に打たれ、苦しめられたのだと考えた。

＊ 52:15 52:15 または「振りかける」

- 5 しかし、彼はわれわれの背きのために刺し貫かれ、
われわれの咎のために打ち碎かれた。
われわれに平和をもたらず懲らしめが彼の上にある、
その傷によって、われわれは癒やされた。
- 6 われわれはみな羊のように迷い、
それぞれ自分の道へ向かった。
しかし主は、われわれすべての咎を彼に負わせた。
- 7 彼は虐げられ、
苦しめられても口を開かなかった。
ほふり場に引かれて行く子羊のように、
毛を刈る者の前で黙っている羊のように、
彼は口を開かなかった。
- 8 彼は虐げと裁きによって取り去られた。
彼の世代について、だれが考へただろうか。
彼が生ける者の地から断たれ、
わたしの民の背きのために打たれたことを。
- 9 彼の墓は悪人たちとともに定められ、
死んだ時には富む者とともにされた。
彼は暴力を行わず、
その口には偽りもなかったのに。
- 10 しかし、彼を打ち碎き、
苦しめることは主の御心であつた。
その命が罪のためのささげ物となるなら、
彼は子孫を見る。
彼はその日々を長くし、
主の御心は彼の手によって成し遂げられる。
- 11 彼は苦しみの果てに、

光を見て*満ち足りる。
 わたしの義なるしもべは、自らの知識によって多くの者を義と認め、
 彼らの咎を負う。
 12 それゆえ、わたしは偉大な者たちとともに
 に彼に分け前を与える。
 彼は強い者たちと分捕り物を分け合う。
 彼が自分の命を死に至るまで注ぎ出し、
 背く者たちの一人に数えられたからだ。
 それでも彼は多くの者の罪を負い、
 背く者たちのために執り成した。

54

- 1 「子を産まなかった不妊の女よ、歌え。
 産みの苦しみを味わわなかった女よ、
 喜び歌い、声を上げよ。
 夫のある女の子どもより、見捨てられ
 た女の子どものほうが多くなるから
 だ」と主は言われる。
- 2 「あなたの天幕の場所を広げ、
 住まいの幕を広く張れ。
 惜しんではならない。綱を長くし、杭を強くせよ。
- 3 あなたは右にも左にも広がり、
 あなたの子孫は国々を所有し、
 荒れ果てた町々に人を住まわせるからだ。
- 4 恐れてはならない。あなたは恥を受けないから
 だ。
 うろたえてはならない。あなたは失望しないから
 だ。
 あなたは若い時の恥を忘れ、

* 53:11 53:11 死海文書と七十人訳はこのように読む。マソラ本文には「光」がない。

やもめであった時の辱めを、もう思い出さない。

5 あなたを造られた方はあなたの夫。

その名は万軍の主。

イスラエルの聖なる方は、あなたを贖う方。

全地の神と呼ばれる。

6 主はあなたを、捨てられて心を悲しませた妻、
若い時に妻となったのに捨てられた女のように
呼び戻された」と、あなたの神は言われる。

7 「ほんのわずかな間、わたしはあなたを見捨てたが、

大いなるあわれみをもって、あなたを集める。

8 怒りがあふれた時、ほんの一瞬、わたしはあなたから顔を隠した。

しかし、永遠の慈しみをもって、あなたをあわれむ」と、あなたを贖う方である主は言われる。

9 「これはわたしにとって、ノアの洪水の時のようなものだ。

ノアの洪水が二度と地を覆わないと誓ったように、

わたしはあなたに怒らず、あなたを叱らないと誓った。

10 山々が去り、
丘々が移っても、

わたしの慈しみはあなたから去らず、

わたしの平和の契約は動かされない」と、

あなたをあわれむ主は言われる。

11 「苦しめられ、嵐にもまれ、慰められなかった女よ。

- 見よ、わたしは美しい色であなたの石を据え、
サファイアであなたの基を置く。
- 12 わたしはあなたの小塔をルビーで、
門を輝く宝石で造り、
城壁をすべて宝石で造る。
- 13 あなたの子どもたちはみな主に教えられ、
あなたの子どもたちの平和は大きい。
- 14 あなたは義によって堅く立てられる。
虐げから遠く離れ、
恐れることはない。
恐怖からも遠く離れ、
それがあなたに近づくことはない。
- 15 見よ、彼らが集まっても、それはわたしによるの
ではない。
あなたに敵対して集まる者は、あなたのゆえ
に倒れる。
- 16 見よ、炭火をあおって炎を起こし、
自分の仕事のために武器を造る鍛冶屋を創造し
たのは、わたしである。
滅ぼすために破壊する者を創造したのも、わた
しである。
- 17 あなたに向かって造られるどの武器も勝つことは
ない。
裁きの場であなたに逆らって立つすべて
の舌を、あなたは罪に定める。
これが主のしもべたちの受け継ぐもの。
彼らの義はわたしから出る」と主は言われる。

55

- 1 「さあ、渴いている者はみな、水のところに来な
さい。
金のない者も来て、買って食べなさい。

さあ、金も代価も払わずに、ぶどう酒と乳を買いなさい。

2 なぜ、パンでないもののために金を払い、満たすことのできないもののために働くのか。わたしによく聞き従い、良いものを食べよ。豊かなもので、あなたがたの心を喜ばせよ。

3 耳を傾けて、わたしのもとに来なさい。聞け。そうすれば、あなたがたは生きる。わたしはあなたがたと永遠の契約を結び、ダビデへの確かな慈しみを与える。

4 見よ、わたしは彼を諸国の民への証人、諸国の民の指導者、司令官として立てた。

5 見よ、あなたは自分の知らない国を呼び、あなたを知らなかった国が、あなたのもとへ走って来る。あなたの神、主のゆえに、イスラエルの聖なる方のゆえに。主があなたに栄光を与えられたからだ。」

6 主を見いだすことのできる間に、主を求めよ。主が近くにおられる間に、呼び求めよ。

7 悪人は自分の道を捨て、不義を行う者は自分の思いを捨てよ。主に立ち返れ。そうすれば、主は彼をあわれんでくださる。われわれの神に立ち返れ。神は豊かに赦してくださるからだ。

8 「わたしの思いは、あなたがたの思いとは異なり、あなたがたの道は、わたしの道とは異なる」と主は言われる。

9 「天が地より高いように、わたしの道はあなたがたの道より高く、

- わたしの思いはあなたがたの思いより高い。
- 10 雨や雪が天から降り、
そこへ戻らず、地を潤し、
芽を出させ、実らせ、
種をまく者には種を、食べる者にはパンを与えるように、
- 11 わたしの口から出るわたしの言葉も、そのようである。
むなしくわたしのもとの戻ることはなく、
わたしの望むことを成し遂げ、
わたしが送り出した目的を果たす。
- 12 あなたがたは喜びをもって出て行き、
平和のうちに導き出される。
山々と丘々は、あなたがたの前で喜び歌い、
野のすべての木々は手を打ち鳴らす。
- 13 いばらの代わりに糸杉が生え、
茨の代わりにミルトスが生える。
それは主の名声となり、
断ち切られることのない永遠のしるしとなる。」

56

- 1 主はこう言われる。
「公正を守り、
正しいことを行え。
わたしの救いは近く、
わたしの義はまもなく現されるからだ。」
- 2 これを行う人、
これを堅く守る人の子は幸いである。
安息日を汚さずに守り、
その手をどんな悪からも守る者は幸いである。」
- 3 主に加わった外国人は、

「主は必ず私をその民から引き離す」と言ってはならない。
宦官も、「見よ、私は枯れた木だ」と言ってはならない。

- 4 主はこう言われる。「わたしの安息日を守り、
わたしの喜ぶことを選び、
わたしの契約を堅く守る宦官たちに、
5 わたしは自分の家と城壁の内に、
息子や娘にまさる記念と名を与える。
断ち切られることのない永遠の名を彼らに与える。
- 6 また、主に加わって主に仕え、
主の御名を愛し、
そのしもべとなる外国人、
安息日を汚さずに守り、
わたしの契約を堅く守るすべての者を、
7 わたしの聖なる山に連れて来て、
わたしの祈りの家で喜ばせる。
彼らの全焼のささげ物といけにえは、
わたしの祭壇の上で受け入れられる。
わたしの家は、すべての民の祈りの家と呼ばれるからだ。」
- 8 イスラエルから追い散らされた者たちを集める主なる神は言われる。
「すでに彼のもとに集められた者たちに加えて、
わたしはさらにほかの者たちを彼のもとに集める。」
- 9 野のすべての獣よ、
森のすべての獣よ、
食い尽くしに来い。

- 10 イスラエルの見張りたちは目が見えず、
みな知識がない。
彼らはみな、ほえることのできない、
口のきけない犬だ。
夢を見て横たわり、まどろむことを好む。
- 11 しかも、その犬たちは貪欲で、
決して満足することがない。
彼らは悟ることのできない羊飼いたちだ。
みな自分の道へ向かい、
一人残らず自分の利益を求めている。
- 12 彼らは言う。「さあ、私はぶどう酒を持って来よう。
われわれは濃い酒を存分に飲もう。
明日も今日と同じで、
しかも、さらに大いなる日となる。」

57

- 1 義人が滅びても、
だれもそれを心に留めない。
慈しみ深い人々が取り去られても、
義人が災いを免れるために取り去られること
を、だれも考えない。
- 2 彼は平和のうちに入る。
正しく歩む者はそれぞれ、
自分の床で安らぐ。
- 3 「しかし、魔術を行う女の息子たちよ、
姦淫する者と遊女の子孫よ、ここに近づけ。
- 4 あなたがたはだれをあざけっているのか。
だれに向かって大きく口を開き、
舌を突き出しているのか。
あなたがたは背きの子ども、
偽りの子孫ではないか。
- 5 あなたがたは樅の木々の間、

すべての青々とした木の下で欲情に身を燃やし、

谷で、

岩の裂け目の下で子どもたちを殺している。

6 谷の滑らかな石の中に、あなたの受ける分がある。

それらこそ、あなたの割り当てである。

あなたはそれらに飲み物のささげ物を注ぎ、

ささげ物をささげた。

わたしはこれらのことで心を和らげるだろうか。

7 あなたは高くそびえる山の上に床を置き、
そこにも上って行って、いけにえをささげた。

8 あなたは扉と柱の後ろに、自分の記念のしるし
を置いた。

あなたはわたし以外の者に自分をさらし、
上って行ったからだ。

あなたは自分の床を広げ、

彼らと契約を結んだ。

あなたは彼らの床を見て、それを愛した。

9 あなたは油を携えて王のもとへ行き、

香料を増し加え、

使者たちを遠くへ送り、

自分をよみ*にまで低くした。

10 あなたは長い旅路に疲れ果てても、

『むなしい』とは言わなかった。

あなたは力を取り戻した。

それゆえ、弱り果てなかった。

11 「あなたはだれを恐れ、おびえたので、
偽りを語り、

* 57:9 57:9 よみ（シェオル）は死者の場所である。

- わたしを思い出さず、心にも留めなかったのか。
わたしが長い間、黙っていたので、
あなたはわたしを恐れないのではないか。
- 12 わたしはあなたの義を明らかにする。
しかし、あなたの行いはあなたの役に立たない。
- 13 あなたが叫ぶ時、
あなたが集めた者たちに救ってもらえ。
しかし、風が彼らを運び去り、
一息ですべてを吹き払う。
しかし、わたしに身を避ける者は地を所有し、
わたしの聖なる山を受け継ぐ。」
- 14 人は言う。「築け、築け。道を備えよ。
わたしの民の道から、つまずきとなるものを
を取り除け。」
- 15 高くそびえ、永遠に住まいとし、
その名を「聖」と呼ばれる方は、こう言われる。
「わたしは高く聖なる場所に住み、心碎かれ、へり
くだった者とともにいる。
へりくだった者の霊を生き返らせ、
心碎かれた者の心を生き返らせる。
- 16 わたしは永遠に争うことも、いつまでも怒ることも
しない。
そうでなければ、霊はわたしの前で弱り果て、
わたしが造った命も弱り果てるからだ。
- 17 彼の貪欲という咎のために、わたしは怒って
彼を打った。
わたしは身を隠して怒ったが、
彼は心の道に従って背き続けた。
- 18 わたしは彼の道を見たが、彼を癒やす。
わたしは彼を導き、

彼と、彼のために嘆く者たちに慰めを回復する。

- 19 わたしは唇の実を創造する。
遠くにいる者にも、近くにいる者にも、平和あれ。平和あれ」と主は言われる。
「わたしは彼らを癒やす。」
- 20 しかし、悪人は静まることのできない荒れ狂う海のような。
その水は泥と汚れを巻き上げる。
- 21 私の神は言われる。
「悪人には平和がない。」

58

- 1 「声を限りに叫べ。控えてはならない。
角笛のように声を上げよ。
わたしの民にその背きを、
ヤコブの家にその罪を告げよ。
- 2 それでも彼らは日々わたしを求め、
わたしの道を知ることを喜んでいる。
義を行い、
自分たちの神の定めを捨てなかった国のように、
彼らはわたしに正しい裁きを求め、
神に近づくことを喜んでいる。
- 3 彼らは言う。『なぜ私たちは断食したのに、あなたは見てくださらないのですか。
なぜ自分を苦しめたのに、あなたは気づいてくださらないのですか。』
- 「見よ、あなたがたは断食の日にも自分の楽しみを求め、
労働者をみな虐げている。
- 4 見よ、あなたがたは争いと口論のために断食し、
悪意のこぶしで打つために断食している。

- 今日のような断食では、あなたがた
の聲は高い所に届かない。
- 5 これが、わたしの選んだ断食なのか。
人が自分を苦しめる日なのか。
葦のように頭を垂れ、
粗布と灰を自分の下に敷くことなのか。
あなたはこれを断食、
主に受け入れられる日と呼ぶのか。
- 6 「わたしが選んだ断食は、これではないか。
悪の鎖を解き、
くびきの縄をほどき、
虐げられている者たちを自由にし、
すべてのくびきを打ち壊すことではないか。
- 7 あなたのパンを飢えた者に分け与え、
家を追われた貧しい者たちを迎え入れることでは
ないか。
裸の者を見たなら、
その人を覆い、
自分の肉親から身を隠さないことではないか。
- 8 その時、あなたの光は朝日のように差し出て、
あなたの癒やしは速やかに現れる。
あなたの義はあなたの前を進み、
主の栄光があなたのしんがりとなる。
- 9 その時、あなたが呼べば、主は答えられる。
あなたが助けを叫び求めれば、主は『ここにい
る』と言われる。
- 「もし、あなたが自分の中からくびきを取り除き、
指をさすことと、
悪を語ることをやめ、
- 10 飢えた者のために自分を差し出し、
苦しむ者を満ち足らせるなら、

あなたの光は闇の中から昇り、
あなたの暗がりは真昼のようになる。

11 主は絶えずあなたを導き、
乾ききった場所でもあなたを満ち足らせ、
あなたの骨を強くされる。
あなたは潤された園のように、
水の絶えることのない
泉のようになる。

12 あなたから出た者たちは、昔の荒れ果てた場所を建て直す。
あなたは代々の基を立て直す。
あなたは『城壁の破れを修復する者』、
『人が住むための道を回復する者』と呼ばれる。

13 「もし、あなたが安息日に自分の足を引き止め、
わたしの聖なる日に自分の楽しみを行わず、
安息日を喜びの日と呼び、
主の聖なる日を尊いものと呼び、
それを尊び、
自分の道を行わず、
自分の楽しみを求めず、
自分の言葉を語らないなら、

14 あなたは主にあつて喜ぶ。
わたしはあなたを地の高い所へ進ませ、
あなたの父ヤコブの相続財産であなたを養う。」
主の口がこれを語った。

59

1 見よ、主の御手は救えないほど短くなく、
その耳は聞こえないほど鈍くない。

2 しかし、あなたがたの咎が、あなたがたと、あなたがたの神との間を隔て、

- あなたがたの罪が御顔を隠したので、
主は聞こうとされない。
- 3 あなたがたの手は血で汚れ、
指は咎で汚れている。
あなたがたの唇は偽りを語り、
舌は悪をつぶやく。
- 4 義をもって訴える者はなく、
真実をもって弁護する者もない。
彼らはむなしいものに信頼し、
偽りを語る。
災いを身ごもり、
咎を産む。
- 5 彼らはまむしの卵をかえし、
蜘蛛の巣を織る。
その卵を食べる者は死に、
卵がつぶされると、まむしが出て来る。
- 6 その巣が衣になることはなく、
彼らは自分の行いで身を覆うこともできない。
彼らの行いは咎の行いであり、
その手には暴力の業がある。
- 7 彼らの足は悪へ走り、
罪のない者の血を流そうと急ぐ。
彼らの思いは咎の思い。
荒廃と滅びがその道にある。
- 8 彼らは平和の道を知らず、
その道筋には公正がない。
彼らは自分のために曲がった道を造った。
そこを歩む者はだれも平和を知らない。
- 9 それゆえ、公正はわれわれから遠く、
義はわれわれに追いつかない。
われわれは光を待ち望むが、見よ、闇があり、
輝きを待ち望むが、暗がりの中を歩く。

- 10 われわれは目の見えない者のように壁を手探りし、
目のない者のように手探りする。
真昼でも夕暮れのようにつまずき、
力ある者たちの間で、死者のようになっている。
- 11 われわれはみな熊のようになり、
鳩のように悲しげにうめく。
公正を待ち望むが、それはなく、
救いを待ち望むが、われわれから遠く離れている。
- 12 われわれの背きは御前で増し加わり、
われわれの罪はわれわれに不利な証言をする。
われわれの背きはわれわれとともにあり、
われわれは自分たちの咎を知っている。
- 13 主に背き、主を否み、
われわれの神に従うことから離れ、
虐げと反逆を語り、
心に偽りの言葉を思い描いて口にする。
- 14 公正は後ろへ退けられ、
義は遠く離れて立っている。
真実は通りで倒れ、
正直は入ることができない。
- 15 まことに、真実は失われ、
悪を離れる者が獲物とされる。
- 主はこれを見られ、
公正がないことを良いとされなかった。
- 16 主は人がいないのを見て、
執り成す者がいないことに驚かれた。
それゆえ、ご自分の御腕が救いをもたらし、
ご自分の義が主を支えた。
- 17 主は義を胸当てのように身に着け、

救いのかぶとを頭にかぶられた。
復讐の衣をまとい、
熱意を外套のように身にまとわれた。
18 彼らの行いに応じて、
主はふさわしく報いる。
敵対する者たちには憤りを、
敵には報いを与え、
島々にもその受けるべきものを返す。
19 人々は西から主の御名を恐れ、
日の昇る所からその栄光を恐れる。
主は押し寄せる川のように来られ、
主の息がそれを駆り立てるからだ。

20 「贖う方がシオンに来る。
ヤコブの中で背きから立ち返る者たちのもと
に来る」と、主は言われる。
21 主は言われる。「わたしは、これを彼らと結ぶ
わたしの契約とする。あなたの上にあるわたしの
霊と、わたしがあなたの口に置いたわたしの言
葉は、あなたの口からも、あなたの子孫の口から
も、あなたの子孫の子孫の口からも離れな
い」と主は言われる。「今から永遠に。」

60

1 「起きよ。光を放て。あなたの光が来たからだ。
主の栄光があなたの上に昇った。
2 見よ、闇が地を覆い、
濃い闇が諸国の民を覆う。
しかし、主はあなたの上に昇られ、
その栄光があなたの上に現れる。
3 国々はあなたの光のもとに来て、
王たちはあなたの昇る輝きのもとに来る。
4 「目を上げて周囲を見よ。

- 彼らはみな集まり、
あなたのもとに来る。
あなたの息子たちは遠くから来て、
あなたの娘たちは腕に抱かれて来る。
- 5 その時、あなたは見て輝き、
あなたの胸は高鳴り、心は広くなる。
海の豊かさがあなたのもとに移され、
国々の富があなたのもとに来るからだ。
- 6 らくだの大群があなたを覆う。
ミディアンとエパのヒトゴブラクダも。
シェバからの者たちはみな来る。
彼らは金と乳香を携え、
主への賛美を告げ知らせる。
- 7 ケダルのすべての羊の群れがあなたのもとに集められ、
ネバヨテの雄羊があなたに仕える。
それらはわたしの祭壇に受け入れられるささげ物となり、
わたしは栄光あるわたしの家を美しくする。
- 8 「雲のように飛び、
鳩が自分の窓へ飛ぶように来る、この者たちはだれか。
- 9 まことに、島々はわたしを待ち望み、
タルシシュの船々が先頭に立つ。
あなたの息子たちを遠くから、
彼らの銀と金とともに連れて来るためである。
あなたの神、主の御名のため、
イスラエルの聖なる方のためである。
その方があなたに栄光を与えたからだ。
- 10 「外国人たちはあなたの城壁を建て直し、
彼らの王たちはあなたに仕える。
わたしは怒りによってあなたを打ったが、

- 恵みをもってあなたをあわれんだからだ。
- 11 あなたの門は絶えず開かれ、昼も夜も閉じられない。国々の富があなたのもとへ運ばれ、その王たちが連れられて来るためである。
- 12 あなたに仕えない国と王国は滅び、その国々は完全に荒れ果てる。
- 13 「レバノンの栄光、すなわち糸杉、松、つげの木が、ともにあなたのもとに来る。わたしの聖所の場所を美しくし、わたしの足を置く場所に栄光を与える。
- 14 あなたを苦しめた者たちの息子は、身をかがめてあなたのもとに来る。
あなたをさげすんだ者たちはみな、あなたの足の裏にひれ伏す。
彼らはあなたを『主の都』、
『イスラエルの聖なる方のシオン』と呼ぶ。
- 15 「あなたは見捨てられ、憎まれ、
だれも通る者がいなかったが、
わたしはあなたを永遠の誇り、
代々にわたる喜びとする。
- 16 あなたは国々の乳を飲み、王たちの乳房から乳を飲む。
その時、あなたは知る。
わたし、主があなたの救い主、
あなたを贖う方、
ヤコブの力ある方であることを。
- 17 青銅の代わりに金を持って来る。
鉄の代わりに銀を、
木の代わりに青銅を、
石の代わりに鉄を持って来る。
また、わたしは平和をあなたの監督者とし、

- 義をあなたの支配者とする。
- 18 あなたの地では、もはや暴力が聞かれず、
 国境の内では、荒廃も滅びも聞かれない。
 あなたは自分の城壁を『救い』と呼び、
 門を『賛美』と呼ぶ。
- 19 昼には、太陽がもはやあなたの光とはならず、
 月の輝きもあなたを照らさない。
 主があなたの永遠の光となり、
 あなたの神があなたの栄光となられる。
- 20 あなたの太陽はもはや沈まず、
 あなたの月も姿を隠さない。
 主があなたの永遠の光となり、
 あなたの嘆きの日々は終わるからだ。
- 21 その時、あなたの民はみな義人となり、
 永遠に地を受け継ぐ。
 彼らはわたしが植えた若枝、
 わたしの手の業であり、
 わたしが栄光を現すためのものである。
- 22 小さな者は千人となり、
 最も小さい者は強い国となる。
 わたし、主が、その時が来れば速やかにこれ
 を行う。」

61

- 1 主なる神の霊が私の上にある。
 主は私に油を注ぎ、へりくだった者たち
 に良い知らせを伝えさせた。
 主は私を遣わして、心の打ち砕かれた者を癒やし、
 捕らわれ人に自由を、
 縛られている者に解放を告げさせ、*
- 2 主の恵みの年と、

* 61:1 61:1 七十人訳と死海文書は「目の見えない者に視力の回復を」を加えている。

- われわれの神の復讐の日を告げ、
嘆くすべての者を慰め、
- 3 シオンで嘆く者たちのために備え、
灰の代わりに花冠を、
嘆きの代わりに喜びの油を、
重く沈んだ霊の代わりに賛美の衣を与えさせた。
- 彼らは義の木々、
主が植えたもの、
その栄光を現すためのものと呼ばれる。
- 4 彼らは昔の廃墟を建て直し、
以前に荒れ果てた場所を復興する。
代々にわたって荒れ果てていた町々を、
修復する。
- 5 よそ者たちは立って、あなたがたの羊の群れ
を養い、
外国人はあなたがたの畑とぶどう畑で働く。
- 6 しかし、あなたがたは主の祭司と呼ばれ、
人々はあなたがたを、われわれの神に仕える者と呼ぶ。
- あなたがたは国々の富を食べ、
彼らの栄光を誇る。
- 7 あなたがたは恥の代わりに二倍のものを受ける。
辱めの代わりに、彼らは自分たちの受ける分を喜ぶ。
- それゆえ、彼らは自分たちの地で二倍のものを所有し、
永遠の喜びを得る。
- 8 「わたし、主は公正を愛し、
強奪と不義を憎む。
わたしは真実をもって彼らに報いを与え、
彼らと永遠の契約を結ぶ。

9 彼らの子孫は国々の間で知られ、
その子らは諸国の民の間で知られる。
彼らを見る者はみな、
彼らが主に祝福された子孫であることを認める。」

10 私は主にあって大いに喜ぶ。
私は私の神にあって喜び躍る。
主が私に救いの衣を着せ、
義の上着で覆ってくださった。
花婿が花冠で身を飾るように、
花嫁が宝石で身を飾るように。
11 地が芽を出し、
園がそこにまかれた種を芽生えさせるように、
主なる神は、すべての国々の前に義と賛美を芽
生えさせられる。

62

1 シオンのために、私は黙っていない。
エルサレムのために、私は休まない。
その義が夜明けの光のように輝き出し、
その救いが燃えるたいまつのようになるまで
は。
2 国々はあなたの義を見、
すべての王はあなたの栄光を見る。
あなたは新しい名で呼ばれる。
主の口がその名を定める。
3 あなたは主の御手にある美しい冠、
あなたの神の御手にある王の冠となる。
4 あなたはもはや「見捨てられた女」と呼ばれず、
あなたの地も、もはや「荒れ果てた地」と呼ば
れない。

あなたは「ヘフツィバ」*と呼ばれ、
あなたの地は「ベウラ」†と呼ばれる。
主があなたを喜ばれ、
あなたの地は「めとられた地」となるからだ。

5 若者が処女をめとるように、
あなたの子らはあなたと固く結ばれる。
花婿が花嫁を喜ぶように、
あなたの神はあなたを喜ばれる。

6 エルサレムよ、わたしはあなたの城壁の上に見
張りを置いた。
彼らは昼も夜も決して黙らない。

主に呼びかける者たちよ、休んではならない。

7 主がエルサレムを堅く立て、
地上で賛美されるものとされるまで、主を休ま
せてはならない。

8 主はその右手と、
力ある御腕にかけて誓われた。
「わたしは二度と、あなたの穀物を敵の食物とし
て与えない。
外国人が、あなたの労苦による新しいぶど
う酒を飲むこともない。

9 それを刈り入れた者たちが食べて、主をほめたた
え、
それを集めた者たちが、わたしの聖
所の庭で飲む。」

10 門を通れ。通れ。
民の道を備えよ。
大路を築け。築け。

* 62:4 62:4 「ヘフツィバ」は「わたしの喜びは彼女にある」という意味である。

† 62:4 62:4 「ベウラ」は「結婚した」という意味である。

- 石を取り除け。
諸国の民のために旗を掲げよ。
11 見よ、主は地の果てにまで告げられた。
「シオンの娘に言え。
『見よ、あなたの救いが来る。
見よ、その報いは主とともにあり、
その報酬は御前にある。』」
12 彼らは「聖なる民、
主に贖われた者たち」と呼ばれる。
あなたは「尋ね求められる者、
見捨てられない町」と呼ばれる。

63

- 1 エドムから来るこの者はだれか。
ボツラから赤く染まった衣を着て来るこ
の者は。
輝かしい衣をまとい、
大いなる力をもって進むこの者はだれか。
「義をもって語り、
救う力に富むわたしである。」
2 なぜ、あなたの衣は赤く、
あなたの衣服はぶどう搾り場を踏む者のよう
なのか。
3 「わたしは一人でぶどう搾り場を踏んだ。
諸国の民の中から、だれもわたしとともにい
なかった。
わたしは怒りをもって彼らを踏み、
憤りをもって彼らを踏みにじった。
彼らの血はわたしの衣に飛び散り、
わたしは衣服をすべて汚した。
4 復讐の日がわたしの心に入り、
わたしに贖われた者たちの年が来たからだ。
5 わたしは見回したが、助ける者はなく、

支える者がいないことに驚いた。
それゆえ、わたし自身の腕がわたしに救いをもたら
し、

わたし自身の憤りがわたしを支えた。
6 わたしは怒りをもって諸国の民を踏みつけ、
憤りをもって彼らを酔わせ、
その血を地に流した。」

7 私は主の慈しみと、
主への賛美を語ろう。
主がわれわれに与えてくださったすべてのこと
に応じて。

主がイスラエル家に与えられた大いなる恵みを、
そのあわれみと、
豊かな慈しみに応じて語ろう。

8 主は言われた。「まことに、彼らはわたしの民、
偽りを行わない子どもたちである。」
こうして主は彼らの救い主となられた。

9 彼らのすべての苦しみにおいて、主も苦しみ、
御前の使いが彼らを救った。

主は愛とあわれみによって彼らを贖い、
彼らを担い、
昔の日々の間ずっと運ばれた。

10 しかし、彼らは背き、
主の霊を悲しませた。
それゆえ、主は彼らの敵となり、
ご自身で彼らと戦われた。

11 その時、主は昔の日々、モーセとそ
の民を思い出された。
そして言った。
「ご自分の群れの牧者たちとともに彼らを海か
ら引き上げられた方はどこにおられるのか。」

彼らのただ中にご自分の霊を置かれた方はどこにおられるのか。」

12 ご自分の栄光ある御腕をモーセの右手に伴わせ、ご自分のために永遠の名を得ようと、彼らの前で水を分けられた方はどこにおられるのか。

13 深みを通して彼らを導き、荒野に行く馬のように、彼らをつまずかせなかった方はどこにおられるのか。

14 家畜が谷に下って行く時のように、主の霊は彼らを休ませた。
このように、あなたはご自分の民を導き、ご自分のために栄光ある名を得られた。

15 天から見下ろし、あなたの聖なる栄光の住まいからご覧ください。
あなたの熱意と力ある御業はどこにあるのか。
あなたの深い思いとあわれみは、私に向けられずにいる。

16 まことに、あなたはわれわれの父。
アブラハムがわれわれを知らず、
イスラエルがわれわれを認めなくても。
主よ、あなたはわれわれの父。
「永遠からわれわれを贖う方」が、あなたの名。

17 主よ、なぜあなたはわれわれをあなたの道から迷わせ、
われわれの心をかたくなにして、あなたを恐れないようにされるのか。
あなたのしもべたちのため、
あなたの相続財産である諸部族のために、帰って来てください。

- 18 あなたの聖なる民がその地を所有したのは、ほんのわずかな間だった。
われわれの敵対者たちは、あなたの聖所を踏み
にじった。
- 19 われわれは、あなたが一度も治められなかつた者たち、
あなたの名で呼ばれなかった者たちのようにな
った。

64

- 1 ああ、あなたが天を裂いて、
下って来てくださいますように。
山々があなたの御前で震えますように。
- 2 火が柴に燃えつき、
火が水を沸き立たせる時のように。
あなたの名を敵対する者たちに知らせ、
国々があなたの御前で震えるようにしてくださ
い。
- 3 われわれが予想もしなかった恐るべきことを行わ
れた時、
あなたは下って来られ、山々はあなたの御
前で震えた。
- 4 昔から、人は聞いたことも、
耳で聞き知ったこともなく、
あなたのほかに、待ち望む者のために働かれ
る神を、
目で見た者もない。
- 5 あなたは、喜んで義を行い、
あなたの道であなたを覚える者を迎えられる。
見よ、あなたは怒られ、われわれは罪を犯した。
われわれは長い間、罪の中にいた。
それでも救われるだろうか。
- 6 われわれはみな、汚れた者のようになり、
われわれの義はすべて、汚れた衣のようだ。

- われわれはみな葉のようにしおれ、
われわれの咎は風のように、われわれ
を運び去る。
- 7 あなたの御名を呼び求める者も、
奮い立ってあなたにすがる者もない。
あなたはわれわれから御顔を隠し、
われわれの咎の力に、われわれを委ねられた。
- 8 しかし今、主よ、あなたはわれわれの父。
われわれは粘土で、あなたはわれわれの陶器
師。
われわれはみな、あなたの御手の業。
- 9 主よ、激しく怒らないでください。
いつまでも咎を覚えていないでください。
どうか目を留めて、ご覧ください。
われわれはみな、あなたの民。
- 10 あなたの聖なる町々は荒野となった。
シオンは荒野となり、
エルサレムは荒れ果てた。
- 11 われわれの父祖たちがあなたをほめたたえた、
われわれの聖なる美しい宮は火で焼かれた。
われわれの慕っていた場所は、すべて荒れ果て
た。
- 12 主よ、これらのことがあっても、なお身を抑えて
おられるのか。
黙ったまま、われわれをこれほど激しく苦しめ
られるのか。

65

- 1 「わたしを求めなかった者たちが、わたし
を尋ね求めた。
わたしを捜さなかった者たちが、わたしを見い
だした。

- わたしの名で呼ばれなかった国民に、『わたしを見よ。わたしを見よ』と言った。
- 2 わたしは一日中、背く民に向かって両手を広げていた。
- 彼らは良くない道を、
自分たちの思いに従って歩む。
- 3 彼らは絶えず、わたしの面前でわたしを怒らせ、
園でいけにえをささげ、
れんがの上で香をたく。
- 4 墓の間に座り、
隠れた場所で夜を過ごし、
豚の肉を食べ、
器の中には忌まわしいものの汁がある。
- 5 彼らは言う。『自分の所にいろ。
私に近づくな。
私はあなたより聖いからだ。』
この者たちは、わたしの鼻に入る煙、
一日中燃え続ける火である。
- 6 「見よ、それはわたしの前に書き記されている。
わたしは黙っていない。
必ず報いる。
まことに、彼らの懷に報いる。
- 7 あなたがた自身の咎と、あなたがたの父祖たちの咎をともに報いる」と主は言われる。
「彼らは山々で香をたき、
丘々でわたしを冒瀆した。
それゆえ、わたしはまず彼らの行いの報いを、その懷に量り返す。」
- 8 主はこう言われる。
「ぶどうの房の中に新しいぶどう酒が見つかり、
人が『それを滅ぼすな。その中に祝福がある』と言うように、

わたしはしもべたちのために同じようにし、
彼らをすべて滅ぼすことはしない。

9 わたしはヤコブから子孫を、
ユダからわたしの山々を受け継ぐ者を出す。

わたしの選んだ者たちがそれを受け継ぎ、
わたしのしもべたちがそこに住む。

10 わたしを求めたわたしの民のために、
シャロンは羊の群れの囲いとなり、
アコルの谷は牛の群れが伏す場所となる。

11 「しかし、主を捨て、
わたしの聖なる山を忘れ、
「幸運」のために食卓を整え、
「運命」のために混ぜた酒を満たすあなたがたを、

12 わたしは剣に定める。
あなたがたはみな、ほふられるために身をかか
める。

わたしが呼んでも、あなたがたは答えず、
わたしが語っても、聞かなかったからだ。
あなたがたはわたしの目に悪いことを行い、
わたしが喜ばないことを選んだ。」

13 それゆえ、主なる神はこう言われる。
「見よ、わたしのしもべたちは食べるが、
あなたがたは飢える。

見よ、わたしのしもべたちは飲むが、
あなたがたは渴く。

見よ、わたしのしもべたちは喜ぶが、
あなたがたは恥を受ける。

14 見よ、わたしのしもべたちは心の喜びのため
に歌うが、
あなたがたは心の悲しみのために叫び、
霊の苦しみのために泣き叫ぶ。

- 15 あなたがたは、自分の名をわたしの選んだ者たち
への呪いとして残す。
主なる神はあなたを殺す。
主はご自分のしもべたちを別の名で呼ばれる。
16 それゆえ、地で自分を祝福する者は、真
実の神によって自分を祝福し、
地で誓う者は、真実の神によって誓う。
以前の苦しみは忘れられ、
わたしの目から隠されるからだ。
- 17 見よ、わたしは新しい天と新しい地を創造する。
以前のものは思い出されず、
心に上ることもない。
- 18 しかし、わたしが創造するものを永遠に喜び楽し
め。
見よ、わたしはエルサレムを喜びとして創
造し、
その民を楽しみとして創造する。
- 19 わたしはエルサレムを喜び、
わたしの民を楽しむ。
そこではもう、泣く声も、
叫ぶ声も聞かれない。
- 20 そこにはもう、数日しか生きない乳飲み子も、
寿命を全うしない老人もいない。
百歳で死ぬ者が若者とみなされ、
百歳の罪人は呪われた者とされる。
- 21 彼らは家を建てて住み、
ぶどう畑を植えて、その実を食べる。
- 22 彼らが建てた家に、ほかの者が住むことはなく、
彼らが植えたものを、ほかの者が食べることも
ない。
わたしの民の日々は木の日々のようになり、

- わたしの選んだ者たちは、そ
の手の業を長く楽しむ。
- 23 彼らはむなしく働かず、
災いのために子を産むこともない。
彼らは主に祝福された者の子孫であり、
その子らも彼らとともにいるからだ。
- 24 彼らが呼ぶ前に、わたしは答え、
彼らがまだ語っている間に、わたしは聞く。
- 25 狼と子羊はともに草を食べ、
獅子は牛のようにわらを食べる。
ちりが蛇の食物となる。
- わたしの聖なる山のどこにおいても、
彼らは傷つけることも、滅ぼすこともな
い」と主は言われる。

66

- 1 主はこう言われる。
「天はわたしの王座、地はわたしの足台である。
あなたがたは、わたしのためにどのよう
な家を建てるのか。
わたしの休む場所はどこにあるのか。
- 2 わたしの手がこれらすべてを造ったので、
これらすべてが存在するようになっ
た」と主は言われる。
- 「しかし、わたしが目を留めるのは、
貧しく、霊の打ち砕かれた者、
わたしの言葉に震える者である。
- 3 牛をほふる者は、人を殺す者のようであり、
子羊をいけにえとしてささげる者は、
犬の首を折る者のようであり、
ささげ物を供える者は、豚の血をささげる者の
ようであり、
乳香をたく者は、偶像を祝福する者のようであ
る。

まことに、彼らは自分たちの道を選び、
彼らは忌まわしいものを喜んでいる。

4 わたしも彼らを惑わせるものを選び、
彼らの恐れるものを彼らにもたす。

わたしが呼んでも、だれも答えず、
わたしが語っても、彼らは聞かなかつたから
だ。

彼らはわたしの目に悪いことを行い、
わたしが喜ばないことを選んだ。」

5 主の言葉に震える者たちよ、
主の言葉を聞け。

「あなたがたを憎み、
わたしの名のためにあなたがたを追い出した兄
弟たちは言った。

『主が栄光を受けられるように。
われわれがあなたがたの喜びを見ることができ
るように。』
しかし、恥を受けるのは彼らである。

6 町から騒ぎの聲がする。
神殿から聲がする。
敵にふさわしい報いを返す主の声である。

7 シオンは産みの苦しみを味わう前に産み、
痛みが来る前に男の子を産んだ。

8 だれがこのようなことを聞いたことがあるか。
だれがこのようなことを見たことがあるか。
一つの地が一日のうちに生まれるだろうか。
一つの民が一度に生まれるだろうか。

シオンは産みの苦しみを味わうやいなや、
その子どもたちを産んだからだ。

9 わたしが胎を開いておきながら、産ませないこと
があるだろうか」と主は言われる。

「産ませるわたしが、胎を閉ざすことがあるだろうか」と、あなたの神は言われる。

10 「エルサレムとともに喜び、彼女を愛するすべての者よ、彼女のために楽しめ。

彼女のために嘆いていたすべての者よ、彼女とともに大いに喜べ。

11 あなたがたが、その慰めの乳房から乳を飲んで満たされ、

十分に飲み、

その豊かな栄光を喜ぶためである。」

12 主はこう言われる。「見よ、わたしは平和を川のように彼女に注ぎ、

国々の栄光をあふれる流れのように注ぐ。

あなたがたは乳を飲む。

あなたがたは脇に抱かれ、

膝の上であやされる。

13 母が自分の子を慰めるように、

わたしはあなたがたを慰める。

あなたがたはエルサレムで慰められる。」

14 あなたがたはこれを見て、心は喜び、

骨は若草のように生き生きとする。

主の御手は、そのしもべたちの間で知られ、

主は敵に憤りを示される。

15 見よ、主は火をもって来られ、

その戦車はつむじ風のようなものである。

激しい怒りを注ぎ、

火の炎をもって叱責するためである。

16 主は火と剣によって、すべての人を裁かれる。

主に殺される者は多い。

17 「園へ行くために身を聖別し、身を清め、中央にいる一人に従い、豚の肉と忌まわしいものとねずみを食べる者たちは、ともに滅びる」と主は言われる。

18 「わたしは彼らの行いと、その思いを知っている。すべての国々と、あらゆる言語を話す民を集める時が来る。彼らは来て、わたしの栄光を見る。

19 「わたしは彼らの間にしるしを置く。彼らのうち逃れた者たちを、国々へ、タルシシュ、弓を引くプルとルド、トバルとヤワン、また、わたしの名声を聞いたことも、わたしの栄光を見たこともない遠い島々へ遣わす。彼らは国々の間で、わたしの栄光を告げ知らせる。

20 彼らは、イスラエルの子らが清い器にささげ物を入れて主の宮に携えて来るように、あなたがたのすべての兄弟を、馬、戦車、輿、らば、らくだに乘せ、すべての国々から、わたしの聖なる山エルサレムへ、主へのささげ物として連れて来る」と主は言われる。

21 「わたしは彼らの中からも祭司とレビ人を選ぶ」と主は言われる。

22 「わたしが造る新しい天と新しい地が、わたしの前に残るように」と主は言われる。「あなたがたの子孫と、あなたがたの名も残る。

23 新月から次の新月まで、安息日から次の安息日まで、すべての人がわたしの前に来て礼拝する」と主は言われる。

24 「彼らは出て行き、わたしに背いた者たちの死体を見る。そのうじは死なず、その火は消されない。彼らはすべての人に忌み嫌われるものとなる。」

フリーダム・バイブル
**The Holy Bible in the Japanese Language, Freedom
Bible translation**

Public Domain

Language: 日本語 (Japanese)

この聖書翻訳には著作権が設定されていません。この聖書翻訳の公式な配布元は eBible.org です。これは翻訳の草案です。この聖書翻訳をより良いものにするため、改善のご提案を ebible.org+jpnm@gmail.com までお寄せください。

2026-07-24

PDF generated using Haiola and XeLaTeX on 29 Jul 2026 from source files dated 24 Jul 2026

8daadcbf-1b7a-51a2-98ce-7e95a9e95424